

2022年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健工学専攻

まえがき

本冊子は、皆さんが歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受けるうえで、知っておいていただきたい事項をまとめたものです。本専攻での履修を円滑かつ充実したものにすするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項（シラバス）は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム（ドリームキャンパス）に、それぞれアクセスして参照してください。また、授業に関するお知らせや資料等も随時 e-learning システムの WebClass に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いいたします。

2022年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健工学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健工学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の医療倫理、コミュニケーション学、PBL テュートリアルで行うヘルスプロモーション等の履修をとおして、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。
2. 全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、さらに統合力を必要とする卒業研究、再建工学包括臨床実習等の履修をとおして、学際的科学の視点と問題提起、解決能力を育成する。
3. 歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶことにより、最新の情報工学を駆使した歯科補綴装置作成の理論と実際への理解を深め、新たな技術開発への基礎力を培う。
4. 高齢者歯科工学等の履修をとおして、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援する使命感を養う。
5. 全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語、グローバル口腔保健工学実習等の履修により、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

歯学部長あいさつ

歯学部長 依田 哲也

口腔保健学科口腔保健工学専攻では、「造形と製作加工の技術を科学的に裏付けされた匠の技として発展させ、人々の健康に寄与する」ことを謳っています。口腔保健工学専攻は、平成23年4月に歯学部附属歯科技工士学校を改組して新設されました。新時代の歯科技工士の未来を拓く、世界のリーダーとなりうる人材の輩出を目指し、歯科技工の技術だけに偏るのではなく、幅広い知識と専門的スキルを有し、多方面で活躍できる人材の育成を図っています。

本専攻の歴史は、昭和4年、本学の前身である東京高等歯科医学校に設置された技工士養成科にまで遡ります。この間、多くの人材を輩出し、国内はもとより、国際的に活躍する諸先輩も多く、歯科技工士養成学校として本学は高く評価されています。皆さんはすでに業界での地位の確立された大学に入学し、専門教育を受けるのですから、卒業時には当然、皆さんに対する社会的な期待も大きなものになります。その期待にこたえるべく、教育内容は十分に検討したものです。世界中どこと比較しても、胸を張れる教員組織、環境、設備、そして教育内容です。ひとつひとつの科目に真剣に取り組み、達成すべき項目をすべて修得すれば、本学科の卒業生として、どこに出ても自信を持って活躍できるはずですよ。

グローバル化する社会においても、皆さんに対する期待は増すばかりです。社会の期待にこたえて専門職業人として、歯科医療に貢献する、歯科保健工学に貢献する、そして業界のリーダーとして、業界の未来を築いていってくださることを願っています。皆さんの将来は輝かしい可能性に満ちています。どうか先生方を信頼し、同胞とともに助け合いながら、力いっぱい勉学に励み、自分の人生を切り開く基盤を形成してください。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー	
歯学部長あいさつ	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2018年度以前入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2019年度以降入学者）	14
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規	19
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項	21
東京医科歯科大学試験規則	23
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	26
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	27
学生周知事項	
歯科技工士国家試験について	29
学生周知事項	31
災害関係連絡事項	38
学生・女性支援センター（5号館3階）について	40
保健管理センター（5号館2階）について	41
実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について	42
図書館（M&Dタワー3・4階）について	44
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	46
湯島キャンパス案内	51
1号館西6～8階平面図	52
2号館見取り図	53
2号館避難経路	54
7号館平面図	55
2022年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表	56
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻教員連絡先一覧	57

第 1 学年 履修ユニット

口腔保健工学概論.....	59
メディア情報学基礎.....	62
造形美術概論実習.....	64
早期臨床体験実習.....	66
人体の構造と機能.....	69
加工技術基礎.....	72
口腔保健工学エクスターンシップ.....	74

第 2 学年 履修ユニット

科学英語 I	77
ヘルスプロモーション	79
グローバル口腔保健工学.....	82
感染予防.....	84
う蝕と歯周病.....	86
口腔医学の基礎.....	88
全身疾患と治療の基礎.....	91
歯の形態基礎実習.....	95
歯の形態実習.....	98
咬合学.....	101
口腔保健理工学.....	103
口腔保健理工学実習.....	106
精密鑄造学実習.....	110
全部床義歯工学.....	112
全部床義歯工学実習.....	115
部分床義歯工学.....	120
部分床義歯工学実習 I	123
歯冠修復工学.....	127
歯冠修復工学基礎実習.....	130
口腔保健工学エクスターンシップ.....	134

第3学年 履修ユニット

科学英語Ⅱ	137
コミュニケーション学	139
グローバル口腔保健工学実習	142
口腔保健工学管理学	146
口腔外科工学	148
高齢者歯科工学	150
臨床咬合学	153
プロセスデバイス工学	156
部分床義歯工学実習Ⅱ	158
顎補綴工学	160
顎補綴工学実習	162
顔面補綴工学実習	165
臨床義歯管理工学	167
歯冠修復工学応用実習	170
審美修復工学	172
審美修復工学実習	175
CAD/CAMシステム工学実習	180
インプラント工学実習	183
小児歯科工学	186
小児歯科工学実習	189
矯正歯科工学	191
再建工学包括臨床実習Ⅰ	194
医療倫理	204
卒業研究Ⅰ	206
口腔保健工学エクスターンシップ	209

第4学年 履修ユニット

歯科技工士と法律.....	212
画像解析学.....	215
スポーツ歯科工学.....	217
オーラルアプライアンス工学.....	219
CAD/CAMシステム工学演習.....	221
再建工学包括臨床実習Ⅱ.....	223
再建工学包括臨床実習Ⅲ.....	237
統合基礎実習.....	239
統合応用実習.....	241
卒業研究Ⅱ.....	244
卒業研究Ⅲ.....	257
卒業製作.....	262
口腔保健工学エクスターンシップ.....	270
口腔保健工学企業研修.....	272

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあつては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にも改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

- ※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。
- ※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者(以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1(4)の

包括臨床実習	41																	○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

包括臨床実習	43																		○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

長寿口腔健康科学 コース	2							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6																		

」は、

長寿口腔健康科学 コース		2						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8																		

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者(以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附則（平成30年9月26日規則第130号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則（平成30年10月24日規則第131号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 臨床実習 I、臨床実習 II

附 則 (令和元年 5 月 8 日規則第 56 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和元年 5 月 8 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 平成 31 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成 31 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 の (1) 及び (4) 並びに別表 3 (1) 及び (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 総合診療・地域医療

別表 1 (4) 総合診療・地域医療

別表 3 (1) 総合診療・地域医療

別表 3 (3) 総合診療・地域医療

附 則 (令和 2 年 3 月 11 日規則第 49 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (1)、(3) 及び (4) の次に掲げる科目並びに別表 3 (1) の (5)、注 1 及び別表 3 (3) の (4)、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)、社会医学及び行動科学

別表 1 (3) 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表 1 (4) 医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)

3 前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成 31 年 4 月 1 日に入学した者のみ改正後の別表 1 (3) を適用する。

附 則 (令和 3 年 1 月 15 日 規則第 3 号)

1 この規則は、令和 3 年 1 月 15 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (令和 3 年 2 月 3 日 規則第 16 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 3 年 2 月 3 日より施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (7) 及び別表 2 のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (7) 及び別表 2 オンライン異文化交流

附 則 (令和 3 年 3 月 31 日規則第 40 号)

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条、別表 1 (4) 及び別表 3 (1) は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(施行期日等)

附 則 (令和 4 年 1 月 17 日規則第 6 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 4 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び令和 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (2) 及び別表 1 (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例(別表 1 (3) 電子顕微鏡学を除く。)による。

別表 1 (2) インディペンデントスタディ A

別表 1 (2) インディペンデントスタディ B

別表 1 (2) インディペンデントスタディ C

別表 1 (3) 生命理工学概論

附 則 (令和 4 年 1 月 31 日規則第 10 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（7）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（7）ポストコロナ社会における感染症対策

附 則（令和4年2月15日規則第15号）

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表1（7）のうち次に掲げる科目は、令和5年3月31日までの間は存続するものとする。

別表1（7） Introduction to Medical Anthropology

別表1（7） Decision-making in the Health Sciences

別表1（7） Health in Contemporary Japanese Society

附 則（令和4年3月1日規則第16号）

1 この規則は、令和4年4月1日より施行する。

2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（6）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（6） 口腔保健工学エクスターンシップ

附 則（令和4年3月22日規則第44号）

（施行期日等）

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者、及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者（以下「再入学等者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

3 在学者のうち令和3年度に入学した者、及び再入学等者のうち令和3年度に入学した者の属する学年に再入学、転入学または編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（1）及び（4）医療とAI・ビッグデータ応用

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)教育課程

区分	授業科目	単位数		履修学年										
				1年		2年		3年		4年				
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	口腔保健工学概論	1			○									
	科学英語Ⅰ	1					○							
	科学英語Ⅱ	1							○					
	ヘルスプロモーション	2					○							
	メディア情報学基礎	1				○								
	コミュニケーション学	1							○					
	造形美術概論実習	1				○								
	グローバル口腔保健工学実習	1						○						
専門基礎分野	歯科技工士と法律	1							○					
	感染予防	1					○							
	口腔保健工学管理学	1								○				
	早期臨床体験実習	1			○	○								
	口腔外科工学	1								○				
	う蝕と歯周病	1					○							
	高齢者歯科工学	2								○				
	口腔保健工学特論	1								○				
	人体の構造と機能Ⅰ	2				○								
	人体の構造と機能Ⅱ	5						○	○					
歯・口腔の構造と機能	画像解析学		1									○		
	歯の形態実習	1					○							
	歯の形態修復演習	1						○						
	咬合学	1					○							
	臨床咬合学	1							○					
	歯科材料・歯科技工機器と加工技術	加工技術基礎	1				○							
		口腔機材開発工学	1				○							
口腔保健理工学		2						○						

		口腔保健理工学実習	2				○						
		精密鑄造学演習	1				○						
		プロセスデバイス工学		2				○					
専 門 分 野	有床義歯 技工学	顎補綴工学	1							○			
		顎補綴工学実習	2							○			
		スポーツ歯科工学		1								○	
		オーラルアプライアンス工学		1								○	
		全部床義歯工学	2				○						
		全部床義歯工学実習	3				○						
		部分床義歯工学	2				○	○					
		部分床義歯工学実習Ⅰ	4					○					
		部分床義歯工学実習Ⅱ	1						○				
	歯冠修復 技工学	歯冠修復工学基礎	2					○					
		歯冠修復工学基礎演習	1					○					
		歯冠修復工学基礎実習	4					○					
		歯冠修復工学応用	1						○				
		歯冠修復工学応用演習	1						○				
		歯冠修復工学応用実習	2						○				
		審美修復工学	1						○				
		審美修復工学実習	3						○				
		CAD/CAM システム工学実習	1									○	
		インプラント工学実習	1								○		
		小児歯科 技工学	小児歯科工学	2								○	
	発育口腔工学		1								○		
矯正歯科 技工学	矯正歯科工学	3							○				
歯科技工 実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	4								○			
	再建工学包括臨床実習Ⅱ	10									○	○	
		医療倫理	1							○			
		卒業研究Ⅰ	2							○			

統 合 分 野	総合口腔保健 工学	卒業研究Ⅱ	3									○	○	
		卒業製作	3											○
		口腔保健工学エクスター ンシップ			1						○	○	○	
	計		97	5	1									

※ 選択科目から3単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単 位 数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
自 由 科 目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1)～(4)省略

(5) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

<p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能Ⅰ、加工技術基礎、口腔機材開発工学</p>
<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学実習、感染予防、う蝕と歯周病、人体の構造と機能Ⅱ、歯の形態学実習、歯の形態修復演習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学演習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学基礎、歯冠修復工学基礎演習、歯冠修復工学基礎実習</p>
<p>(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用演習、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習</p>
<p>(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、歯科技工士と法律、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、口腔保健工学特論、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、歯冠修復工学応用、審美修復工学、インプラント工学実習、小児歯科工学、発育口腔工学、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ</p>

別表1 (1) ~ (5) 省略

(6) 口腔保健学科 (口腔保健工学専攻) 教育課程

区 分	授業科目	単位数			時間数	履修学年									
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	口腔保健工学概論	1			15	○									
	科学英語Ⅰ	1			15			○							
	科学英語Ⅱ	1			15				○						
	ヘルスプロモーション	1			15			○							
	メディア情報学基礎	1			15		○								
	コミュニケーション学	1			15				○						
	造形美術概論実習	1			40		○								
	グローバル口腔保健工学	1			15				○						
	グローバル口腔保健工学実習	1			45					○	○				
専門基礎分野	歯科技工士と法律	1			15							○			
	感染予防	2			30			○							
	口腔保健工学管理学	1			15				○						
	早期臨床体験実習	1			30		○								
	口腔外科工学	1			15					○					
	う蝕と歯周病	1			15			○							
	高齢者歯科工学	2			30					○					
	歯・口腔の構造と機能	人体の構造と機能	2			30		○							
		口腔医学の基礎	2			30			○						
		全身疾患と治療の基礎	3			45				○					

		画像解析学※1	1	15							○
		歯の形態基礎実習	1	45			○				
		歯の形態実習	1	45				○			
		咬合学	1	15			○				
		臨床咬合学	1	15					○		
	歯科材料・ 歯科技工機 器と加工技 術	加工技術基礎	1	15		○					
		口腔保健理工学	3	45			○				
		口腔保健理工学実習	2	80			○				
		精密鑄造学実習	1	30			○				
		プロセスデバイス工学※1		1	15				○		
専 門 分 野	有床義歯 技工学	顎補綴工学	1	15						○	
		顎補綴工学実習	2	70						○	
		顔面補綴工学実習	1	30						○	
		臨床義歯管理工学	1	30						○	
		スポーツ歯科工学※1		1	15						○
		オーラルアプライアンス工学※1		1	20						○
		全部床義歯工学	1	20			○				
		全部床義歯工学実習	3	120			○				
		部分床義歯工学	1	20				○			
		部分床義歯工学実習Ⅰ	4	160				○			
		部分床義歯工学実習Ⅱ	1	45					○		
歯冠修復技工学	歯冠修復工学	2	30				○				

		歯冠修復工学基礎実習	4		165					○				
		歯冠修復工学応用実習	1		30					○				
		審美修復工学	1		15					○				
		審美修復工学実習	3		120					○				
		CAD/CAMシステム工学実習	1		45					○				
		CAD/CAMシステム工学演習	1		15								○	
		インプラント工学実習	2		60					○				
	小児歯科 技工学	小児歯科工学	1		17						○			
		小児歯科工学実習	1		30						○			
	矯正歯科 技工学	矯正歯科工学	2		36					○				
	歯科技工 実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	4		180						○			
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	7		300								○	○
		再建工学包括臨床実習Ⅲ※2		1		45								○
		統合基礎実習	2		70								○	○
		統合応用実習※1		2		60								○
統合分野	総合口腔保健工学	医療倫理	1		15					○				
		卒業研究Ⅰ	2		60						○			
		卒業研究Ⅱ	6		180								○	○
		卒業研究Ⅲ※2		1		45								○
		卒業製作	3		135								○	○
		口腔保健工学エク			1	45	○	○	○	○	○	○	○	○

		スターン シップ													
		口腔保健 工学企業 研修		1	45									○	○
計			95	8	2	3053									

※1 5科目から3単位以上修得する。

※2 2科目の中から1科目修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流 (※)	0.5~3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症 対策	1	○	○	○	○	○	○
計	9.5~ 12						

※ 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目

授業科目	単位数	履修学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
地域医療学習プログラム	1	○	○	○	○	○	○

※地域特別枠推薦入試による入学者は、別表(1)の授業科目に加え、上記1科目を必修科目とする。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	不合格
当該科目の到達目標を達成していない	D	
到達目標の達成度を評価できない	F	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表 3 (1) ~ (4) 省略

(5) 口腔保健学科 (口腔保健工学専攻)

<p>(1) 第 1 学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 2 学年に進級することができない。</p> <p>口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能、加工技術基礎</p>
<p>(2) 第 2 学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3 学年に進級することができない。</p> <p>科学英語 I、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学、感染予防、う蝕と歯周病、口腔医学の基礎、全身疾患と治療の基礎、歯の形態基礎実習、歯の形態実習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学実習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習 I、歯冠修復工学、歯冠修復工学基礎実習</p>
<p>(3) 第 3 学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3 学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>部分床義歯工学実習 II、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習、インプラント工学実習</p>
<p>(4) 第 3 学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 4 学年に進級することができない。</p> <p>科学英語 II、コミュニケーション学、グローバル口腔保健工学実習、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習、臨床義歯管理工学、審美修復工学、CAD/CAM システム工学実習、小児歯科工学、小児歯科工学実習、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習 I、医療倫理、卒業研究 I</p>

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 4 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級等)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。
- 3 風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限って、当該科目責任者の事前申告をもとに口腔保健学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。
- 4 第3項に該当する学生は、原則として前期分は10月末日、後期分は翌年度4月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。

(GP)

第4条 評価とGPとの対応は次のとおりとする。

評価	A+	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としGPA (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A⁺, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A⁺, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評価	GP	評価基準
A ⁺	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

$$\text{当該年度の GPA} = \frac{(4 \times \text{A}^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times \text{A取得単位数} + 3 \times \text{B取得単位数} + 2 \times \text{C取得単位数} + 1 \times \text{D取得単位数} + 0 \times \text{F取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(4 \times \text{A}^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times \text{A取得単位数} + 3 \times \text{B取得単位数} + 2 \times \text{C取得単位数} + 1 \times \text{D取得単位数} + 0 \times \text{F取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

- 2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。
- 3 計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則 (平成30年9月6日制定)

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

(共用試験)

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（CBT）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（OSCE）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成16年規則202号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成16年規則214号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第5条第5項、第7条第6項、第8条第6項及び第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 定期試験に係る追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（1）代理（替玉）受験を行った場合又は行かせた場合	退学
（2）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（3）答案を交換した場合	停学
（4）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

学 生 周 知 事 项 等

歯科技工士国家試験について

【試験の実施】

試験は毎年 1 回実施しますが、試験を施行する期日及び場所並びに受験願書の提出期限等は 9 月初旬に官報で公告いたします。

平成 27 年度から全国統一国家試験になりました。以下に、令和 4 年 2 月に実施された令和 3 年度歯科技工士国家試験について示します。

1. 試験日

令和 4 年 2 月 20 日（日）

2. 集合時間

各試験場とも午前 9 時 15 分までに受験番号に従い指定された試験会場に入室してください。災害等によって試験の開始時間等に変更が生じた場合は、「一般財団法人歯科医療振興財団」のホームページに掲載します。

3. 試験場（※本専攻は東京都の試験場で受験します。）

受験地	試験場	所在地
北海道	札幌駅前ビジネススペース	北海道札幌市中央区北 5 条西 6-1-23
宮城県	仙台青葉学院短期大学	宮城県仙台市青葉区中央 4-5-3
※ 東京都	日本歯科大学生命歯学部	東京都千代田区富士見 1-9-20
大阪府	大阪歯科大学（楠葉学舎）	大阪府枚方市楠葉花園町 8 番 1 号
福岡県	博多メディカル専門学校	福岡県福岡市博多区千代 4-32-1

4. 試験科目

学説試験：歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学及び関係法規

実地試験：歯科技工実技

5. 受験資格

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者
- (2) 都道府県知事の指定した歯科技工士養成所を卒業した者
- (3) 歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者
- (4) 外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技工士免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記（1）から（3）までに掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認められた者

6. 受験手続

試験を受けようとする者は、受験願書、卒業証明書若しくは卒業見込証明書、歯科医師国家試験等を受けることができる者である旨を証する書類又は歯科技工士国家試験受験資格認定書の写し及び写真（出願前6月以内に脱帽正面で撮影した縦6cm、横4cmのもので、その裏面に撮影年月日及び氏名を記載すること）が必要です。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、当財団から10月下旬に各学校・養成所に送付されます。

受験に関する書類は指定期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に提出してください。（本学では大学でまとめて送付します。）なお、卒業見込証明書を提出した者にあたっては、指定期日までに卒業証明書を提出してください。当該期日までに提出されないときは、当該受験は無効となります。（本学では大学でまとめて送付します。）

7. 受験手数料

受験手数料の額は30,000円です。

8. 試験当日の持参品

- (1) 受験票
- (2) HBの鉛筆（シャープペンシル不可）及び黒のボールペン、マジック
- (3) 消しゴム（砂消しゴムは不可）
- (4) 昼食
- (5) 実地試験に必要な技工用器具
- (6) その他（電卓機能及びメールの送受信機能がある時計は使用を禁止）

9. 合格者の発表

合格者の発表は令和4年3月25日午後2時、一般財団法人歯科医療振興財団ホームページおよび厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページにおいて、受験地、受験番号を掲示して発表し、即日合格証書を郵送します。

一般財団法人歯科医療振興財団：<http://www.dc-training.or.jp>

厚生労働省：<https://www.mhlw.go.jp>

10. その他

視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能に障害を有するもので受験を希望する者は、期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に申し出てください。申し出た者については、受験の際にその障がいの状況に応じて必要な配慮を講ずることがあります。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡は、主に eラーニングシステム（WebClass：OE教務係からのお知らせ2022）、電子メール（Webメール）によって連絡されるので頻繁に確認すること。特にWebClassに掲載される情報およびWebClassからのメールは重要事項が多いため、各自、転送設定をするなど、確実に見落とさないよう注意すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- (1) 課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）とする。
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- (5) 学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8:30～21:00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- (1) 次に掲げるものは、歯学系教務係（D棟南2階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8:30～17:15）

（①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から10日程度要する。）

- ①成績証明書
- ②調査書
- ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074）)

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は、欠席届を歯学系教務係（D棟南2階）へ提出すること（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること）。発熱等風邪症状がある場合は、発熱フロー（14.（5）の図を参照のこと）に従って登校するか自宅待機とし、歯学系教務係（s-kyomu.adm@m1.tmd.ac.jp）にメールで相談してください。

就職活動により欠席する場合は別に定める（14の（6）に詳細を記載）。

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること）。

休学を許可される期間は、通算して2年以内（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある）である。

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある）。

(4) 退学

病気その他の事由により学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

(5) 他大学受験

他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願しようとする場合は、志願する前に歯学系教務係へ、申し出た上で、学長の許可を得ること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・大学病院の実習中には必ずネームプレートを着用すること。3年次後期からの大学病院実習では、登院式で交付されるネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし（卒業時に要返却）、紛失または破損した場合は再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OE2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること）。問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおり

- (1) 講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（D棟南 2階：内線 5411）
学部防災センター（D棟北 1階）
- (2) 上記（1）以外：歯学部総務課（D棟南 2階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は5月中旬に、後期分授業料は11月中旬に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

- (1) 感染予防対策のため、大学病院玄関から出入りすることを原則禁止する。
- (2) 歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。出入り口にあるアルコール消毒液で手指消毒を行うこと。

- 1) 聖門⇔1号館、2号館、7号館
- 2) 正門⇔1号館、2号館、7号館
- 3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1号館、2号館、大学病院（歯系）防災センター（歯学部時間外通用口、身分証明書の提示が必要）

- (3) エレベーターを使用する場合は大学病院（歯系）の聖橋側エレベーターを使用すること。御茶ノ水門側エレベーターは患者専用です。
- (4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で大学病院内を移動するときは、私語を慎むこと。歩きスマホは禁止です。
- (5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピューター、スマートフォンなどの機器使用の制限について

対面授業中におけるパーソナルコンピューター、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 授業担当者あるいは授業補助者が、当該授業中に学生が授業と関係なく使用していると認めるときはこれを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。
- (3) 講義室および実習室でのスマートフォンの充電を禁ずる。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。対面での各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので学生証を必ず忘れないようにすること。なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。

学生証を忘れた等でカードリーダーにタッチしなかった場合、当日中（できるだけ当該授業時間内）に担当教員に申し出ること。後日に申し出た場合は欠席とする。

他人の学生証をカードリーダーにタッチした場合、カードタッチした学生およびカードタッチをしてもらった学生の両方を欠席とする。必ず本人が学生証をタッチすること。

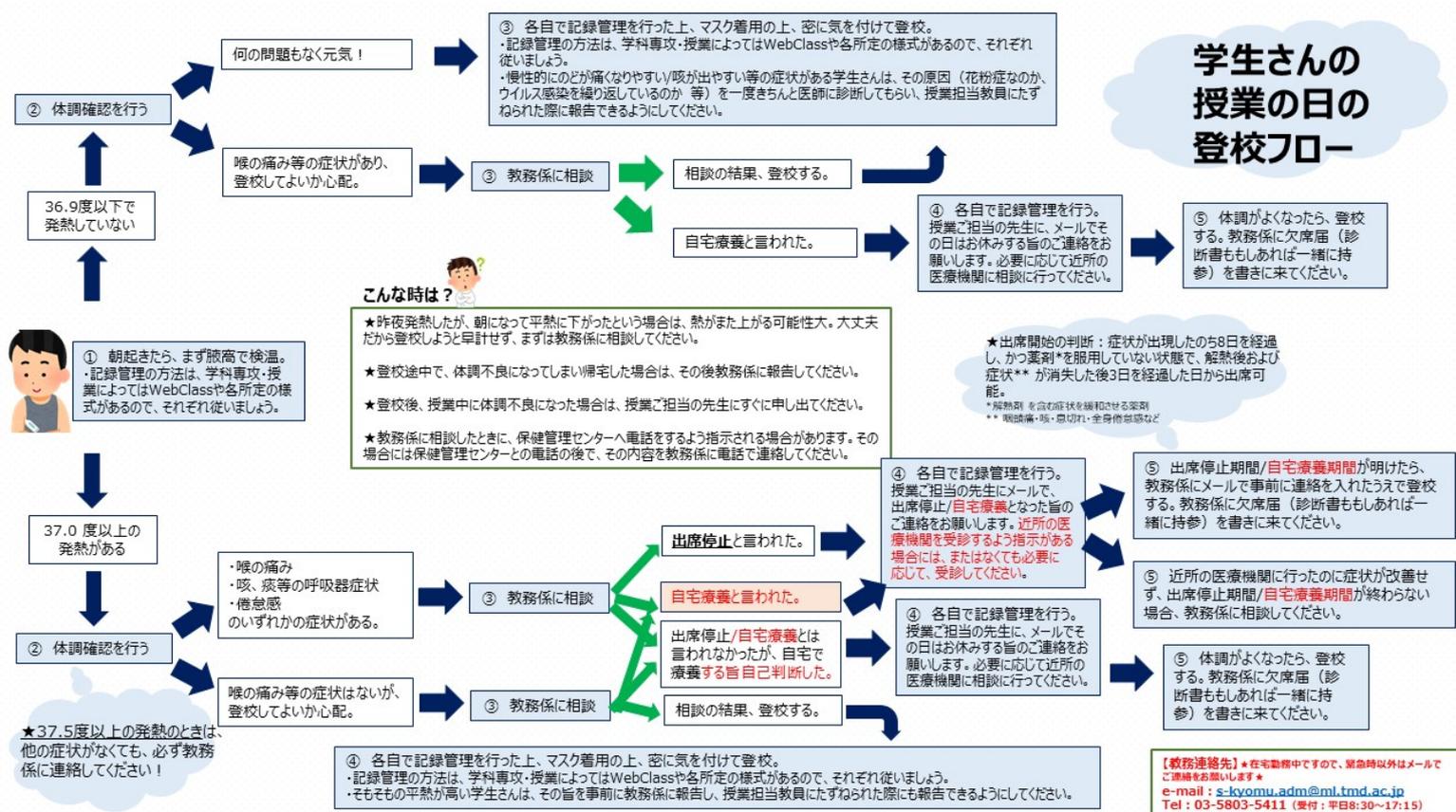
14. 授業の出席・欠席・遅刻・早退の取り扱いについて

- (1) 定期試験受験資格：講義科目の全授業時間数の 2/3 以上、実習・演習科目は3/4 以上出席しなかった者には定期試験の受験資格を与えない。授業科目ごとの詳細な試験受験資格はシラバスに明記されている。
- (2) 出席率は各自ドリームキャンパスで確認すること。出席不良者に対して注意喚起をし、科目責任者から学生に指導を行う。
- (3) 対面講義・実習の出席は基本的にはカードリーダーへの学生証のタッチによりカウントする。遠隔講義の出席は、同期型の場合は画面とアクセス記録により確認し、非同期型の場合はアクセス記録、小テスト実施等、授業担当者の指示した出席要件を満たした場

合に出席とする。科目ごとの詳細はシラバスに明記されている。

(4) 遅刻・早退の取り扱い：遅刻・早退を出席扱いとするか欠席扱いとするかは、授業担当教員が判断する。交通機関の事故等の理由で遅刻した場合は基本的には遅刻扱いとする。授業終了時に担当教員に遅延の証明となる書類を提出し、教員の判断を仰ぐこと。**後日の提出は認めない。**

(5) 病欠の扱い：原則として欠席とする。ただし、医師の診断を受けた者は欠席届と診断書を、出席可能となった最初の日から**1週間以内**に歯学系教務係に提出すること。**それ以後の提出は認めない。**なお、学校保健安全法により出席停止となる病気に関しては出席扱いとなるので、出席可能となった最初の日から**1週間以内に診断書を添付**した欠席届を歯学系教務係に提出すること。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、発熱等風邪症状がある場合は、発熱フロー（下図参照のこと）に従って登校するか自宅待機とし、歯学系教務係（s-kyomu.adm@ml.tmd.ac.jp）に**メールで相談**すること。発熱した場合は基本的に出席停止とする。**必ず歯学系教務係に連絡してください。保健管理センターの指示により登校または出席停止を判断し、対応を指示します。**この場合は出席扱いとなります。出席停止期間中は基本的に毎日、保健管理センターに体調等の連絡をすること。



(6) 就職活動の取り扱い

就職活動の場合も原則として欠席とする。ただし、WebClassのOE1-4学生連絡コース内に示された**GoogleForm**にて欠席届および報告書を提出すること。

- 1) **事前に欠席届**を提出し、担当教員（科目責任者）に許可を得る。
- 2) 就職活動後に説明担当者名、連絡先、就職活動内容の**報告書**を**GoogleForm**にて提出する。配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどは担当教員に示すこと。

以上2つの条件が満たされた場合には、就職活動による欠席を総授業時間数に含めないこととする。報告書は欠席した翌日から1週間以内に提出すること。

対面実習での欠席は装置製作の進行に支障をきたすこととなるので十分に考慮すること。対面実習のうち全体の4分の1以上になるなど科目責任者が定める回数を超える場合は欠席扱いとすることがある。

(7) 忌引の取り扱い：忌引は出席扱いとする（父母・保証人 7 日以内、父母以外の直系親族 3 日以内）。ただし、欠席届と忌引を証明できる書類を出席可能となった最初の日から1週間以内に歯学系教務係に提出すること。それ以後の提出は認めない。

(8) 4年生の再建工学包括臨床実習・卒業研究・卒業製作の時間に関して
カードリーダーへの学生証のタッチを行い、実習室から離れて実習・研究を行う場合は、第2実習室前方入り口外のインジケーターで所在を示すこと。所在が不明の場合は欠席とすることがあるので注意すること。

(9) 対面講義・演習・実習の際は、登校前にWebClassの教務係からのお知らせコースに毎朝の体温測定結果を入力し提出すること。記録がない場合は欠席扱いとするので注意すること。実習中など、体調が悪くなった場合はすみやかに担当教員に報告すること。体温測定、保健管理センターとの相談を行い、その後の対応を決定する。

事由ごとの対応一覧表

事由	取り扱い	提出（添付）書類	提出期限	提出先
カードリーダーへのタッチ忘れ	授業担当教員が判断	なし	当日 (当該授業時間内)	授業担当教員 (科目責任者)
遅刻	授業担当教員が判断	期日が記された遅延証明書	当日	授業担当教員 (科目責任者)
病気・けが	原則欠席	医師の診断書	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係
出席停止となる病気	出席	医師の診断書	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係
就職活動	総授業時間数に含めない	報告書・就職活動を証明する書類	事前に欠席届→欠席翌日から 1 週間以内	授業担当教員 (科目責任者)
忌引	出席	忌引を証明する書類	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係

15. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にks@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

16. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないように。

(2) 事務の窓口

教務事務：歯学系教務係（D棟南 2 階、内線 5411）

授業料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨学金、授業料免除：学生支援事務局（5号館3階、内線5077）

奨学金：<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <https://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、**午前 6 時 30 分まで**に公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、**午前 10 時まで**に公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、**午後 4 時まで**に公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、**午前 6 時 30 分まで**に公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、**午前 10 時まで**に公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、**午後 4 時まで**に公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。講義室や実習室等、2号館内にいる場合、教員の指示によりいったん2号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&Dタワー前の避難場所に移動する。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（D棟南 2 階）03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID (学籍番号) とパスワード (初期値は ID と同じ) によりログインして自身の安否を入力すること。

安否確認システムに連絡先を登録すること。その際、大学メール以外の連絡先 (携帯のメールアドレスや携帯電話番号など) も必ず登録すること。両方が登録されないと登録されたことにならないので注意してください。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について
学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5号館3階 ・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP：本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事。	e-mail : scenter.stc@tmd.ac.jp	上記>学生支援室/障害学生支援室>専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/stdc/index.)
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。	個別に相談に応じています	
男女協働参画支援室	今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。	e-mail : info.ang@tmd.ac.jp 個別に相談に応じています	上記>男女協働参画支援室/保育支援室>専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/ang/index.)
保育支援室	病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。		
ダイバーシティ・ダイヤモンド (DD) ユニット	研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。	順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています	専用HP http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/index. 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。（以下は当面休止とさせていただきます。）その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分 (木曜日のみ15時45分)

ホームページ : <https://www.tmd.ac.jp/hsc/>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・Tスポット®. TB検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

*ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

〈4種ワクチン接種〉

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

〈B型肝炎ワクチン接種〉

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

検査ワクチン実習要件について

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年	 4種抗体検査 (対象：全員)	学生定期健康診断 (毎年、全員)	  4種ワクチン接種期間 (接種月はワクチン毎に決まっている) 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たさない)→1回接種  											
2年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：全員)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者						 3回目			
	 Tスポット®, TB検査 (対象：全員)													
3年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 1クール目を接種した者)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者						 3回目			
4年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：3年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)	B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない												



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

図書館について

1. 場所：M&D タワー3階（カウンター、閲覧席等）、4階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
(情報検索室)	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日	年末年始	

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。ICカードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROMなどの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて5冊まで、貸出期間は図書は2週間、製本雑誌は1週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページのMy Libraryもしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめOPACから出庫予約をして4階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時のID・パスワードはMyLibraryと同じ統合IDとパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内LANからの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ1枚 10円 カラー1枚 30円
- 情報検索室のPCが利用できます。（ただし、利用できない日もあります）ネットワークの利用には学内LANアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に1台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが不要な印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。
3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。
- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。
（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
（注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館（明治大学図書館を含む）は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmdu/>

1号館西・2号館・7号館の管理、使用について

1. 1号館西・2号館・7号館の出入口の施錠（平日）について

1号館西出入口

1号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2号館出入口

2階正面玄関 **現在 終日施錠**

2階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

D棟出入口

D棟南1階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2階に歯学系教務係があります。

7号館側接続口 1・4階は出入不可、2・3・5階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7号館出入口

1階聖門側 解錠 7:00 施錠 18:00

D棟北接続口（東側1～6階） 1階は終日施錠
2～6階は常時開放

1号館東接続口（2～5階） 常時開放

消防法の規定により、D棟側と2階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7号館1階歯科棟側接続口、1号館東接続口（2、3階）は施錠すると出入りできません。

2. 1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2号館講義室 解錠随時（口腔保健工学専攻教員が解錠） 施錠 18:00

7号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

2号館学生ロッカー室 番号ロック制

*2号館の部屋を開ける際は必ず教員に申し出ること。許可なく使用を禁じます。

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（2号館2階・3階）について

- (1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。感染予防対策のため、少人数、短時間での使用を心がけること。
- (2) 出入口はテンキーロック式です。暗証番号は1年ごとに変更します。入退出の際にアルコール消毒剤で手指消毒をしてからテンキー等に触るように。退出時には出入り口の扉が確実に閉まっていることを確認してください。
- (3) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧地使用してください。
学生ロッカー1と2は女子学生が、学生ロッカー3は男子学生が使用します。
また、各人の責任による破損等については各人の負担により原状回復してください。
- (4) ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。ロッカーの鍵のトラブル（開かない、閉まらない）などが生じた場合は速やかに口腔保健工学専攻教員に申し出ること。
- (5) ロッカーの上部や室内に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。
- (7) ロッカー内での飲食は禁止します。紙くず等は必ず分別して廊下に設置してあるごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。室内をきれいに清掃すること。
- (8) ロッカー室でサークルの集会をしたり、マージャン等をしたりしないこと。

近年、2号館の電気使用量が増加しています。特に誰もいないロッカー室の電気やエアコンがつけっぱなしになっています。退出時にはエアコン、電気を消し、エアコンの設定温度に注意し、節電を心がけてください。

5. リフレッシュルーム（2号館）の使用について

- (1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。
- (2) 口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用しますが、他の学科専攻学生も使用することがあります。
- (3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。
- (4) リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。
- (5) リフレッシュルームに設置してあるパソコンやプリンターは共用で使用します。イ

ンクや紙の補給などの管理は学生に任されています。

(6) 注意事項

- ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。
- ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別して廊下のごみ箱に捨てること。
- ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。
- ・全員退出する際には電源を全て消すこと。
- ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。
- ・リフレッシュルームは共用です。きれいに使用しましょう。掃除もしてください。

- (7) リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

近年、2号館の電気使用量が増加しています。電気やエアコンなど、節電を心がけ、エアコンの設定温度にも注意してください（大学推奨基準は夏 28℃、冬 19℃です）。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

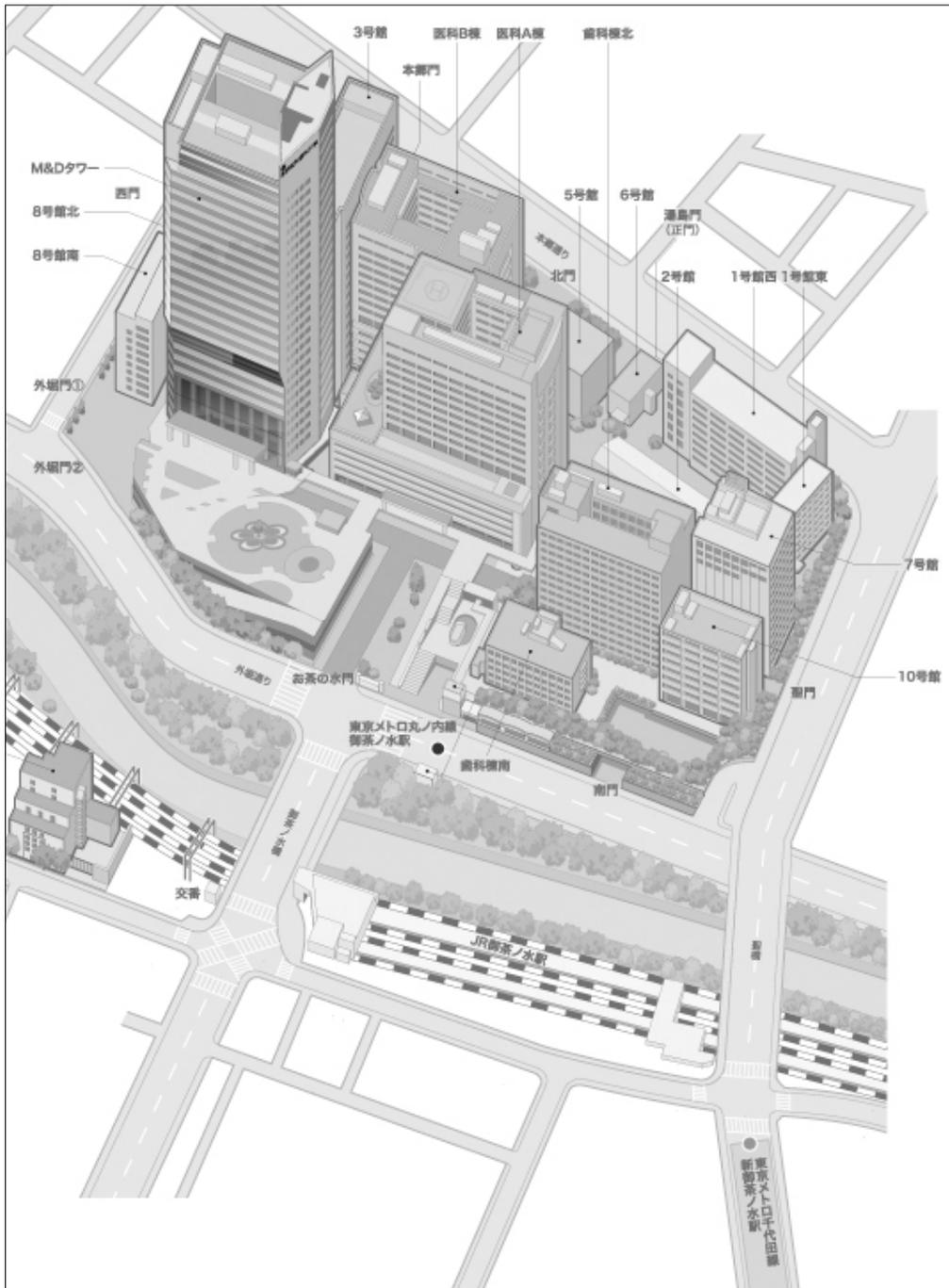
***注意：現在、感染対策のため、使用中止となっています。**

7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について
- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
 - (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。
8. 昼食について
- (1) 昼食は 決められた部屋の決められた場所で とること。各座席を約 1.5 メートル離すようにしています。基本的に外での食事は避けるように。
 - (2) 1 年生はリフレッシュルーム、2 年生は第 1 講義室、3 年生は第 3 講義室、4 年生は第 2 講義室を昼食会場とする。各部屋は換気のため 24 時間換気扇を回し、窓を 5 センチ以上開けること。出入り口の扉も開放しておくこと。
 - (3) 食事の前後には必ず石鹸等で手指消毒をすること。
 - (4) 昼食中はマスクをはずすので、会話をしないこと。会話時にはマスクを着用すること。
 - (5) 使用後は机、いす等を消毒液で消毒すること。
 - (6) 講義室は全学の予約システムで使用する場合もあるので、講義室等には私物を置かないこと。
9. 講義室・実習室の使用について
- (1) 講義室・実習室に入退出する際には石鹸またはアルコール製剤による手指消毒を行うこと。
 - (2) 実習室における飲食は原則として禁止します。特に 実習室内では安全上の理由から持ち込みも禁止します。ただし、脱水予防の理由から、講義室を講義で使用する場合および 4 階実習室廊下では原則として蓋のしまる飲み物のみ、休憩時間に許可します。休憩中に決められた昼食会場等で飲食してください。4 階では、飲み物を置く場所を実習室外の廊下に指定します。
 - (3) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
 - (4) 使用した机、いす等は、消毒剤で消毒すること。講義室、実習室ともに終了時に清掃し、消毒しましょう。
 - (5) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
 - (6) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - (7) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
 - (8) 実習室に 私物のかばんや上着など実習に必要なものを持ち込まない こと。各自のロッカーに保管してください。

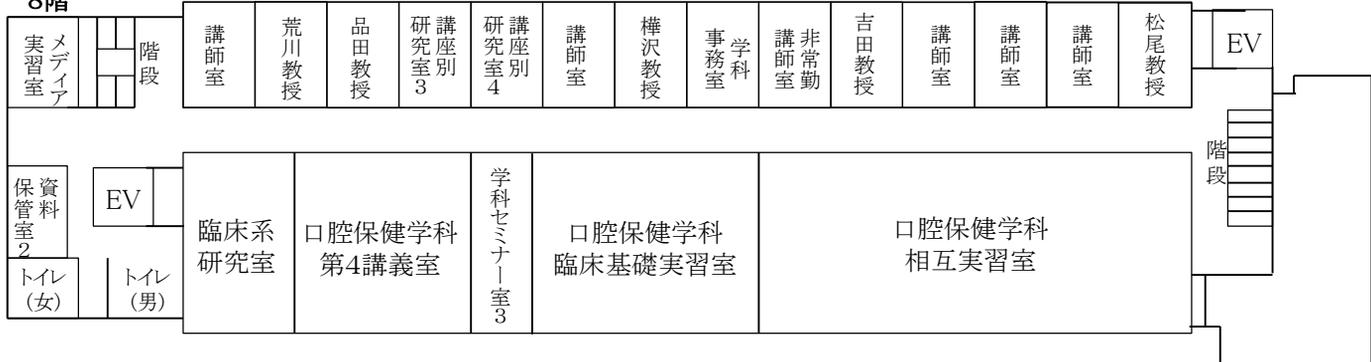
- (9) 白衣は実習室に放置しないこと。放置してある場合は予告なしに処分されます。
- (10) 講義室および実習室での スマートフォン等の充電を禁止 します。
- (11) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (12) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (13) 講義室は全学の予約システムで使用する場合もあるので、時間外は原則使用しない こと。時間外に実習室を使用する場合は、教員の許可を得て使用すること。使用終了時には教員に状態を確認してもらってから退出すること。

*新型コロナウイルス感染症への予防対策として、消毒剤、ハンドソープ、机等消毒のためのペーパータオルの設置、パーテーションの設置、机の配置、換気等、大学としてできる限りのことをしています。特に、講義室、実習室では決められた席に座り、間をあけて実習をしてください。私語を慎んでください。食事は黙食でお願いします。不自由な点もあると思いますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

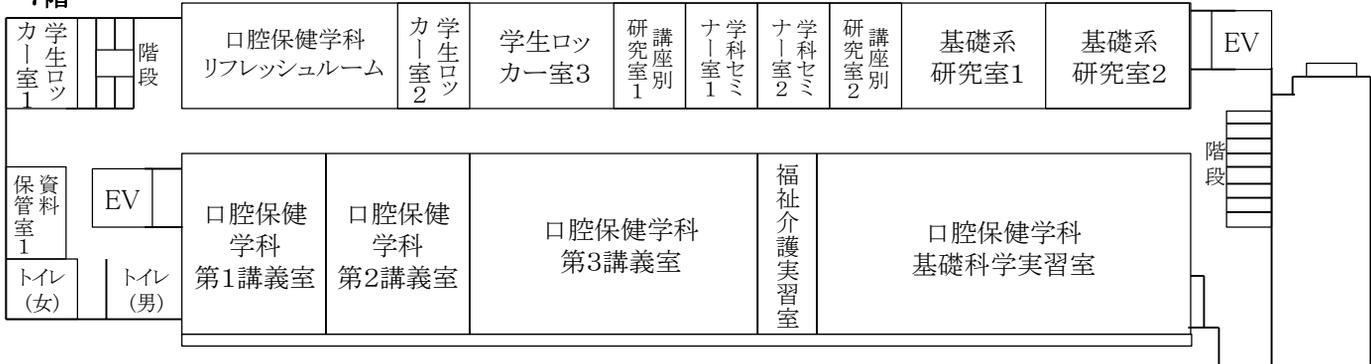
湯島キャンパス案内



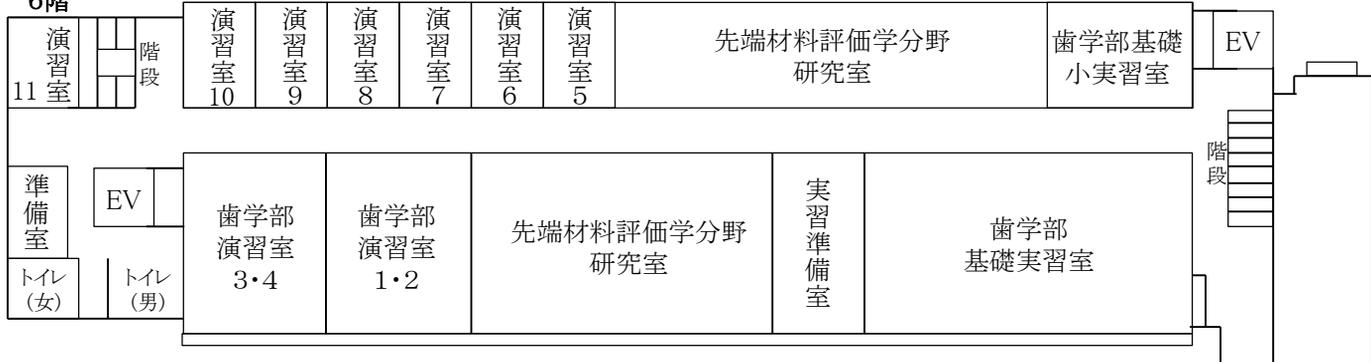
8階



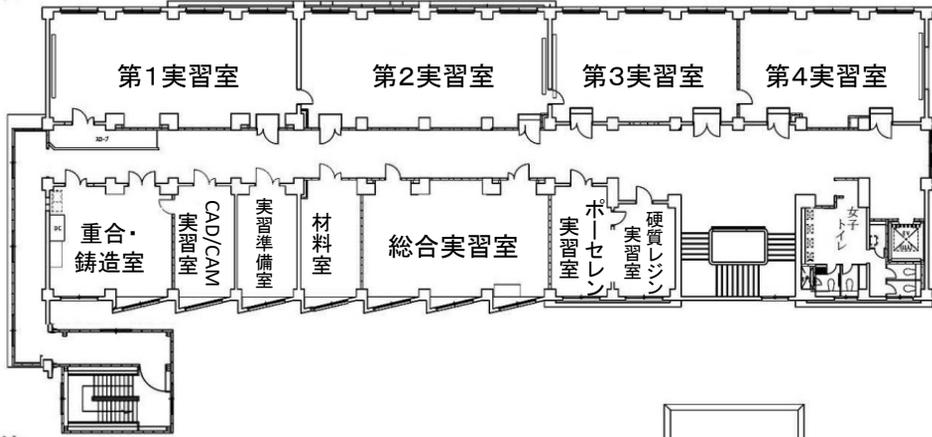
7階



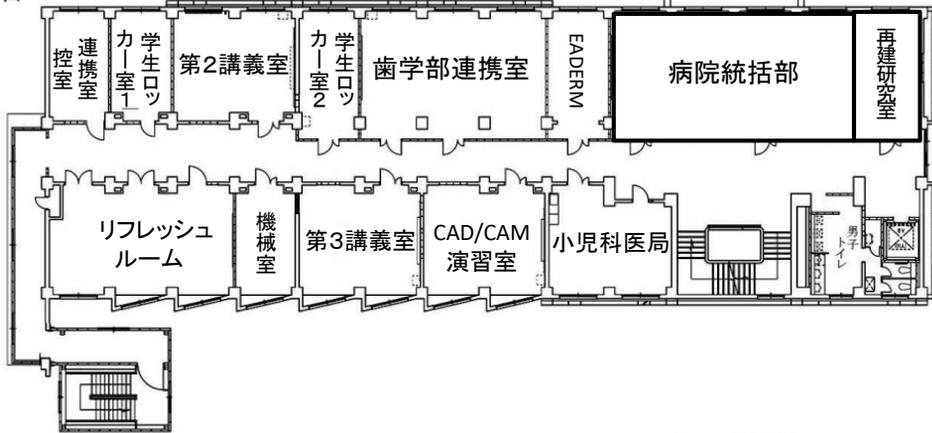
6階



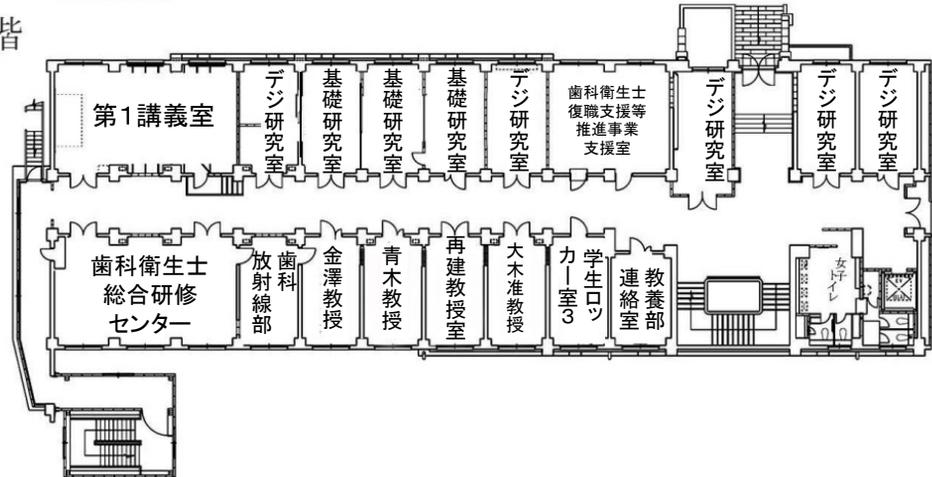
4階



3階

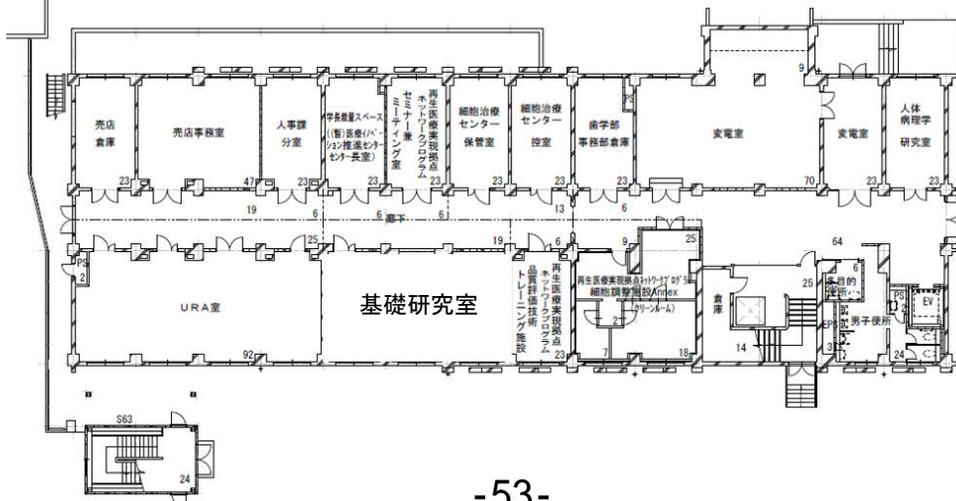


2階



2階
歯科棟
連絡口

1階



2号館 避難経路

4階



3階

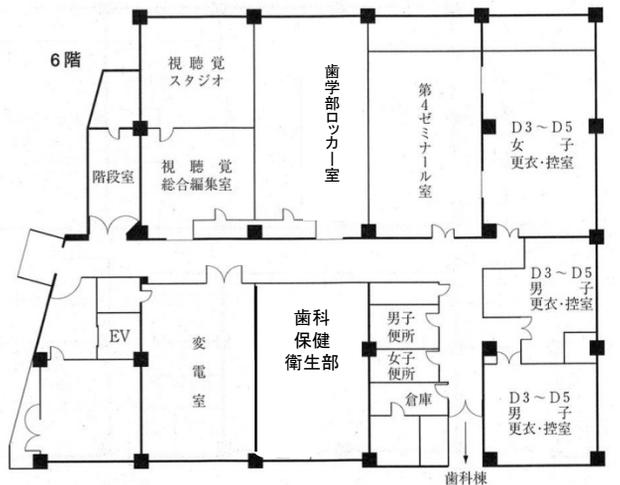
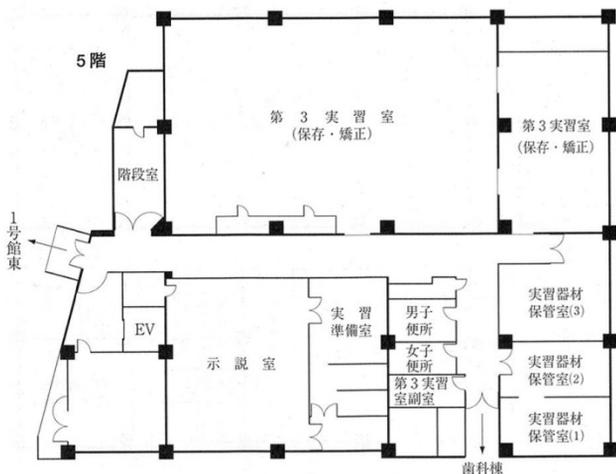
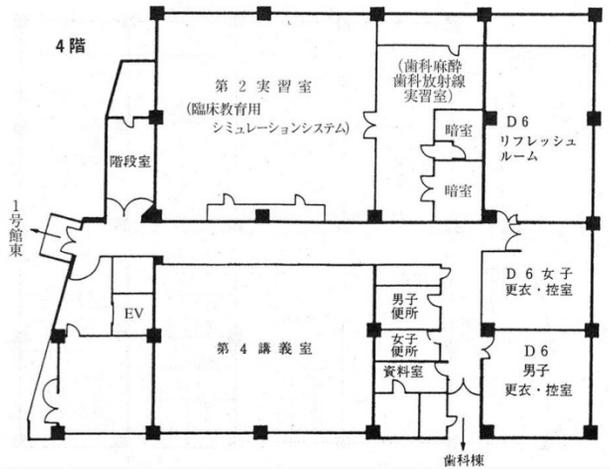
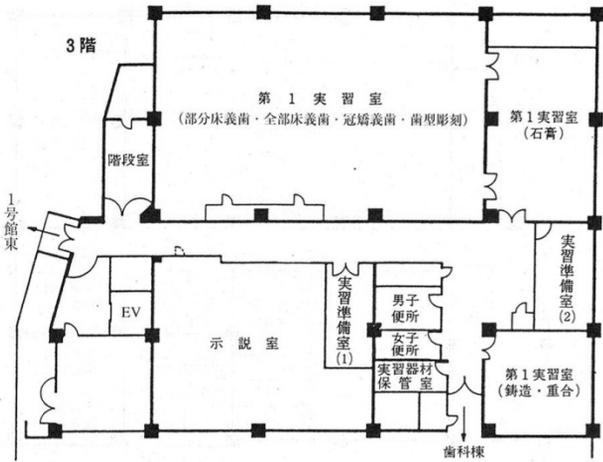
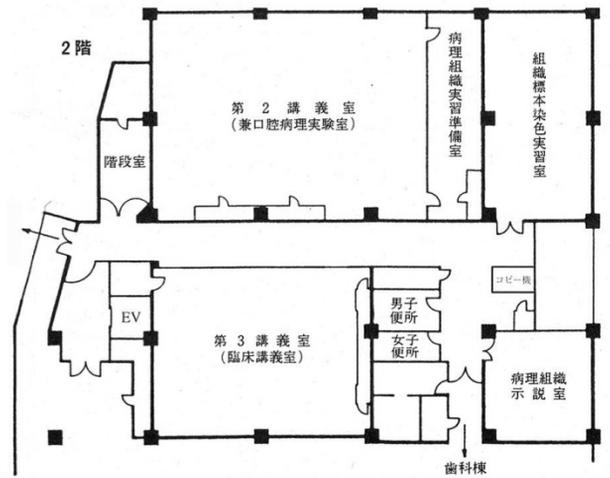
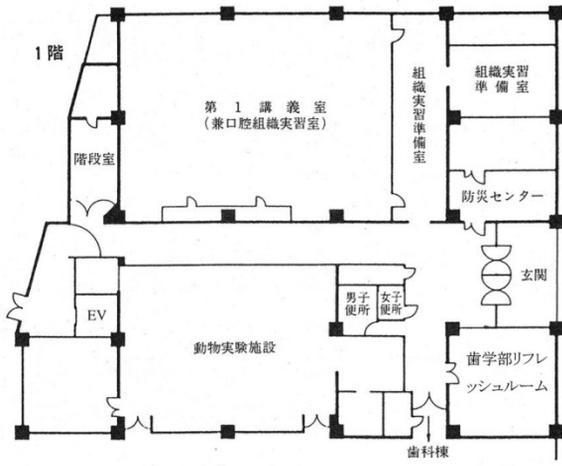


2階



2階
連絡科
口棟

- 消火栓
- 消火器
- ★ AED



2022年度 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 専門科目授業計画表

第1学年

	学部専門科目	期 間
前期	入 学 式	2022/4/5 (水)
	新入生オリエンテーション	2022/4/8 (金)
	専門課程ガイダンス	2022/4/12 (火)
後期	「口腔保健工学概論」	2022/4/12 (火)～ 2022/5/17 (火) 5週 毎週火曜日
	「早期臨床体験実習」	2022/10/4 (火)～ 2023/1/31 (火) 16週 毎週火曜日
	「人体の構造と機能」	
	「造形美術概論実習」	
	「メディア情報学基礎」	
	「加工技術基礎」	
専門科目試験	2023/2/7(火), 2023/2/14(火)	

第2学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2022/4/1 (金)
	専門課程ガイダンス	2022/4/4 (月)
	入 学 式	2022/4/5 (火)
	授 業 17 週	2022/4/5 (火)～ 2022/7/26 (火)
	カービングコンテスト	2022/7/26 (火)
	TOEFL 試 験	2022/7/27 (水)
	大 掃 除	2022/7/27 (水)
	オープンキャンパス	2022/7/28 (木)～ 2022/7/29 (金)
	夏 季 休 業	2022/8/1 (月)～ 2022/9/1 (木)
	補講および定期試験	2022/9/2 (金)～ 2022/9/30 (金)
後期	授 業 12 週	2022/10/3 (月)～ 2022/12/22 (木)
	創 立 記 念 日	2022/10/12 (水)
	休講(お茶の水祭準備)	2022/10/14 (金)
	救命救急実習・大掃除	2022/12/23 (金)
	冬 季 休 業	2022/12/26 (月)～ 2023/1/4 (水)
	授 業 6 週	2023/1/5 (木)～ 2023/2/10 (金)
	補講および定期試験	2023/2/13 (月)～ 2023/2/27 (月)
	大 掃 除	2023/2/28 (火)
	TMDU - TMU 交流	2023/3/1 (水)～ 2023/3/3 (金)
	春 季 休 業	2023/3/9 (木)～ 2023/3/31 (金)

第3学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2022/4/1 (金)
	専門課程ガイダンス	2022/4/4 (月)
	授 業 17 週	2022/4/5 (火)～ 2022/7/26 (火)
	業 界 研 究	2022/7/5 (火)
	カービングコンテスト	2022/7/26 (火)
	TOEFL 試 験	2022/7/27 (水)
	大 掃 除	2022/7/27 (水)
	定 期 試 験	2022/8/1 (月)
	オープンキャンパス	2022/7/28 (木)～ 2022/7/29 (金)
	夏 季 休 業	2022/8/2 (火)～ 2022/9/1 (木)
	補講および定期試験	2022/9/2 (金)～ 2022/9/21 (水)
	登 院 式	2022/9/5 (月)
	授 業 3 週	2022/9/5 (水)～ 2022/9/23 (金)
	グローバル海外研修	2022/9/26 (月)～ 2022/9/29 (木)
後期	授 業 13 週	2022/9/30 (金)～ 2022/12/22 (木)
	創 立 記 念 日	2022/10/12 (水)
	解 剖 体 追 悼 式	2022/10/27 (木) 午後予定
	就 職 対 策 講 座	2022/12/12 (月)
	救命救急実習・大掃除	2022/12/23 (金)
	冬 季 休 業	2022/12/26 (月)～ 2023/1/4 (水)
	授 業 6 週	2023/1/5 (木)～ 2023/2/10 (金)
	補講および定期試験	2023/2/13 (月)～ 2023/2/27 (月)
	大 掃 除	2023/2/28 (火)
	TMDU - TMU 交流	2023/3/1 (水)～ 2023/3/3 (金)
	春期特別臨床実習	2023/3/6 (月)～ 2023/3/17 (金)
	春 季 休 業	2023/3/20 (月)～ 2023/3/31 (金)

第4学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2022/4/1 (金)
	専門課程ガイダンス	2022/4/4 (月)
	授 業 17 週	2022/4/5 (火)～ 2022/7/26 (火)
	カービングコンテスト	2022/7/26 (火)
	大 掃 除	2022/7/27 (水)
	オープンキャンパス	2022/7/28 (木)～ 2022/7/29 (金)
	試験・補講 / 夏期特別臨床実習期間	2022/8/1 (月)～ 2022/8/12 (金)
	夏 季 休 業	2022/8/15 (月)～ 2022/8/19 (金)
	夏期特別臨床実習	2022/8/22 (月)～ 2022/9/9 (金)
	後期	授 業 15 週
創 立 記 念 日		2022/10/12 (水)
歯科技工臨床能力判定試験		2022/11/22 (火)
補 講 ・ 大 掃 除		2022/12/23 (金)
冬 季 休 業		2022/12/26 (月)～ 2023/1/4 (水)
授 業 3 週		2023/1/5 (木)～ 2023/1/19 (月)
臨床実習Ⅲ発表会		2023/1/5 (水)
卒業研究発表会		2023/1/6 (金)
卒業製作発表会		2023/1/11 (水)
国 家 試 験 対 策 講 座 お よ び 自 己 研 究		2023/1/10 (火)～ 2023/2/17 (金)
国 家 試 験		2023/2/19 (日) 予定
キャリアアップ研修		2023/2/20 (月)～ 2023/2/27 (月)
大 掃 除		2023/2/28 (火)
TMDU - TMU 交流		2023/3/1 (水)～ 2023/3/3 (金)
春 季 休 業	2023/3/6 (月)～ 2023/3/23 (木)	
卒 業 式	2023/3/24 (金) 予定	

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教員連絡先一覧

分野名	氏名	メールアドレス
口腔基礎工学分野	青木 和広	kazu.hpha@tmd.ac.jp
	大木 明子	moki.mfoe@tmd.ac.jp
	上條 真吾	s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
口腔デジタルプロセス工学分野	金澤 学	m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp
	岩城 麻衣子	m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp
	土田 優美	yumi.bmoe@tmd.ac.jp
口腔機能再建工学分野	池田 正臣	ikedada.csoe@tmd.ac.jp
	塩沢 真穂	m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

第1学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023501			科目ID	DE-110100-Z		
科目名	口腔保健工学概論			科目ID	DE-110100-Z		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 授業形態: 講義と演習							
主な講義場所 1号館9階特別講堂、1号館7階第1、第2セミナー室、1号館6階第3セミナー室、1~4演習室 D棟4階特別講堂(最終日)							
授業の目的、概要等 自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をとおりて、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標 1. 口腔保健の概要を説明できる。 2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明できる。 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	12:50-14:20	歯学部演習室 特別講堂 第3セミナー室 第1セミナー室 第2セミナー室	オリエンテーション、シナリオ1	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューター: TA:
2-3	4/19	12:50-16:00	歯学部演習室 特別講堂 第3セミナー室 第1セミナー室 第2セミナー室	学習項目の発表、シナリオ2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューター-TA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
4-5	4/26	12:50-16:00	歯学部演習室 特別講堂 第3セミナー室 第1セミナー室 第2セミナー室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューター-TA: 事前学習をしてから授業に参加すること。

6-7	5/10	12:50-16:00	歯学部演習室 特別講堂 第3ゼミナール室 第1ゼミナール室 第2ゼミナール室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
8	5/17	14:30-16:00	特別講堂	全体発表	グループ課題発表、討論、まとめ	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA:

授業方法

講義、PBL、グループ討論、課題発表

事前に提示された課題を学習して資料を準備しておくこと。

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中あるいはメールにて回答する。

成績評価の方法

評価は事前学習の資料準備、授業参加態度、全体発表、課題レポートによって行う。

- ・授業態度を加味し、出席状況(10点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20点)、全体発表の内容(20点)、課題レポートの内容(50点)で総合的に評価する。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

成績評価の基準

成績評価の基準

- ・事前学習資料内容、グループディスカッション、全体発表の合計点数が60点以上の者を合格とする。
- ・配点は、出席状況(10点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20点)、全体発表の内容(20点)、課題レポートの内容(50点)とし、合計100点満点で換算する。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

口腔保健学科口腔保健衛生学専攻との合同講義である。

- ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてからPBLに参加すること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席を単位認定の最低条件とする。

- ・発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

備考

PBL方式の演習、グループワークによる課題発表をおこなう。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

土田優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023505						
科目名	メディア情報学基礎				科目ID	DE-110500-L	
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代[KINOSHITA ATSUHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA MASAYO]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学基礎 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass)、M&D タワー4 階 図書館内 情報検索室 (通常:3 階図書館入口より入館、試験時:4 階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 授業の到達目標 1. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/8	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	情報セキュリティと著作権	情報セキュリティ、著作権	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:1 終了後に課題提出
2	11/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 1	フリーソフトによる静止画像処理とパワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
3	11/22	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 2	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
4	11/29	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 3	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
5	12/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	インターネット情報検索 演習	(AL) インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	到達目標:4 期限までに課題を提出すること
6	12/13	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:3 終了後に課題提出
7	1/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	課題発表 (情報の収集と吟味)	(AL) 課題発表 (情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	到達目標:4 事前に課題発表の準備をすること
8	1/17	10:30-12:00	情報検索室	試験/課題発表 (動画像処理)	WebClass による試験および課題発表 (動画像処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	到達目標:1-4 提出期限までにすべての課題を提出すること 対面で Web 試験を行う

<p>授業方法</p> <p>講義、演習</p> <p>遠隔授業(同期型・非同期型)を行う。</p> <p>遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、課題の提出をもって出席とする。課題提出の期限は原則授業実施予定日から一週間とする。</p> <p>5 回および 7 回は遠隔授業(同期型)を行う。指示された期間までに課題を提出すること。</p> <p>遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。</p> <p>遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>各回の提出課題の達成度、確認テストの点数、最終回の WebClass による試験の点数により、授業の到達目標の達成度を評価する。</p> <p>欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>各回の課題の達成度を 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を 3 割として合計 100 点満点で換算し、評価する。到達目標をすべて達成した場合は A 評価(80 点)以上とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業コマの 2/3 以上出席した者。なお、遠隔授業では、課せられた課題(確認テストへの解答、課題提出)をすべて実施したことをもって出席とみなす。 <p>なお、特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>口腔保健衛生学専攻と合同授業</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp</p> <p>佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp</p> <p>須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>木下 淳博:金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発学分野</p> <p>佐々木 好幸:随時(事前にメールでアポイントを取ること)</p> <p>須永 昌代:随時</p>

時間割番号	023507			科目ID	DE-130700-E		
科目名	造形美術概論実習			科目ID	DE-130700-E		
担当教員	岩城 麻衣子[IWAKI Maiko]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健工学専攻 第4実習室							
授業の目的、概要等 造形美術の理論的背景を基に、補綴装置製作の基礎となる形態認識と造形に関する知識を習得し、観察力、認識力、造形力を養い、歯を立体的に認識し的確に造形できる能力を培う。							
授業の到達目標 1. 形態認識と造形について学ぶ理由、目的、内容を理解し、説明できる。 2. 自分の意図した形態を作ることができるよう、造形力を向上させる。 3. 形態を客観的に見る力、すなわち観察力の向上をはかる。 4. パースペクティブの概要を理解する。 5. 色の三要素の理論を理解し、実際に使いこなす。 6. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/25	14:30-17:40	第4実習室	概論、表現と構成、観察と表現	概論、描写(自画像)	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:1
3-4	11/1	14:30-17:40	第4実習室	観察と表現(平面)、線と輪郭	大顔面、観察の重要性(キリン)	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:1
5-6	11/8	14:30-17:40	第4実習室	観察と表現(立体)	立体の見え方(パース)、紙コップ	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:4
7-8	11/15	14:30-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)1	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:2,3,6
9-10	11/22	14:30-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)2	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:2,3,6
11-12	11/29	14:30-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)3	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:2,3,6
13-14	12/6	14:30-17:40	第4実習室	明度の表現	グレースケールの作成、左右反転	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:3,4
15-16	12/13	14:30-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)1	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:4
17-18	12/20	14:30-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)2	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:4
19-20	1/10	14:30-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)3	伊藤 恵夫 岩城 麻衣子	到達目標:4
授業方法 実習 デッサンなどの描写実習 課題に関する説明を受けたうえで、各自が実習および課題作成を行って提出する。							
成績評価の方法 評価は実習で作成し提出された作品について行う。							

- ・描写-自画像1 (5点)
- ・大画面、観察の重要性 (5点)
- ・立体の見え方 (5点)
- ・色による表現 (10点)
- ・グレースケールの作成 (5点)
- ・描写-自画像2 (50点)

実習成績 合計80点について、「観察力」「認識力」「表現力」を評価する。

さらに授業態度20点を加え、合計点数を実習成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で作成した作品(80点)および授業態度(20点)によって評価を行う。
- ・総合点60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前または実習中に資料を配布する。Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

准教授 岩城麻衣子 随時 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023512																																														
科目名	早期臨床体験実習				科目ID	DE-151200-E																																									
担当教員	池田 正臣, 塩沢 真穂, 青木 和広, 大木 明子, 上條 真吾, 土田 優美, 樋口 和秀, 金澤 学, 岩城 麻衣子 [IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho, AOKI KAZUHIRO, OKI MEIKO, KAMIJO SHINGO, TSUCHIDA Yuumi, Kazuhide Higuchi, KANAZAWA MANABU, IWAKI Maiko]																																														
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		単位数	1																																									
実務経験のある教員による授業	該当する																																														
時間数: 後期 30 時間 授業形態: 実習																																															
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2号館第4実習室																																															
授業の目的、概要等 臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現況を知り、医療人としての基本的な姿勢を学ぶ。また、歯科技工士に求められる資質とは、人の健康の維持・増進に寄与し、健康で幸せな生活の実現のため専門的知識および技術をもって広く社会貢献することであることを認識する。																																															
授業の到達目標 1. 歯科医療従事者に求められる態度を身につける。 2. 歯科医療と歯科保険制度が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を説明できる。 3. 加齢に伴う高齢者の身体的変化を説明できる。 4. 歯科業界の市場および動向について説明できる。 5. 行動特性検査と分析結果を説明できる。 6. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を説明できる。 7. 歯科材料、器械の扱いを説明できる。 8. 歯科医療の現状と補綴装置、顔、口等のニーズについて説明できる。																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/4</td> <td>10:30-12:00</td> <td>第4実習室</td> <td>オリエンテーション、歯科医療概論 身だしなみと態度</td> <td>現在の歯科業界の動向と検証 保険制度と保存修復治療のながれ 医療現場での身だしなみと態度、高齢者疑似体験実習</td> <td>青木 和広 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 金澤 学 塩沢 真穂 岩城 麻衣子 大木 明子 大木 明子</td> <td>到達目標1-4</td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>10/4</td> <td>12:50-17:40</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>課題学習と発表会について 歯科企業見学</td> <td>課題学習法とPPT 操作・作成・発表方法 歯科材料メーカーでの体験実習</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標1-4 (Zoom) 歯科材料メーカーでの体験実習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/11</td> <td>10:30-12:00</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>歯科技工所見学 資料室、図書館の見学</td> <td>中規模歯科技工所 web 見学 資料室見学、図書館の見学と利用方法、文献検索方法</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標1-5 (Zoom)</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>10/11</td> <td>12:50-16:00</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>歯科技工部・病院見学 行動特性分析</td> <td>歯学部附属病院および歯科技工部の紹介 行動特性検査登録</td> <td>池田 正臣 塩沢 真穂</td> <td>到達目標1-5 (Zoom)</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	10/4	10:30-12:00	第4実習室	オリエンテーション、歯科医療概論 身だしなみと態度	現在の歯科業界の動向と検証 保険制度と保存修復治療のながれ 医療現場での身だしなみと態度、高齢者疑似体験実習	青木 和広 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 金澤 学 塩沢 真穂 岩城 麻衣子 大木 明子 大木 明子	到達目標1-4	2-4	10/4	12:50-17:40	遠隔授業(同期型)	課題学習と発表会について 歯科企業見学	課題学習法とPPT 操作・作成・発表方法 歯科材料メーカーでの体験実習	池田 正臣	到達目標1-4 (Zoom) 歯科材料メーカーでの体験実習	5	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	歯科技工所見学 資料室、図書館の見学	中規模歯科技工所 web 見学 資料室見学、図書館の見学と利用方法、文献検索方法	池田 正臣	到達目標1-5 (Zoom)	6-7	10/11	12:50-16:00	遠隔授業(同期型)	歯科技工部・病院見学 行動特性分析	歯学部附属病院および歯科技工部の紹介 行動特性検査登録	池田 正臣 塩沢 真穂	到達目標1-5 (Zoom)
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																								
1	10/4	10:30-12:00	第4実習室	オリエンテーション、歯科医療概論 身だしなみと態度	現在の歯科業界の動向と検証 保険制度と保存修復治療のながれ 医療現場での身だしなみと態度、高齢者疑似体験実習	青木 和広 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 金澤 学 塩沢 真穂 岩城 麻衣子 大木 明子 大木 明子	到達目標1-4																																								
2-4	10/4	12:50-17:40	遠隔授業(同期型)	課題学習と発表会について 歯科企業見学	課題学習法とPPT 操作・作成・発表方法 歯科材料メーカーでの体験実習	池田 正臣	到達目標1-4 (Zoom) 歯科材料メーカーでの体験実習																																								
5	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	歯科技工所見学 資料室、図書館の見学	中規模歯科技工所 web 見学 資料室見学、図書館の見学と利用方法、文献検索方法	池田 正臣	到達目標1-5 (Zoom)																																								
6-7	10/11	12:50-16:00	遠隔授業(同期型)	歯科技工部・病院見学 行動特性分析	歯学部附属病院および歯科技工部の紹介 行動特性検査登録	池田 正臣 塩沢 真穂	到達目標1-5 (Zoom)																																								

					(web)	上條 真吾	
8	10/11	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	マーケティングリサーチ 1と就職活動	歯科市場における商品とサービス および将来的なニーズ 就職活 動の実際	池田 正臣	到達目標1-3.7 (Zoom)
9	10/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	将来のための自己分析	自身の将来設計発表、(就職後の 自分と就職先)	池田 正臣	到達目標1-4.7 (Zoom)
10-11	10/18	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	行動特性分析 マーケ ティングリサーチ2	行動特性検査分析結果の解説 歯科市場における商品とサービス および将来的なニーズ	池田 正臣 樋口 和秀	到達目標1-4.7 (Zoom)
12	10/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	歯科技工士の役割	歯科技工士会、同窓会等、国外の 歯科技工士教育、奨励制度の紹介	池田 正臣	到達目標4.7 (Zoom)
13	12/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	課題学習発表方法	課題学習発表方法おさらい	池田 正臣	到達目標1-8 (Zoom)
14-15	1/31	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	学習結果発表	課題に関する学習結果発表	金澤 学、青 木 和広、大 木 明子、池 田 正臣、上 條 真吾、土 田 優美、塩 沢 真穂、岩 城 麻衣子、 岩城 麻衣子	到達目標8 (Zoom) 学習結 果発表

授業方法

講義、課題発表、演習、実習

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

授業内容

歯科材料メーカー見学では、スーツを着用し、白衣を持参すること

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、実習態度(見学への参加度、10点)、学習成果発表(歯科材料、機器、補綴物、治療方法のニーズについて80点) 学習成果発表の点数が60%未満の場合はスライドを再提出とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。

成績評価の基準

- ・配点は発表時間20点、説明のわかりやすさ20点、スライドの論理性20点、質疑応答20点、合計80点)で評価する。
- ・学習成果発表の点数が60%以上のものを合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科材料、機器、補綴物、治療方法の違いについて事前に調べておくこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で、実習は実習室と材料メーカーで行います。

試験の受験資格

定期試験(学習成果発表会)の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてし

ポート等での対応を行うこととする。
教科書 必要に応じ、適宜資料の配布を行う。
参考書 必要に応じ、適宜資料の配布を行う。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023517A						
科目名	人体の構造と機能	科目ID					
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30 時間 授業形態: 遠隔(同期型一部非同期型)授業と実習							
主な講義場所							
Zoomによる遠隔授業(同期型)、WebClass上のオンデマンド講義および2号館4階 第4実習室							
授業の目的、概要等							
<p>骨の構造と機能を学ぶことを中心に、恒常性を維持するために素晴らしく構成されている人体の不思議に目を向け、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。骨が地上に生きるための支持器官であるとともに、全身と連関して内分泌器官として機能していることが発見されて来た経緯を学ぶことにより、科学的好奇心を鼓舞し、生物学研究に対する理解を深める。また、口腔内細菌が全身疾患と連関していることと新規薬物開発の過程と薬害について理解することにより、2年生科目である「全身疾患と治療の基礎」への橋渡しとする。</p>							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨の構造と機能を説明できる。 2. 骨を構成する細胞について説明できる。 3. 筋肉の起始停止を説明できる。 4. 破骨細胞、骨芽細胞の構造と機能について説明できる。 5. カルシウム代謝を理解することにより、生体の恒常性維持機構を説明できる。 6. 骨のリモデリングと石灰化機構について説明できる。 7. カルシウム代謝の理解から、ホルモンのターゲットとなる腎臓、腸、骨の構造と機能を説明できる。 8. 中枢神経系、自律神経系、運動神経、感覚神経の構造と機能について概説できる。 9. 骨と中枢神経系との連関について発見された経緯について学ぶことにより、生物学の研究手法を説明できる。 10. 遺伝子改変マウスの作製に関して説明できる。 11. 細胞内シグナル伝達とその解析方法に関して概説できる。 12. 生物学と工学との融合研究をととした骨造成剤の開発について概説できる。 13. 新薬開発の過程と薬害に関して概説できる。 14. 口腔内細菌と全身疾患との関連、特に歯周病と糖尿病の関連を説明できる。 15. 恒常性維持機構など人体の合目的な構造と機能について概説できる。 16. 歯の種類、方向、左右の区別について概説できる(口腔医学の基礎のイントロダクション) 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	はじめに、基礎医学について、口腔と骨	臨床に向けた基礎医学分野 口腔における骨の重要性	青木 和広	到達目標: 1, 2
2	10/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	支持器官としての骨の構造と機能	骨と筋肉、解剖用語の理解	青木 和広	到達目標: 1-4, 6
3	10/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	骨にかかわる生体の恒常性維持機構	骨の機能にかかわる細胞とカルシウム代謝	青木 和広	到達目標: 1, 2, 4-6, 15
4-5	11/1	10:30-14:20	第4実習室	骨のリモデリング単位 ハバース系	骨の標本観察実習 顕微鏡の基礎知識	青木 和広	到達目標: 1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観

							察実習
6	11/8	08:50-10:20	第4実習室	生体の恒常性維持に働く器官の理解その1	骨の石灰化機構	青木 和広	到達目標:5,6
7	11/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	生体の恒常性維持に働く器官の理解その2	腎臓と小腸の構造と機能 内分泌器官としての骨	青木 和広	到達目標:7,15
8	11/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	歯周病と全身疾患	歯周病と糖尿病との関連など口腔内細菌と全身との関連の理解	青木 和広	到達目標:13
9	11/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	薬の開発と薬害	新薬の開発過程と問題となった薬害について	青木 和広 片桐 さやか	到達目標:14
10	12/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	生物学の研究手法の理解 生物学と理工学との融合研究	骨関連論文の理解 骨造成に必要な理工学との融合研究	青木 和広 田村 幸彦	到達目標:13
11	12/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	骨の多臓器連関 その1	骨と中枢神経系、末梢神経系(自律神経系)、内分泌系、免疫系 発表準備(グループワーク)	青木 和広	到達目標:1-12, 15
12	12/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	骨の多臓器連関 その2	骨と中枢神経系、末梢神経系(自律神経系)、内分泌系、免疫系 発表準備(グループワーク)	青木 和広	到達目標:1-12, 15
13	1/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	人体の不思議について 発表	人体の目的的な構造と機能について理解する	青木 和広	到達目標:1-15
14-15	1/24	08:50-12:00	遠隔授業(非同期型)	口腔医学の基礎のイントロダクション	歯の種類、方向、左右の区別について概説できる	青木 和広	到達目標:16 FKS21011 OE1 人体の構造と機能 2021

授業方法

講義、実習

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

ブレイクアウト機能を用いて発表資料を作成するグループワークを行う。

顕微鏡を用いた実習を行う。

終了した講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。

成績評価の方法

評価は提出課題、発表、討論、実習のスケッチおよび期末試験(筆記試験:90分)によって行う。

・授業後の小テスト(10点)、TBL方式などによる発表内容や討論の態度(10点)、提出レポートや組織スケッチ(20点)による評価を行う。

発表内容や討論の態度はグループの評価ではなく個人評価である。

・平常点を重視する。

・期末の客観試験、論述試験の配点は60点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。

・出席状況、授業態度を加味する。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験60点、授業後の小テスト(10点)、TBL方式などによる発表内容や討論の態度(10点)、提出レポートや組織スケッチ(20点)とし、合計100点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

・質問がある場合は、WebClassの掲示板を使って質問すること。

質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばし待つこと。

質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の質問内容を各自参照すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とするが、実習は休まないようにすること
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・非同期型授業の場合は、視聴記録とともに小テストに合格することで出席とみなします。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

新骨の科学 = Bone biology / 須田立雄 [ほか] 編著 ; 田中栄 [ほか] 著, 須田, 立雄, 小澤, 英浩, 高橋, 栄明, 田中, 栄(整形外科学), 中村, 浩彰, 森, 諭史, 高橋, 直之, 網塚, 憲生, 遠藤, 直人, 竹澤, 保政; 医歯薬出版, 2016

参考書

ヒューマンボディ : からだの不思議がわかる解剖生理学 / Barbara Herlihy 著 ; 片桐康雄 [ほか] 監訳, Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐, 康雄, 飯島, 治之, 片桐, 展子, 尾岸, 恵三子; エルゼビア・ジャパン, 2008

現代歯科薬理学 = Current Dental Pharmacology / 大谷啓一 監修, 鈴木邦明, 戸苺彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編, 大谷, 啓一, 1949-鈴木, 邦明, 戸苺, 彰史, 青木, 和広; 医歯薬出版, 2018

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィシアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023524			科目ID	DE-152400-L		
科目名	加工技術基礎			科目ID	DE-152400-L		
担当教員	池田 正臣, 土田 優美, 須藤 毅頭[KEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi, SUDOU Takeaki]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第4 実習室 遠隔授業(同期・非同期)							
授業の目的、概要等							
器材の取り扱いと加工方法についての基礎的な技術力を身につけ、プログラミングソフトを用いたデータ加工方法を理解する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 切削加工の概念を説明できる。 2. 道具としての正しい箸の使い方を説明できる。 3. ナイフの安全な使用法を説明できる。 4. 鉛筆の正しい持ち方を説明できる。 5. ハンドピースでの研削の正しい方法を説明できる。 6. のこぎりの正しい使い方を説明できる。 7. プログラミングの歯科への応用例を説明できる。 8. Python の歯科への導入について説明できる。 9. Python を用いたプログラミング方法について説明できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/17	12:50-17:40	第4実習室 総合実習室	鉛筆、箸の持ち方、鉛筆削り、のこぎりでの切断、ハンドピースでの削り方	加工学基礎概論、石膏棒の切断、ナイフによる整形実習、ハンドピースによる整形実習	土田 優美 池田 正臣	到達目標:1-6,10 作品提出
4-6	1/24	12:50-17:40	第4実習室	プログラミングの歯科への導入 とデータ加工	Python の歯科への導入 データ加工法	池田 正臣 土田 優美 須藤 毅頭	到達目標:7-9
7-8	1/31	14:30-17:40	第4実習室	プログラミング実習	Python を用いたプログラミング	池田 正臣 土田 優美 須藤 毅頭	到達目標:6,8,9 レポート提出
授業方法							
実習 幾何学的形態をワックスまたは石膏棒から削り出して製作する実習を行う。 プログラミングソフトを用いたデータ加工についてレポートを提出する。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。							
授業内容							
実習に出席し、時間内に製作物を提出すること。							
成績評価の方法							
実習の評価は、提出作品とレポートによって行う。 ・製作物(60 点)が 60%未満の場合は再提出とする。 ・レポート(20 点) ・出席状況(10 点)および授業態度(10 点)とし、総合的に評価する。							

<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作物、レポート、出席状況、授業態度で評価を行う。 ・配点は、製作物(60点)、レポート(20点)、出席状況(10点)、授業態度(10点)とし、合計100点満点で換算し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に WebClass をチェックし、アップロードされた資料に事前に目を通しておく。指示がある場合にはそれに従って事前学習を行なうこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/4以上の出席を基本とする。 ・実習、遠隔授業に出席し、提示された期限までにプロダクツを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。
<p>参考書</p> <p>刃物や工具の使い方 / PDF ファイル / JAXA 宇宙教育センター, 2014 http://edu.jaxa.jp/materialDB/detail/78885</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。WebClass は随時チェックを行い、連絡事項を聞きもらさないように注意すること。</p>
<p>備考</p> <p>実習時には、テキストプリントを配布しません。各自 Webclass よりダウンロードして用意してください。</p> <p>昨年度の授業終了後アンケートおよび前年度の実習進展度を考慮し、彫刻部位、各歯の作業時間の調整を行っています。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 岩崎直彦 随時 Iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023558			科目ID	DE-495800-Z
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	2022年度4年通年	対象年次	1~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。 (各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。					

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は上記参照。 履修についての質問は、科目責任者(青木)までメールで随時行うこと。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023502			科目ID	DE-210200-L		
科目名	科学英語 I			科目ID	DE-210200-L		
担当教員	池田 正臣[KEDA MASAOMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 授業形態: 講義と実習 遠隔授業(同期型)、演習、課題発表							
主な講義場所 自宅学習 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 1. 歯科医療、自然科学に関する英語、歯科関連英語について、基本的な知識を理解する。 2. 国際人として活躍するために、1 年で学習した「人体の構造と機能」、「早期臨床体験実習」、「メディア情報学基礎」の内容や、興味のある歯科医療の話題を、平易な英語で表現(読む、聞く、書く、話す)する。							
授業の到達目標 1. 英語で、自己紹介ができる。 2. 英語で、簡単なコミュニケーションを行うことができる。 3. 英語で、歯科医療の概要を説明できる。 4. 英語で、歯/口腔の解剖学的構造を説明できる。 5. 英語で、歯科補綴装置、専門用語を説明できる。 6. 英語で、歯科材料を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/18	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	自己紹介 自然科学 の英語	英語での自己紹介 (メディア情報学基礎でのビデオ制作説明→最後に発表) 1-60 語 英語での発表予定	池田 正臣	到達目標: 1, 7 Instructor Dr. Masud Khan
3-4	5/25	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	自然科学の英語	基礎単語テスト(1-60 語) 英語で発表 歯科用単語の説明 61-120 語各科名称、治療法、補綴装置を扱う治療法、日常診療他、演習	池田 正臣	到達目標: 1, 7 Instructor Dr. Masud Khan
5-6	6/1	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科治療の基礎	基礎単語テスト(61-120 語) 演習 歯科用単語の説明 121-180 語 歯科生体材料の名称、	池田 正臣	到達目標: 1-3 Instructor Dr. Masud Khan
7-8	6/8	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科治療の基礎	基礎単語テスト(121-180 語) 歯科診療、歯科診療チーム、演習 歯科用単語の説明 181-240 語	池田 正臣	到達目標: 1-3 Instructor Dr. Masud Khan
9-10	6/15	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯/口腔解剖の基礎	基礎単語テスト(181-240 語) 歯/口腔解剖、名称、方向表現、歯式、演習 歯科用単語の説明 241-300 語	池田 正臣	到達目標: 1-4 Instructor Dr. Masud Khan
11-12	6/22	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科生体材料	基礎単語テスト(241-300 語) コミュニケーション演習	池田 正臣	到達目標: 4-6 Instructor Dr.

							Masud Khan
13-15	7/13	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	まとめ	基礎単語テスト(1-300語) コミュ ニケーション演習 課題発表 質 疑応答	池田 正臣	到達目標:1-7 Instructor Dr. Masud Khan
授業方法 遠隔授業(同期型)、演習、課題発表							
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回英単語テストの受験 (6回) (各回5点 x 6回) ・発表課題の実施 (各回5点 x 2回) ・期末テストの得点 (50点) ・授業態度、出席状況(10点)とし総合的に評価し可否を判定する。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。 							
成績評価の基準 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回英単語テストの受験 (6回) (各回5点 x 6) ・発表課題の実施 (各回5点 x 2回) ・期末テストの得点 (50点満点) ・授業態度、授業態度、出席状況(10点) ・期末テストが6割未満の場合は再試験とする。 							
準備学習等についての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none"> ・1回目までに英語での自己紹介の準備し、提出する課題は、WebClass に提示するので指示に従うこと。(* 課題に要した時間を記録すること) ・英単語テストに出題する単語は WebClass に開示する。(* 課題に要した時間を記録すること) ・最終回の発表課題については、事前にグループで課題を製作すること。(* 課題に要した時間を記録すること) 							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を評価基準とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 							
参考書 歯科英語／全国歯科技工士教育協議会編；鶴田潤 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会,鶴田, 潤.; 医歯薬出版, 2017 Dr. 佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話 = Dr. Sato and Dr. Richard's Dental English conversation／佐藤尚弘, Richard Foxtton 著,佐藤, 尚弘,Foxtton, Richard.; クインテッセンス出版, 2010							
備考 本科目は、演習中心の科目となります。 国際的な感覚、視野を持って仕事をするには必ずしも英語ができることだけで実現するものではありません。 積極的に発言すること、楽しむこと、様々な要素とともに英語というツールを活用することが必要となると思います。 新たな知識を得ることを楽しんで受講するようにしてください。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023017A			科目ID	DE-230400-Z		
科目名	ヘルスプロモーション			科目ID	DE-230400-Z		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健学科 (口腔保健衛生学専攻) 相互実習室 (1号館 8階) 口腔保健工学専攻 第2、3講義室、第3実習室							
授業の目的、概要等 ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、その活動プロセスを学び、口腔保健の専門家としてのヘルスプロモーションにおける役割を理解する。							
授業の到達目標 1. ヘルスプロモーションの定義と役割を説明できる。 2. WHOの健康の定義と施策を説明できる。 3. ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、展開過程(計画・実施・評価)を説明できる。 4. 日本人の健康と疾患(人口動態と死因、生活習慣病)についての背景を説明できる。 5. 人々の健康における問題を自ら発見し、解決する能力を習得する。 6. 歯科医療、口腔保健、健診に関する法律と歯科疾患の実態について説明できる。 7. 口腔健康管理の基礎を理解し、う蝕や歯周病などの疾患の予防法を説明できる。 8. 自分の口腔の状況を認識し、ブラッシング法、フロス、歯磨剤等の使用方法について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/8	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	ヘルスプロモーションとは、施策と活動方法	ヘルスプロモーションとは、背景、ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、課題提示	大木 明子	到達目標:1-4 Zoom
4-6	6/15	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	口腔の健康 口腔疾患の健康管理	口腔の健康、歯科疾患実態調査、口腔疾患と健康、健康管理	大木 明子	到達目標:3,5,6 Zoom
7-9	6/22	12:50-15:40	第2講義室 第3講義室	反転授業・課題演習 健康教育とPDCA サイクル	ヘルスプロモーション課題演習 健康教育とPDCA サイクル 討論	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標:3,5 第3講義室に集合、課題演習グループワーク。事前に課題を行い、準備をしてくること。講義前後に小テスト回答。
10-12	6/29	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	課題発表	ヘルスプロモーション課題発表 割り当てられた課題について発表 スライドを作成し発表	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標:1、3-6 Zoom 発表後に発表スライドを提出
13-15	7/13	13:50-16:40	口腔保健学科相互実習室 第3講義室	口腔健康管理の基礎実習	口腔健康管理、ブラッシング法、フロスや歯磨剤等の使用方法について(OH3との合同実習)	大木 明子、 塩沢 真穂、 安達 奈穂子、 品田 佳世子	到達目標:7、8 最初に第3実習室に集合し、一緒にOHの部屋に移動 実習後にレポートを提出

<p>授業方法</p> <p>講義、グループワーク、課題発表、反転授業、演習、実習</p> <p>遠隔授業(同期型)のほかに反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。 課題の提出を WebClass にて行うこと。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p>
<p>授業内容</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題演習は、小テスト(5点×2)、資料準備(5点)、課題の発表内容(10点)による評価を行う(合計25点)。課題演習はグループの評価ではなく個人評価である。 ・口腔健康管理実習では、レポートを評価する。(5点) ・期末試験の配点は70点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。 ・出席状況、授業態度、発表内容、期末試験を総合的に評価する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験70点、小テスト10点、課題演習の資料準備5点、課題発表10点、口腔健康管理実習レポート5点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>反転授業の回では、事前に WebClass に提示された課題について学習してから講義に臨むこと。 衛生学専攻3年との合同実習では歯の染めだしを行うので、汚れてもいい服装でくること。指定された期日までに事前調査票を記入し提出すること。最終回の実習では歯磨きについての指導が行われるので、使用している歯ブラシ等清掃用具や歯磨剤など、使用しているものをすべて忘れずに持参すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、小テストや演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・口腔保健衛生学専攻との合同実習に参加し、レポートを提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>参考書</p> <p>スタンダード衛生・公衆衛生 = STANDARD PUBLIC HEALTH AND HYGIENE / 安井利一, 荒川浩久, 三宅達郎 編集, 安井, 利一, 1951-, 荒川, 浩久, 1952-, 三宅, 達郎.: 学建書院, 2019</p> <p>歯科発アクトイブライフプロモーション 21 : 健康増進からフレイル予防まで / 花田信弘 監著, 武内博朗, 野村義明, 泉福英信 編著, 花田, 信弘, 1953-, 武内, 博朗, 1962-, 野村, 義明, 泉福, 英信.: デンタルダイヤモンド社, 2017</p> <p>国際保健医療学 / 日本国際保健医療学会編集 ; 石井明 [ほか] 編集委員, 日本国際保健医療学会, 石井, 明.: 杏林書院, 2005</p> <p>FACTFULNESS : 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣 / ハンス・ロスリング, オーラ・ロスリング, アンナ・ロスリング・ロンランド 著, 上杉周作, 関美和 訳, Rosling, Hans, 1948-2017, Rosling, Ola, 1975-, Rönnlund, Anna Rosling, 1975-, 上杉, 周作, 関, 美和.: 日経 BP 社, 2019</p> <p>口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry / 安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編, 安井, 利一, 1951-, 宮崎, 秀夫, 1952-, 鶴本, 明久, 1952-.: 医歯薬出版, 2017</p>

他科目との関連

感染予防と一部関連があります。

履修上の注意事項

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。特に反転授業、課題演習の回は予習してこないと授業に参加できないので必ず予習をしてくること。 ・口腔健康管理は口腔保健衛生学専攻 3 年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシなどの清掃用具、歯磨剤、筆記具を持参し、服装に注意すること。実習に際し事前アンケートが必要になるので指定された期日までに実施して提出すること。衛生学専攻学生からのフィードバック後にレポートを提出すること。

備考

反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習を行うのは Zoom ではなく対面での演習とすること、課題演習の評価を個人での評価と明記すること、合同実習を対面で行い、実習内容に学生同士のフィードバックの時間を追加し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023559					科目ID	
科目名	グローバル口腔保健工学			科目ID			
担当教員	JANELLE RENEE MOROSS[JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2022年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 講義, グループディスカッション							
主な講義場所 2号館 第1講義室							
授業の目的、概要等 日本の歯科技工、歯科医療の現況を知り、日本と海外の歯科医療の違いを認識し、海外の口腔保健工学に携わる学生に説明するために必要な基本的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を説明できる。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について説明できる。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを説明できる。 4. 東京医科歯科大学を説明できる。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを作成できる。 6. 英語で1~4の内容を説明することを考慮したプレゼンテーションを作成できる。 7. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/5	10:00-11:50	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工 Preparation for English presentation	海外研修の意義 過去のプレゼンテーション視聴 Talk about topics and what needs to be done	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標 1-5
3-5	10/26	09:00-11:50	第1講義室	グローバル報告会 日程調整中	グローバル報告会に参加	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標:1-7
6-7	11/16	10:00-11:50	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	紹介すべき項目の列挙と整理	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標:1-7 事前に課題を行い準備をしておくこと
8-9	11/30	10:00-11:50	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	紹介すべき項目の列挙と整理 英語で作成したスライドを準備してグループワーク	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標:1-7 グループワーク 事前に課題を行い準備をしておくこと
10-11	12/14	10:00-11:50	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	英語で作成したスライドを用いた発表 (日本)	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標:1-7 発表 事前に課題を行いスライドを作成すること
12-13	1/18	10:00-11:50	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	英語で作成したスライドを用いた発表 (医科歯科大学)	JANELLE RENEE MOROSS, 青木和広	到達目標:1-7 事前に課題を行いスライドを作成

						木 和広	すること
14-15	2/1	10:00-11:50	第1講義 室	外国人に紹介する日 本、東京医科歯科大学、 歯科技工	英語で作成したスライドを用いた 発表（歯科技工）	JANELLE RENEE M OROSS, 青 木 和広	到達目標:1-7 事前に課題を行 いスライドを作成 すること
授業方法							
<p>授業形態: 講義, グループディスカッション</p> <p>毎週課題が出されます。必ず提出することで実力がついてきます。</p> <p>事前に学習して準備を行うこと。</p>							
成績評価の方法							
<p>評価は、出席状況・授業態度(10点)、毎回の課題の準備状況(40点)、提出プレゼンテーションおよび発表(50点)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を提示された期限までに提出すること。 ・課題演習、発表内容はグループの評価ではなく個人評価である。 							
成績評価の基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・合計点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、出席状況、授業態度(10点)、毎週の課題提出状況や毎回の課題の準備状況(40点)、提出プレゼンテーションおよび発表(50点)で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 							
準備学習等についての具体的な指示							
<p>毎週、英語エッセイを提出する宿題をおこなうこと。</p> <p>前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。</p> <p>事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>							
試験の受験資格							
<p>定期試験の受験資格(課題発表会参加資格)</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席を基本とする。 ・発表資料などの課題を提示された期限までに必ず提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 							
備考							
<p>昨年度授業終了時アンケート結果より、課題内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p>							
連絡先(メールアドレス)							
JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
JANELLE RENEE MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。							

時間割番号	023510A			科目ID	DE-231000-L		
科目名	感染予防			科目ID	DE-231000-L		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 授業形態:講義・演習 遠隔授業(同期・非同期)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、一部非同期型)、口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階)							
授業の目的、概要等 病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみ、感染予防の方法ならびに実際の対処法、特に、歯科医療で必要となる消毒・滅菌の実際と標準予防策について理解する。							
授業の到達目標 授業の到達目標 1. 細菌、ウイルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から説明できる。 2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき説明できる。 3. 感染の予防と治療の基礎について説明できる。 4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について説明できる。 5. 感染予防の方法と限界について説明できる。 6. 感染を予防する手洗いができる。 7. 抗感染薬について説明できる。 8. 疫学の成り立ちと疫学の基礎的用語について説明できる。 9. 歯科医療現場で遭遇する感染症について説明できる。 10. 歯科技工操作における感染予防・安全対策の対処法が説明できる。 11. 細菌をグラム染色し、陽性が陰性が判定できる。 12. COVID-19 対策など、感染症対策を自ら考えることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/6	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	微生物と疾病、病原性微生物	微生物の特徴、病原性微生物細菌、ウイルス、真菌の特徴	鈴木 敏彦	到達目標::1
4-6	4/13	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	病原微生物と感染症	グラム陽性菌・陰性菌と感染症、ウイルス感染症	齋藤 良一	到達目標::2,3
7-9	4/20	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その1)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標::3
10-12	4/27	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その2)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標::3
13-15	5/24	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔の微生物と感染症	口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄炎、歯周病ほか	竹内 康雄	到達目標::4, 11
16	6/1	11:00-14:40	遠隔授業 (同期型)	滅菌、消毒法と感染対策	洗浄、消毒、滅菌と歯科における感染対策	飯野 由子	到達目標::1,3,5, 9, 10

17-18	6/1	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	感染予防・消毒材料の 開発	除菌・抗菌作用、バイオフィルム形 成阻止材料	二川 浩樹	到達目標::1- 5
19-20	6/29	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	疫学の基礎	感染症と疫学、オッズ比、擬陽性 等、疫学用語の理解	相田 潤	到達目標::8
21-22	7/6	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	抗感染症薬	化学療法薬、抗真菌薬、抗ウイ ルス薬	芦田 浩	到達目標::7
23-25	7/6	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	疫学演習	感染症対策演習	相田 潤、青 木 和広	到達目標::1-10、 12 宿題を行った 上で参加すること 感染症対策演習
26-28	7/20	12:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌観察の実際 (OH との合同実習)	細菌のグラム染色(口腔内細菌も 含む)	鈴木 敏彦、 芦田 浩、鈴 木 志穂	OH 合同実習

授業方法

遠隔授業(同期・非同期)、Zoom での演習(7/6)、対面での実習(7/20)

成績評価の方法

評価は確認テスト、発表、実習レポートおよび期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・確認テスト(22点)、感染症対策演習発表スライド提出(14点)、微生物実習レポート(14点)による評価を行う(合計50点)。
- ・期末試験(筆記試験)の配点は50点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。

評価を行う。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。
- ・配点は、筆記試験(50点)、確認テスト(22点)、感染症対策演習発表スライド提出(14点)、微生物実習レポート(14点)とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・まとめとなる7/6、7/20の演習、実習はかならず出席すること。
- ・やむを得ない理由で欠席する場合は、メールで連絡後、実習相当のレポート課題の提出を求め、評価を行い、試験の受験資格を認めることとする。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

それぞれの担当教員への質問は掲示板を使って下さい。

時間割番号	023514						
科目名	う蝕と歯周病			科目ID	DE-251400-L		
担当教員	池田 正臣, 井上 剛, 岩田 隆紀, 竹内 康雄[KEDA MASAOMI, INOUE GO, IWATA Takanori, TAKEUCHI YASUO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 う蝕の原因と歯の実質欠損病態およびその治療法を理解する。また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。							
授業の到達目標 1. 保存修復の全体像を説明できる。 2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明できる。 3. 接着材料と技術について説明できる。 4. 歯周病の全体像を説明できる。 5. 審美修復材料について説明できる。 6. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明できる。 7. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/13	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	保存修復概論	硬組織疾患の診断と処置、不潔域、自浄作用	井上 剛	到達目標 1~3
3-4	4/20	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	う蝕	う蝕の診断と処置、切削装置	井上 剛	到達目標 1~3
5-6	4/27	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	う蝕	硬組織、窩洞の名称と分類、窩洞形態	井上 剛	到達目標 1~3
7-8	5/10	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯周病学概論	歯周病の治療法	岩田 隆紀	到達目標 4,6
9-10	5/10	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	歯周病	歯周病の病因と病態	竹内 康雄	到達目標 4,6
11-12	5/11	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	接着性コンポジット レジン修復	材料、接着の基礎(歯質との接着)、臨床術式	井上 剛	到達目標 3,5,7
13	5/18	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	審美性間接修復 材料の透過性演習	材料、接着の基礎、レジンインレー、ポーセレンインレー、CAD/CAM、ラミネートベニア、ホワイトニング 細菌付着ディスカッション 光照射演習	池田 正臣	到達目標 3,5,7 細菌付着ディスカッション 光照射演習
14-15	6/24	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	メンテナンス ディスカッション	う蝕予防、修復物の予後	井上 剛	到達目標 3,5,7
授業方法 講義、光重合演習 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。							

<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況(10点)、ディスカッションへの参加度(10点)、期末試験(80点)で総合的に評価する。 ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で行います。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う
<p>教科書</p> <p>歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>接着歯学 = Adhesive dentistry / 日本接着歯学会 編日本接着歯学会, 医歯薬出版, 2015</p>
<p>備考</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p>

時間割番号	023560						
科目名	口腔医学の基礎			科目ID			
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30時間 授業形態:講義と実習 講義は遠隔授業(同期型、非同期型)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、非同期型)、医学部解剖実習室(3号館地下)							
授業の目的、概要等 歯の形態を知り、永久歯の鑑別ができるようになること。 薬理学の基礎を身につけ、また、人体の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。 なお、薬理学は後期全身疾患と治療の基礎においても継続して学ぶ。							
授業の到達目標 1. 歯の生物学的特性、歯の外形と内形を説明できる。 2. 歯の種類と名称を列挙できる。 3. 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。 4. 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。 5. 歯の形態を説明できる。 6. 歯の植立様式を説明できる。 7. 永久歯の形態的特徴を列挙できる。 8. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。 9. 歯の数、形態および色の異常について説明できる。 10. 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学)と臨床医学との架け橋である薬理学について説明できる。 11. 多職種連携になぜ薬理学が必要かを説明できる。 12. オーダーメイド医療について説明できる。 13. 薬理作用の種類を説明できる。 14. 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 15. 薬物の構造活性相関について説明できる。 16. 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 17. 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 18. 薬理作用を規定する要因について説明できる。 19. 薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 20. ライフステージと薬の効果について説明できる。 21. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物1	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	到達目標:10~12 FKS22012 OE2 口腔医学の基礎 2022 小テスト
2	4/11	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯の基本用語、基本形態、歯群	歯の種類と名称、歯式、英語名称、歯列弓、咬合	青木 和広	到達目標:1-7

			型)				
3-4	4/18	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	永久歯の形態 1, 2	前歯群、小臼歯群の形態	青木 和広	到達目標:1-7
5	4/18	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	永久歯の形態 3	大臼歯	青木 和広	到達目標:1-7
6	4/18	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	生体と薬物2	薬の使用目的とその作用、受容 体と薬物	青木 和広	到達目標:10-14
7	4/25	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯の鑑別テスト	歯の鑑別(永久歯)	青木 和広	到達目標:1-7 テストを実施
8	4/25	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	歯の鑑別法	歯の鑑別法	青木 和広	到達目標:1-9 終了後に小テスト を実施
9	5/2	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	乳歯の形態1	乳歯の特色、乳切歯	青木 和広	到達目標:1-8 終了後に小テスト を実施
10	5/2	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	乳歯の形態 2	乳犬歯、乳臼歯 歯の形態の多 様性	青木 和広	到達目標:1-8 終了後に小テスト を実施
11	5/2	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	歯列と咬合	歯の解剖学 2~4 の関連動画	青木 和広	到達目標:1-9 終了後に小テスト を実施
12	5/2	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	歯の異常 国家試験問 題	形態異常	青木 和広	到達目標:1-9 終了後に小テスト を実施
13-15	5/16	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)				
16-18	5/23	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)				
19-21	5/30	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)				
22-24	6/6	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)				
25-26	6/13	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)				
27-28	6/27	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)				
29-30	7/11	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)				

授業方法

講義、実習

前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、掲示板に書き込むあるいは、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出課題および期末試験(筆記試験:90分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題提出は、提出レポートや小テストなど提出物(20点)により評価する。 ・期末試験は歯の鑑別テスト、客観試験、論述試験(70点)により評価する。 ・出席状況、授業態度(10点)を加えて総合的に評価する。 ・期末試験の配点は70点とするが、歯の鑑別テストは7割未満の場合は再試験とする。さらに期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。筆記テストを含めて6割以上でも鑑別テストが7割以上とれない場合は、鑑別テストのみ再試験とする。 <p>なお、筆記テストはCBTを含みます。</p>
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の鑑別テストが70点以上、かつ、期末試験が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験70点、提出課題が20点(提出レポートや小テストなど)、出席状況、授業態度(10点)とし、合計100点満点で換算し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 ・非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、感想を記入し、小テスト(確認テスト)を行う、もしくは合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。
<p>参考書</p> <p>現代歯科薬理学／鈴木邦明 [ほか] 編 鈴木 邦明, 戸苅 彰史, 青木 和弘, 兼松 隆, 筑波 隆幸, 大谷 啓一.; 医歯薬出版, 2018</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、講義、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023561						
科目名	全身疾患と治療の基礎			科目ID			
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 45 時間 授業形態: 講義と実習 講義は遠隔授業(同期型、非同期型)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型・非同期型)、口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階)、医学部解剖実習室(3号館地下)							
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の骨格、筋、神経支配、脈管およびその発生過程、口腔器官の組織を理解する。 薬の作用を規定する要因に対して理解をした土台の上で、全身疾患の病因に基づく薬物開発過程と全身疾患の治療法について理解する。生きた動物を用いた生理・薬理学実習や顎顔面の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。							
授業の到達目標 10. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について説明できる。 11. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明できる。 12. 顎口腔の神経支配を理解する。 13. 口腔領域に分布する脈管系を理解できる。 14. 口腔と口蓋の構造と機能および発生について理解できる。 15. 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 16. 歯の組織の基本的構造を説明できる。 17. 歯周組織の基本構造を説明できる。 18. 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。 19. 3次元的身体構造を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物1	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	到達目標:1-4
2	10/3	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物2	薬の使用目的とその作用、受容体と薬物	青木 和広	到達目標:1-4
3	10/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物3	薬物の適用方法	青木 和広	到達目標:1-7
4	10/17	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物4	薬物の吸収、分布、代謝、排泄	青木 和広	到達目標:1-7
5	10/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物5	薬物の生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	到達目標:1-10
6	10/24	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物6	薬理作用を規定する要因、薬物の反復、構造活性相関	青木 和広	到達目標:1-10
7	10/24	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	生体と薬物7	ライフステージと薬物	青木 和広	到達目標:1-10
8-10	10/31	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	疾病と治療1 病理学1	「病理学序論」「炎症・感染症」	栢森 高	到達目標:26 FKS22013 OE2 全身疾患と治療の基礎 2022 の

							小テストを視聴後 行う の小テスト を視聴後行い6点 以上で出席としま す。
11-13	11/7	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	疾病と治療 2 病理学 2	「腫瘍総論」「口腔領域の腫瘍」	栢森 高	到達目標:26 FKS22013 OE2 全身疾患と治療 の基礎 2022 の 小テストを視聴後 行う の小テスト を視聴後行い6点 以上で出席としま す。
14	11/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治 3 痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広	到達目標:11
15	11/14	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 4 抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬、ステロ イド性抗炎症薬、	青木 和広	到達目標:11
16	11/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 5 末梢神経 系の生理	神経伝達物質、自律神経系、運動 神経系	青木 和広	到達目標:13
17	11/21	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 6 循環器系 の薬理	高血圧の治療薬	青木 和広	到達目標:12
18	11/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 7	局所麻酔薬	青木 和広	到達目標:12
19	11/28	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 8 中枢神経 系の薬理その 1	全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、 抗不安薬の種類と特徴	田村 幸彦	到達目標:17
20-23	12/2	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	実習 1 「中枢神経系の 薬理」	中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤 感受性の個体差 ED50	青木 和広、 田村 幸彦、 菅森 泰隆、 天野 均	到達目標:1-10、 17 終了後に 実習レポートを提 出 OH2と合 同実習
24	12/5	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 9 末梢神経 系作用薬物	AL(演習)・TBL 方式の講義 神経 伝達物質、自律神経系作用薬、運 動神経系作用薬。・授業参加前に 予習が必要です。WebClass に教 材をアップします。	青木 和広	到達目標:13
25	12/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 10 硬組織 に作用する薬物	カルシウム代謝薬・骨吸収抑制 薬・骨形成促進薬・骨質改善薬	青木 和広	到達目標:18
26	12/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 11 中枢神 経系の薬理その 2	AL(演習)・講義 中枢神経興奮薬、 抗てんかん薬、パーキンソン病治 療薬、アルツハイマー病治療薬の 種類と特徴	田村 幸彦	到達目標:17 OH2と合同講義
27-30	12/9	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	実習 2 「硬組織の生 理・薬理」	全身臓器の確認 硬組織研磨標 本の作製 硬組織内時刻描記法 により、象牙質の形成、歯槽骨の 成長、脛骨、大腿骨の成長、およ び 骨吸収抑制剤の効果を評価 する	青木 和広、 田村 幸彦、 菅森 泰隆、 天野 均	到達目標:1-10、 18, 24 終了後に 実習レポートを提 出 OH2と合同 実習
31	12/12	09:00-09:50	遠隔授業	疾病と治療 12	漢方薬	青木 和広	到達目標:25

			(非同期型)				FKS22013 OE2 全身疾患と治療の基礎 2022 の小テストを視聴後行う
32	12/12	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 13 呼吸器系の薬理	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦	到達目標:14 OH2と合同講義
33	12/12	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	疾病と治療 14 消化器系の薬理	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作用薬	田村 幸彦	到達目標:14 OH2と合同講義
34	12/19	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	疾病と治療 15	感染症薬	青木 和広	到達目標:25 FKS22013 OE2 全身疾患と治療の基礎 2022 の小テストを視聴後行う
35	12/19	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	疾病と治療 16	感染症薬	青木 和広	到達目標:25 FKS22013 OE2 全身疾患と治療の基礎 2022 の小テストを視聴後行う
36	12/19	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 17	唾液腺の生理、病気と治療、臨床検査	樺沢 勇司	到達目標:15.16
37	1/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 18	臨床検査	樺沢 勇司	到達目標:16
38	1/16	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 19	血液系の薬理	青木 和広	到達目標:12
39	1/16	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 20	内分泌系の薬物	田村 幸彦	到達目標:14
40-42	1/23	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	疾病と治療 21	免疫系の薬理	青木 和広	到達目標:14
43-45	2/9	09:00-11:50	解剖学実習室	頭頸部の解剖 (担当者調整中)	頭頸部の解剖実習見学	坂本 裕次郎	到達目標:19-24 頭頸部の解剖実習見学

授業方法

TBL方式の講義も導入する。

前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。動物実習のために必要な実験手技をシミュレーション教材としてWebClassにアップするので、必ず予習してくること。

・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度(10点)、提出レポートや小テストなど提出物(20点)による平常点、および期末テスト(70点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが6割未満の者は再試験となる。

再試験で6割未満のものは不合格となる。

成績評価の基準

・出席状況、授業態度(10点)、提出レポートや小テストなど提出物(20点)による平常点、および期末テスト(70点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが6割未満の者は再試験となる。

<p>・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 ・非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、感想を記入し、小テスト(確認テスト)を行う、もしくは合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。
<p>参考書 現代歯科薬理学／青木和広 [ほか] 編、大谷 啓一監修：医歯薬出版、2018 ヒューマンボディ：からだの不思議がわかる解剖生理学／Barbara Herlihy 著；片桐康雄 [ほか] 監訳、Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐 康雄、飯島 治之、片桐 展子、尾岸 恵三子、.:エルゼビア・ジャパン、2008</p>
<p>備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023520A							
科目名	歯の形態基礎実習				科目ID			
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2		単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する							
科目名:歯の形態基礎実習 時間数:45 時間 授業形態:実習 必修								
主な講義場所 第3実習室								
授業の目的、概要等 補綴装置製作の基本となる天然歯の概形を的確に彫刻再現できる技術力を養い、種々の補綴装置製作における基礎的造形能力を身につける。								
授業の到達目標 1. 大臼歯の形態的特徴を理解し、概形をワックス彫刻で再現できる。 2. 大臼歯の概形をワックスで短時間で彫刻できる。 3. 小臼歯の形態的特徴を理解し、概形をワックス彫刻で再現できる。 4. 前歯の形態的特徴を理解し、概形をワックス彫刻で再現できる。								
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1-2	4/12	10:00-11:50	第3実習室	歯のデッサンおよびワックス彫刻の進め方	歯のデッサン方法の説明 球体彫刻によるワックス彫刻方法の説明	土田 優美	到達目標:1	
3-4	4/19	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(1)-①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
5-6	4/26	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(1)-②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
7	5/17	10:00-10:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯(1)-①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
8-9	5/19	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯(1)-②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
10-11	5/26	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯(1)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
12-13	5/31	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一大臼歯(1)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
14-15	6/2	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
16-17	6/7	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
18-19	6/9	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
20-21	6/14	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1	
22-23	6/16	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(3)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3	
24-25	6/21	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3	

			室	(3) 上顎右側第一小臼歯 ②			
26-27	6/23	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯 (3) 下顎右側第一小臼歯 ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3
28-29	6/28	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一大臼歯 (3) 下顎右側第一小臼歯 ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3
30-31	6/30	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯 (4) 下顎右側第一小臼歯 ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3
32-33	7/5	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯 (4) 下顎右側第一小臼歯 ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 3
34-35	7/7	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯 (4) 上顎右側犬歯 ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 4
36-37	7/12	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一大臼歯 (4) 上顎右側犬歯 ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 4
38-39	7/14	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯 (5) 上顎右側中切歯 ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 4
40-41	7/19	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯 (5) 上顎右側中切歯 ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2, 4
42-43	7/21	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯 (5) 下顎右側第一大臼歯 (5)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標:1, 2
44-45	7/26	10:00-11:50	第3実習室	カービングコンテスト	カービングコンテスト	土田 優美	到達目標:1, 2

授業方法

実習

歯形彫刻実習。最終日に他学年と合同のカービングコンテストを、期末試験期間に実技試験を実施する。

成績評価の方法

- ・7月に行われるカービングコンテストおよび期末実技試験の成績によって行う。
- ・カービングコンテスト 40点
- ・期末実技試験の成績 60点
- ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

カービングコンテストおよび期末実技試験の成績に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業・見学実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy / 全国歯科技工士教育協議会 編集、脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミ

カ 著 脇坂 聡, 杉田 順弘, 市川 博之, 全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版, 2016

参考書

歯の解剖学 / 藤田恒太郎原著, 藤田 恒太郎, 桐野 忠大, 山下 靖雄: 金原出版, 1995

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、内容を改善している。

時間割番号	023521A			科目ID	DE-252000-E		
科目名	歯の形態実習			科目ID	DE-252000-E		
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:歯の形態実習 時間数:45 時間 授業形態:実習 必修							
主な講義場所 第3実習室							
授業の目的、概要等 補綴装置製作の基本となる天然歯の形態を精密に彫刻再現できる技術力を養い、種々の補綴装置製作における高度な造形能力を身につける。							
授業の到達目標 1. 大臼歯の形態的特徴を理解し、ワックス彫刻で精密に再現できる。 2. 小臼歯の形態的特徴を理解し、ワックス彫刻で精密に再現できる。 3. 前歯の形態的特徴を理解し、ワックス彫刻で精密に再現できる。 4. 大臼歯を石膏彫刻で精密に再現できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(1)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
3	10/7	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎右側第一大臼歯(1) ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
4-5	10/11	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯(1)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
6-7	10/18	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
8	10/21	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎右側第一大臼歯(1) ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
9-10	10/25	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
11	10/28	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎右側第一大臼歯(1) ①	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
12-13	11/1	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第二小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
14	11/4	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎右側第一大臼歯(1) ②	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1
15-16	11/8	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側犬歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 3
17	11/11	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎左側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1 ※ 中間課題

			型)				
18-19	11/15	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側中切歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 3
20	11/18	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎右側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1 ※ 中間課題
21-22	11/22	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側中切歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 3
23	11/25	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎左側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1 ※ 中間課題
24-25	11/29	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側犬歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 3
26-27	12/6	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第二小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
28-29	12/13	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
30	12/16	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎右側第一大臼歯(2)	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 1 ※ 中間課題
31-32	12/20	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一小臼歯	デッサン、彫刻	土田 優美	到達目標: 2
33-34	1/10	10:00-11:50	第3実習室	上顎左側第一大臼歯(3) ①	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
35	1/13	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎左側第一大臼歯(3) ②	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
36-37	1/17	10:00-11:50	第3実習室	上顎右側第一大臼歯(3) ①	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
38	1/20	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	上顎右側第一大臼歯(3) ②	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
39-40	1/24	10:00-11:50	第3実習室	下顎左側第一大臼歯(3) ①	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
41	1/27	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎左側第一大臼歯(3) ②	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
42-43	1/31	10:00-11:50	第3実習室	下顎右側第一大臼歯(3) ①	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
44	2/3	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	下顎右側第一大臼歯(3) ②	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題
45	2/10	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	最終課題仕上げ	デッサン、石膏彫刻	土田 優美	到達目標: 1.4 ※最終課題

授業方法

実習

歯形彫刻実習。授業期間内に中間課題および最終課題を課す。

成績評価の方法

<p>中間課題および最終課題の成績によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間課題:ワックス彫刻4種(上・下顎、左・右側 第一大臼歯)各10点、合計40点 ・最終課題:石膏彫刻4種(上・下顎、左・右側 第一大臼歯)各15点、合計60点
<p>成績評価の基準</p> <p>中間課題および最終課題の成績に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>教科書</p> <p>口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy / 全国歯科技工士教育協議会 編集、脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著、脇坂 聡、杉田、順弘、市川、博之、全国歯科技工士教育協議会.: 医歯薬出版, 2016</p>
<p>参考書</p> <p>歯の解剖学 / 藤田恒太郎原著、藤田、恒太郎、桐野、忠大、山下、靖雄.: 金原出版, 1995</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、内容を改善している。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>yumi.bmoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023522			科目ID	DE-252200-L		
科目名	咬合学			科目ID	DE-252200-L		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 非同期型遠隔授業 2号館第3実習室							
授業の目的、概要等 顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。							
授業の到達目標 1. 顎口腔系の形態を説明できる。 2. 顎口腔系の機能を説明できる。 3. 下顎位の定義とその臨床的意義を説明できる 4. 下顎運動の種類と特徴を説明できる。 5. 下顎運動範囲を説明できる。 6. 咬合器の種類と特徴を説明できる。 7. 咬合器の調節方法を説明できる。 8. フェイスボウの意義を説明できる。 9. 咬合干渉の種類と原因を説明できる。 10. 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触を説明できる。 11. 有床義歯の咬合様式を説明できる。 12. ゴシックアーチ描記装置を製作し、ゴシックアーチによる水平的顎間関係記録を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/13	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	1.顎口腔系の形態 2.顎口腔系の機能	『顎口腔機能学』P.1-18	水口 俊介, 金澤 学,岩城 麻衣子	到達目標: 1,2
3-4	4/27	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	3.下顎位 4.下顎運動	『顎口腔機能学』P.19-32	根本 怜奈, 金澤 学,岩城 麻衣子	到達目標: 3-5
5-6	5/10	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	5.歯の接触様式	『顎口腔機能学』P.35-46	佐藤 美穂, 金澤 学,岩城 麻衣子	到達目標: 6-9
7-8	5/11	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	6.咬合器 7.咬合検査と顎機能障害	『顎口腔機能学』P.47-67	大森 哲,金澤 学,岩城 麻衣子	到達目標: 10-11
9	5/17	11:00-11:50	第3実習室	咬合採得・咬合器装着(実習)	咬合採得・咬合器装着(実習)	金澤 学,岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	全部床義歯工学実習と連動 到達目標: 12
10-12	5/17	12:50-15:40	第3実習室	咬合採得・咬合器装着(実習)	咬合採得・咬合器装着(実習)	金澤 学,岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	全部床義歯工学実習と連動 到達目標: 12
13-15	5/19	12:50-15:40	第3実習室	ゴシックアーチ(実習)	ゴシックアーチ装置の製作	金澤 学,岩	全部床義歯工学

			室			城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	実習と連動 到 達目標: 12
授業方法							
講義および実習 遠隔授業(非同期型)のほかに咬合採得・ゴシックアーチ実習があります。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。実習前に動画資料を視聴して予習しておくこと。 遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。							
成績評価の方法							
・確認テスト50点, 期末テスト50点(筆記試験)の合計100点によって行う。							
成績評価の基準							
小テスト, 期末テストの合計点数が 60 点以上のものを合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示							
事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。講義は遠隔授業(非同期型)、実習は実習室で行います。							
試験の受験資格							
定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席とする。 ・授業ごとの確認テストの実施をもって出席とする。							
教科書							
顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著, 志賀, 博, 町, 博之, 小泉, 順一, 全国歯科技工士教育協議会.: 医歯薬出版, 2016							
他科目との関連							
全部床義歯工学、全部床義歯工学実習と連動しています。							
履修上の注意事項							
講義部分は遠隔授業(非同期型)で、咬合採得・ゴシックアーチは実習を行います。							
備考							
本講義では、講義内容によって全部床義歯工学実習と連動し、実習によるアクティブラーニングを実施します。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 口腔デジタルプロセス学分野 教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp							

時間割番号	023526A			科目ID	DE-252600-L		
科目名	口腔保健理工学			科目ID	DE-252600-L		
担当教員	塩沢 真穂, 宇尾 基弘[SHIOZAWA Maho, UO MOTOHIRO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型および非同期型)							
授業の目的、概要等 歯科技工で用いられている材料の基礎的な物理的、化学的知識を修得する。歯科技工で用いる各種の歯科材料・器械について、扱う上で必要な知識を修得する。							
授業の到達目標 1. 物質の構造, 基本単位を説明できる。 2. 無機材料の特性を理解してその特徴について説明できる。 3. 金属材料の特性を理解してその特徴について説明できる。 4. 高分子材料の特性を理解してその特徴について説明できる。 5. 複合材料の定義と分類を説明できる。 6. 歯科用ワックスについて説明できる。 7. 歯科材料の物理的・化学的性質について説明できる。 8. 歯科材料の生物学的安全性を説明する。 9. 金属の加工法と, それに伴う加工硬化と熱処理を説明できる。 10. 歯科用合金の種類と特徴を説明できる。 11. 模型用材料の組成と特徴を説明できる。 12. レジン材料の種類と組成, 成形法と特徴を説明できる。 13. 切削と研磨の原理を説明できる。 14. 印象材の組成と特徴を説明できる。 15. 接着の機序と接着剤の成分を説明できる。 16. 成形修復材料の種類と特徴を説明できる。 17. 審美修復に必要な色彩に関する知識を説明できる。 18. セラミックスの種類と特徴, 加工法を説明できる。 19. 歯科材料の安全性を説明できる。 20. 歯科用インプラント材料の特徴を説明できる。 21. 歯科用 CAD/CAM の基礎知識を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口腔保健理工学概論	口腔保健理工学概論	塩沢 真穂	到達目標:1
2-3	4/6	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	材料の物性評価の基礎 歯科材料・歯質の物性 生物学的安全性試験	応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 光学的性質、腐食、防食、変色、 表面張力、接着とぬれ 歯科材料 の安全性、薬機法における歯科材 料の分類	宇尾 基弘	到達目標:1, 7, 8, 19 WebClass 小テストを実施
4-7	4/8	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	金属材料の基礎 歯科 用合金	金属材料の特徴、歯科用合金の 種類、特徴	宇尾 基弘	到達目標:3, 10 WebClass 小テ ストを実施
8-11	4/11	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	合金の状態図 合金の 熱処理と腐食	加工の特徴、加工硬化、金属材料 の熱処理	宇尾 基弘	到達目標:9 WebClass 小テ

			型)				ストを実施
12	4/18	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用ワックス 光と色	歯科用ワックスの種類と特徴 光と色	宇尾 基弘	到達目標:6, 17 WebClass 小テストを実施
13-14	4/18	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	色彩に関する知識	表面の評価表色系、視感比色法	塩沢 真穂	到達目標:17 WebClass 小テストを実施
15-18	4/25	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	有機・複合材料の基礎 歯科用レジン	有機材料概論 義歯床用レジン、加熱重合レジン、常温重合レジン、その他の義歯床用レジン、成形法	宇尾 基弘	到達目標:4, 5, 12 WebClass 小テストを実施
19-21	5/2	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	補綴用レジン	コンポジットレジン、硬質レジン、CAD/CAM ブロック	塩沢 真穂	到達目標:12 WebClass 小テストを実施
22-24	5/16	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	模型材・石膏	模型材の種類、石膏の硬化	塩沢 真穂	到達目標:11 WebClass 小テストを実施
25	5/16	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	印象材・模型材	印象材の種類、弾性印象材の特徴	宇尾 基弘	到達目標:11, 14 WebClass 小テストを実施
26-29	5/23	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	無機材料の基礎 陶 材・セラミックス	セラミックスの特徴	宇尾 基弘	到達目標:2, 18 WebClass 小テストを実施
30-31	5/27	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	インプラント材料	インプラント材料の特徴	宇尾 基弘	到達目標:20 WebClass 小テストを実施
32-33	5/30	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	成形修復材料 合着材 仮封材・暫間修復材・その他	成形修復材料の種類と特徴	宇尾 基弘	到達目標:15, 16 WebClass 小テストを実施
34-35	5/30	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	セラミックスの応用	オールセラミックス	中嶋 裕	到達目標:18
36-39	6/6	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	切削・研削・研磨 3D デジタル造形の基礎	切削、研磨	宇尾 基弘	到達目標:13, 21 WebClass 小テストを実施
40-41	6/10	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	新しい加工技術	CAD/CAM で用いる加工法	土田 優美	到達目標:21
42-45	6/13	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	CAD/CAM の基礎	歯科用 CAD/CAM の基礎	堀田 康弘	到達目標:21

授業方法

講義・演習

遠隔授業(同期型および非同期型)を行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業(非同期型)の課題を WebClass にて行い、期限までに提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

授業内容

講義

遠隔授業(同期型、非同期型)で行う。

<p>事前に WebClass に提示される資料を学習しておくこと。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は小テスト(20点)および期末試験(80点)(筆記試験:60分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の配点は80点とするが、期末試験の点数が6割以下の場合は再試験を行う。 ・出席状況と授業態度を加味し、総合的に評価する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が100点満点中60点以上の者を合格とする。 ・配点は、期末試験80点、小テスト20点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・遠隔授業(非同同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書</p> <p>スタンダード歯科理工学 第7版: 生体材料と歯科材料 / 中島裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆 ; 石川邦夫 [ほか] 編集・執筆 ; 赤坂司 [ほか] 執筆, 中島, 裕, 石川, 邦夫, 赤坂, 司, : 学建書院, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編 ; 遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉, 英夫, 高橋, 英和, 宮崎, 隆, 小田, 豊, 榎本, 貢三, 小園, 凱夫, 遠藤, 一彦, : 医歯薬出版, 2008</p> <p>臨床歯科理工学 / 宮崎隆 [ほか] 編, 宮崎, 隆, 中島, 裕, 河合, 達志, 小田, 豊, : 医歯薬出版, 2006</p> <p>歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices / 日本歯科理工学会 編, 日本歯科理工学会, : 医歯薬出版, 2018</p> <p>歯科理工学 / 全国歯科技工士教育協議会編 ; 大島浩 [ほか] 著, 全国歯科技工士教育協議会, 大島, 浩, 米山, 隆之, 高橋, 英和, 岩崎, 直彦, : 医歯薬出版, 2021</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、前年度の授業時間配分と構成を見直し、実習と連動するようにスケジュールを調整している。</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p> <p>宇尾 基弘 mail@m-uo.com</p> <p>土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023527						
科目名	口腔保健理工学実習	科目ID	DE-252700-E				
担当教員	塩沢 真穂, 土田 優美, 高橋 英和[SHIOZAWA Maho, TSUCHIDA Yuumi, TAKAHASHI Hidekazu]						
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1実習室、CAD/CAM実習室、口腔保健衛生学専攻 臨床基礎実習室							
授業の目的、概要等							
歯科技工で使用される歯科材料の性質を理解し、それらの性質を測定し、適切に扱える力を身につける。							
授業の到達目標							
1.材料の物性評価の方法を説明できる。							
2.無機材料の種類と性質について説明できる							
3.歯科用レジン材料の種類と性質について説明できる。							
4.材料の機械加工について説明できる。							
5.歯科用ワックスの収縮と変形を説明できる。							
6.各種印象材の寸法精度と細線再現性を測定し、その性質を説明できる。							
7.成形修復用材料の適切な取り扱い方法を説明できる。							
8.研磨方法およびその理論について説明できる。							
9.歯科用セラミックスの性質と成形方法を説明できる。							
10.修復用材料の色調を測定し、その特性を説明できる。							
11.歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を理解する。							
12.歯科用CAD/CAMの加工法について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/15	10:00-11:50	第3実習室	歯科材料の基礎	歯科材料の基礎	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:1
3-7	4/15	12:50-17:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	硬さ試験	硬さ測定、加工による硬さの変化、熱処理による硬さの変化	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:1
8-9	4/22	10:00-11:50	第3実習室	引張・圧縮試験	ワイヤーの引張試験、石膏の圧縮試験	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:1
10-14	4/22	12:50-17:40	第3実習室	ワックスの変形	ワックスの応力緩和による変形測定、冷却による寸法変化測定	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:5
15-16	5/6	10:00-11:50	第3実習室	加熱重合レジン(1)	餅状期の観察、パターンの作製、埋没	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
17-21	5/6	12:50-17:40	第3実習室	加熱重合レジン(1)	蟻流し、レジン填入、重合	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
22-23	5/9	10:00-11:50	第3実習室	加熱重合レジン(2)	割り出し	土田 優美 塩沢 真穂	到達目標:3

						高橋 英和	
24-27	5/9	12:50-16:40	第3実習室	加熱重合レジン(2)	重合体の寸法測定	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
28-29	5/13	10:00-11:50	第3実習室	硬質レジン	硬質レジンの曲げ試験	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
30-34	5/13	12:50-17:40	第3実習室	硬質レジン	硬質レジンの曲げ試験	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
35-38	5/20	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	石膏(1)	石膏の硬化時間、硬化膨張、発熱	土田 優美 塩沢 真穂 中野 文夫 高橋 英和	到達目標:2 衛 生学専攻との合 同実習
39-42	5/27	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	石膏(2)	練和溶液が石膏硬化に及ぼす影 響	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:2 衛 生学専攻との合 同実習
43-46	6/3	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	印象材(1)	ハイドロコロイド印象材と模型	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:6 衛 生学専攻との合 同実習
47-50	6/10	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	印象材(2)	ゴム質印象材と模型	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:6 衛 生学専攻との合 同実習
51-52	6/17	10:00-11:50	第3実習室	陶材の焼成収縮・研磨	陶材試験片の作製と寸法測定、研 磨、CCD カメラによる研磨面の観 察	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:8,9
53-57	6/17	12:50-17:40	第3実習室	陶材の焼成収縮・研磨	陶材試験片の作製と寸法測定、研 磨、CCD カメラによる研磨面の観 察	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:8,9
58-59	7/4	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	成形修復材料	常温重合レジン、コンポジットレジ ン、グラスアイオノマーセメント、 各種合着用セメント	塩沢 真穂	到達目標:7
60-63	7/4	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	成形修復材料	常温重合レジン、コンポジットレジ ン、グラスアイオノマーセメント、 各種合着用セメント	塩沢 真穂	到達目標:7
64-67	7/15	13:50-17:40	第3実習室	色の鑑別、色の測定	シェードガイドの識別、印刷物の 識別、Crystal eye による測定	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:10
68-69	7/22	10:00-11:50	第3実習室	歯科材料の研究・製造	歯科メーカー見学(トクヤマデンタ ル)	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:11

70-74	7/22	12:50-17:40	第3実習室	歯科材料の研究・製造	歯科メーカー見学(トクヤマデンタル)	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:11
75-76	7/25	10:00-11:50	第3実習室	CAD/CAM の基礎	工学専攻にある CAD/CAM 機材	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:4, 12
77-80	7/25	12:50-16:40	口腔機能再建工学第3研究室 第3実習室	3D プリンタの造形	STL データを用いた模型作成	土田 優美 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:12

授業方法

実習、見学実習

歯科技工で用いる材料や機材の物性や使用方法の実習

事前に WebClass に提示されている資料を予習しておくこと。

授業内容

実習および企業見学に出席し、実習の各項目終了後にレポートを作成し提出すること。

特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。

成績評価の方法

・評価は、実習作品およびレポートにより行う。

・実習に出席し、提示された期限までにレポートおよび製作物を提出すること。

・評価は、各課題項目での実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、その合計点で総合的に評価する。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

成績評価の基準

・総合評価の点数が 60 点以上のものを合格とする。

・配点は、実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3/4 以上の出席を基本とする。

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料 / 中嶋裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事, 中嶋裕, 宮崎隆, 1953-, 米山隆之, 学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編 ; 遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫, 遠藤一彦, 医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学 / 宮崎隆 [ほか] 編, 宮崎隆, 中嶋裕, 河合達志, 小田豊, 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices / 日本歯科理工学会 編, 日本歯科理工学会, 医歯薬出版, 2018

歯科理工学 / 全国歯科技工士教育協議会編 ; 大島浩 [ほか] 著, 全国歯科技工士教育協議会, 大島浩, 米山隆之, 高橋英和, 岩崎直彦, 医歯薬出版, 2021

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

基本的に、歯科理工学講義と連動しています。実習に参加する前に、必ず関連した講義を受けてから参加するようにしてください。
実習後は、提示された期限までに実習レポートを提出してください。
前年度の授業終了時アンケート結果より、時間配分および内容を再検討し、改善している。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

土田 優美 メールにて日時を相談 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023528A						
科目名	精密鑄造学実習	科目ID					
担当教員	塩沢 真穂, 土田 優美[SHIOZAWA Maho, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
授業の目的、概要等							
歯科精密鑄造の理論と実施方法を理解する。歯科精密鑄造で使用する歯科材料の適切な扱い方を学習し、鑄造の作業手順を習得する。							
授業の到達目標							
1. 鑄造用原型の精度について説明できる。 2. 埋没材の硬化膨張、熱膨張について説明できる。 3. 歯科用合金の鑄造について説明できる。 4. 型ごと埋没法について説明できる。 5. 鑄造体の寸法変化について説明できる。 6. ろう付けについて説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/20	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	精密鑄造学概論	鑄造概論、鑄造用原型	塩沢 真穂	到達目標:3
4-8	6/24	12:50-17:40	第3実習 室	埋没材の膨張(1) 複模 型の製作	石膏系埋没材の熱膨張 寒天複 模型準備、クラウンワックスアップ	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:2
9-11	6/27	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	埋没材と精密鑄造 合 金の接合	鑄造用埋没材の組成と特徴、金属 融解の熱源、鑄込み、鑄造欠陥の 種類と原因、寸法精度に及ぼす因 子 ろう付け	宇尾 基弘	到達目標:1-5 WebClass 小テ ストを実施
12-13	7/1	10:00-11:50	第3実習 室	埋没材の膨張(2) ワッ クスパターン作製	石膏系埋没材の硬化時寸法変化 測定 型ごと埋没ワックスパター ン作製、埋没	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:2
14-18	7/1	12:50-17:40	第3実習 室	埋没材の膨張(2) ワッ クスパターン作製	石膏系埋没材の硬化時寸法変化 測定 型ごと埋没ワックスパター ン作製、埋没	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:2, 4
19-20	7/8	10:00-11:50	第3実習 室	鑄造	クラウン鑄造、金属床鑄造	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:3
21-25	7/8	12:50-17:40	第3実習 室	鑄造	クラウン鑄造、金属床鑄造	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:3
26-27	7/11	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科での加工法のまと め	歯科精密鑄造のまとめ	玉置 幸道	到達目標:1-5
28-29	7/15	10:00-11:50	第3実習 室	鑄造体の評価 ろう付 け	高温鑄造、鑄造体の精度測定 ろ う付け時のフラックスとアンチフラ ックスの働き	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:6
30	7/15	12:50-13:40	第3実習 室	鑄造体の評価 ろう付 け	高温鑄造、鑄造体の精度測定 ろ う付け時のフラックスとアンチフラ ックスの働き	塩沢 真穂 土田 優美 高橋 英和	到達目標:6
授業方法							
講義、実習							

<p>講義は、遠隔授業(同期型および非同期型)で行う。</p> <p>実習は、対面授業で行う。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p> <p>遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。</p>
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価は、実習作品およびレポートにより行う。 ・実習に出席し、提示された期限までにレポートおよび製作物を提出すること。 ・評価は、各課題項目での実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、その合計点で総合的評価する。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/4 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う。
<p>教科書</p> <p>スタンダード歯科理工学：生体材料と歯科材料／中畠裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆；石川邦夫 [ほか] 編集・執筆；赤坂司 [ほか] 執筆。中畠 裕、宮崎 隆、米山 隆之、石川 邦夫、赤坂 司。:学建書院, 2019</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>実習後は、提示された期限までに実習レポートを提出してください。</p> <p>前年度の授業終了時アンケート結果より、時間配分および内容を再検討し、改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p> <p>土田 優美 メールにて日時を相談 yumi.bmoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023534A			科目名	全部床義歯工学	科目ID	DE-253400-L
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 20 時間							
主な講義場所 非同期型遠隔授業							
授業の目的、概要等 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を、全部床義歯により、いかに回復し維持するかを理解する。これらの知識をもとに全部床義歯製作に必要な技法を習得する。							
授業の到達目標 1. 無歯顎の特殊性を理解できる。 2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明できる。 3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明できる。 4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明できる。 5. 咬合器装着とそれに必要な器材を説明できる。 6. 人工歯の種類と特徴を列挙できる。 7. 人工歯排列、歯肉形成法を説明できる。 8. 埋没と重合法を理解し説明できる。 9. 削合と研磨の重要性を理解し説明できる。 10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を説明できる。 11. リライン、リベース、修理法を説明できる。 12. 金属床義歯の利点と欠点を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	4/5	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の特性 1. 全部床義歯の構成要素 2. 全部床義歯の種類 3. 全部床義歯の口腔内での維持、安定および支持	『有床義歯工学』P.19-23	水口 俊介, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 1-3
5-6	4/6	12:50-16:00	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の製作順序 1. 歯科診療所と歯科技工所における作業の関連 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業 1. 無歯顎 2. 無歯顎の印象とトレー 3. 精密印象と作業模型	『有床義歯工学』P.24-40	水口 俊介, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 3
7-8	4/20	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 1. 作業模型・咬合床の製作 2. 全部床義歯に用いられる咬合器 3. 作業用模型の咬合器装着 4.	『有床義歯工学』P.41-53	駒ヶ嶺 友梨子, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 4

				咬合器の調節 5. ゴシックアーチ描記装置の取り付け			
9-10	5/11	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 1. 人工歯 2. 人工歯排列 3. 歯肉形成 4. 蝸義歯の試適	『有床義歯工学』P.56-80	駒ヶ嶺 友梨子, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 5-7
11-13	5/18	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の埋没と重合 1. 埋没の前準備 2. 埋没 3. 流蝸 4. 義歯床用レジンの重合	『有床義歯工学』P.81-86	羽田 多麻木, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 6,7
14-15	5/18	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の咬合器への再装着, 削合および研磨 1. 咬合器再装着の方法と特徴 2. 人工歯の削合 3. 研磨	『有床義歯工学』P.89-102	駒ヶ嶺 友梨子, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 6-8
16-18	5/25	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	リラインとリベース, 義歯修理, 義歯ケア		金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 9-10
19-20	5/25	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンチャー, インプラントオーバーデンチャー	『やってみよう! インプラントオーバーデンチャー』	金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標: 11,12

授業方法

講義

遠隔授業(非同期型)で行います。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。

授業内容

成績評価の方法

・確認テスト50点, 期末テスト50点(筆記試験)の合計100点によって行う。

成績評価の基準

・確認テスト, 期末テストの合計点数が60点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3分の2以上の出席とする。

・授業ごとの確認テストの実施をもって出席とする。

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編, 鈴木哲也 ほか著, 鈴木, 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017

参考書

よい義歯のための義歯: 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール / 鈴木哲也著, 鈴木, 哲也(歯科学), クインテッセンス出版, 2011

コンプリートデンチャー: 鈴木哲也のマスター1: ランクアップのための知恵と技 / 鈴木哲也, 古屋純一 著, 鈴木, 哲也, 1954-, 古屋, 純一, デンタルダイヤモンド社, 2017

<p>無歯顎補綴治療学 第4版／市川 哲雄 編集,大川 周治 編集,大久保 力廣 編集,水口 俊介 編集,市川 哲雄,大川 周治,大久保 力廣,水口 俊介.:医歯薬出版, 2022-02-09</p> <p>パウチャー無歯顎患者の補綴治療／Zarb [ほか] 編著 ; 田中久敏, 古谷野潔, 市川哲雄監訳,Zarb, George A. (George Albert),田中, 久敏, 古谷野, 潔,市川, 哲雄.:医歯薬出版, 2008</p> <p>コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 [ほか] 編,細井, 紀雄,平井, 敏博,長岡, 英一,赤川, 安正,鈴木, 哲也(歯科学),大川, 周治.:医歯薬出版, 2011</p> <p>やってみよう!インプラントオーバーデンチャー／金澤学, 水口俊介編,金澤, 学,水口, 俊介.:医歯薬出版, 2020</p>
<p>他科目との関連</p> <p>一部、咬合学と連動しています。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>本講義では、一部の内容を全部床義歯工学実習、咬合学と連動し、実習、演習によるアクティブラーニングを実施します。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先:</p> <p>口腔デジタルプロセス学分野</p> <p>教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023535			科目ID	DE-253500-E																																																		
科目名	全部床義歯工学実習			科目ID	DE-253500-E																																																		
担当教員																																																							
開講時期	2022年度前期	対象年次	2	単位数	3																																																		
実務経験のある教員による授業	該当する																																																						
必修 120 時間																																																							
主な講義場所 2号館第3実習室 2号館重合鑄造室 2号館総合実習室																																																							
授業の目的、概要等 無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた形態と機能を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、全部床義歯を製作する。																																																							
授業の到達目標 1. スタディモデルからランドマークが理解できる。 2. リリーフとブロックアウトの意義を理解できる。 3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作できる。 4. ハンドピース・エンジンをを使って切削作業を実施できる。 5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作できる。 6. 丁寧に正確なワックス操作を行える。 7. 模型を適切に咬合器に装着できる。 8. 適切な人工歯排列ができる。 9. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。 10. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。 11. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。 12. 選択削合・自動削合を行える。 13. 義歯の形態修正、研磨を行える。																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/7</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>実習道具の名称と種類 全部床義歯製作の概説</td> <td>全部床義歯実習の概要説明</td> <td>金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木</td> <td>各自で購入しておく道具を購入し持参すること。</td> </tr> <tr> <td>3-6</td> <td>4/7</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第3実習室</td> <td>個人トレー製作 1</td> <td>個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ、オストロン圧接</td> <td>金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木</td> <td>到達目標: 1,2</td> </tr> <tr> <td>7-10</td> <td>4/12</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第3実習室</td> <td>個人トレー製作 2</td> <td>上下顎オストロン圧接、トミリング</td> <td>金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木</td> <td>到達目標:3</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>4/14</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>個人トレー製作 3, 4</td> <td>柄・フィンガーレスト、トミリング</td> <td>金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木</td> <td>到達目標:3</td> </tr> <tr> <td>13-16</td> <td>4/14</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第3実習室</td> <td>個人トレー製作 3, 4</td> <td>柄・フィンガーレスト、トミリング</td> <td>金澤 学, 岩城 麻衣子,</td> <td>到達目標:3</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	4/7	10:00-11:50	第3実習室	実習道具の名称と種類 全部床義歯製作の概説	全部床義歯実習の概要説明	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	各自で購入しておく道具を購入し持参すること。	3-6	4/7	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 1	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ、オストロン圧接	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標: 1,2	7-10	4/12	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 2	上下顎オストロン圧接、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3	11-12	4/14	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作 3, 4	柄・フィンガーレスト、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3	13-16	4/14	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 3, 4	柄・フィンガーレスト、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子,	到達目標:3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																
1-2	4/7	10:00-11:50	第3実習室	実習道具の名称と種類 全部床義歯製作の概説	全部床義歯実習の概要説明	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	各自で購入しておく道具を購入し持参すること。																																																
3-6	4/7	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 1	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ、オストロン圧接	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標: 1,2																																																
7-10	4/12	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 2	上下顎オストロン圧接、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3																																																
11-12	4/14	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作 3, 4	柄・フィンガーレスト、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3																																																
13-16	4/14	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 3, 4	柄・フィンガーレスト、トミリング	金澤 学, 岩城 麻衣子,	到達目標:3																																																

						宮安 杏奈 羽田 多麻木	
17-20	4/19	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 5	柄・フィンガーレストの取り付け、トレーの完成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3
21-22	4/21	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作 6	コンパウンド付与 模型配布、トリミング、外形線記入	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
23-26	4/21	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作 6 咬合床製作 1	コンパウンド付与 模型配布、トリミング、外形線記入	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
27-30	4/26	12:50-16:40	第3実習室	咬合床製作 2	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
31	4/28	10:00-10:50	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
32	4/28	11:00-11:50	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
33	4/28	12:50-13:40	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
34	4/28	13:50-14:40	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
35	4/28	14:50-15:40	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
36	4/28	15:50-16:40	第3実習室	咬合床製作 3, 4	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作 ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:3.4
37-38	5/12	10:00-11:50	第3実習室	咬合床製作5	ろう堤形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:5.6
39-42	5/12	12:50-16:40	第3実習室	咬合床製作5	ろう堤形成 咬合床の完成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:5.6

						羽田 多麻木	
43	5/17	15:50-16:40	第3実習室	咬合採得・咬合器装着	咬合採得、スプリットキャストの形成	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:6
44	5/19	15:50-16:40	第3実習室	ゴシックアーチ	ゴシックアーチ装置の製作	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:6
45-48	5/24	12:50-16:40	第3実習室	前歯部人工歯排列 1	人工歯排列前準備、前歯部人工歯排列(上顎①)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:7.8
49-52	5/26	12:50-16:40	第3実習室	前歯部人工歯排列 2	前歯部人工歯排列(上顎②、下顎①)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:7.8
53-56	5/31	12:50-16:40	第3実習室	前歯部人工歯排列 3 臼歯部人工歯排列 1	前歯部人工歯排列(下顎②) 臼歯部ろう堤修正	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
57-60	6/2	12:50-16:40	第3実習室	臼歯部人工歯排列 2	臼歯部人工歯排列(下顎)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
61-64	6/7	12:50-16:40	第3実習室	臼歯部人工歯排列 3	臼歯部人工歯排列(上顎①)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
65-68	6/9	12:50-16:40	第3実習室	臼歯部人工歯排列 4	臼歯部人工歯排列(上顎②)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
69-72	6/14	12:50-16:40	第3実習室	歯肉形成 1	歯肉形成(上顎)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
73-76	6/16	12:50-16:40	第3実習室	ポストダムの付与 歯肉形成 2	ポストダムの形成、歯肉形成(上顎)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:9.10
77-80	6/21	12:50-16:40	第3実習室	歯肉形成 3	歯肉形成(下顎)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:11
81-84	6/23	12:50-16:40	第3実習室	歯肉形成 4	歯肉形成(下顎)、口蓋面のくりぬき、修正(上顎)	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:11

85-88	6/28	12:50-16:40	第3実習室	口蓋すうへきの付与、ろう義歯の埋没	口蓋すうへきの付与、埋没前準備、一次埋没	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:11
89-92	6/30	12:50-16:40	第3実習室	埋没、流ろう	二次埋没、三次埋没、流ろう	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:11 実習作品の提出
93-96	7/5	12:50-16:40	第3実習室	レジン填入・重合	填入、重合	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:11-12
97-100	7/7	12:50-16:40	第3実習室	割り出し・咬合器の再装着、削合	割り出し・咬合器の再装着、削合	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:12
101-104	7/12	12:50-16:40	第3実習室	削合、義歯の取り出し、形態修正	選択削合、自動削合、義歯の取り出し、形態修正	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:12-13
105-108	7/14	12:50-16:40	第3実習室	形態修正・研磨	形態修正、サンドペーパー研磨	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標: 12-13
109-112	7/19	12:50-16:40	第3実習室	形態修正・研磨	形態修正、サンドペーパー研磨	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:13
113-116	7/21	12:50-16:40	第3実習室	研磨	レーズ研磨 艶出し完成 超音波洗浄、提出	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:13
117-120	7/26	12:50-16:40	第3実習室	研磨	レーズ研磨 艶出し完成 超音波洗浄、提出	金澤 学, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木	到達目標:13 実習作品の提出

授業方法

実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

実習前に確認テストを実施する。

成績評価の方法

授業の実習内容について webclassm にアップされた資料を予習しておくこと。

毎回の実習前に確認テストを実施する。確認テストの内容はすべて「本日実施する実習内容をすべて列挙せよ。」とする。必ず予習を行い、実習内容を把握した上で実習に臨むこと。

毎回の実習前の小テストの受験をもって出席とする。

遅刻は欠席とする。

成績評価の基準

・確認テストの平均点の合計が60点(100点満点)以上を合格とする。

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 実習帳やデモビデオを事前に予習してから実習に出席すること。</p>
<p>教科書</p> <p>有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 [ほか] 著 鈴木 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>無歯顎補綴治療学 / 市川哲雄 [ほか] 編 市川, 哲雄, 大川, 周治, 平井, 敏博, 細井, 紀雄, 医歯薬出版, 2016 よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール / 鈴木哲也著 鈴木 哲也(歯科学), クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャー : 鈴木哲也のマスター1 : ランクアップのための知恵と技 / 鈴木哲也, 古屋純一 著 鈴木 哲也, 1954-, 古屋 純一, デンタルダイヤモンド社, 2017 コンプリートデンチャーテクニック / 細井紀雄 [ほか] 編 細井, 紀雄, 平井, 敏博, 長岡, 英一, 赤川, 安正, 鈴木 哲也(歯科学), 大川, 周治, 医歯薬出版, 2011</p>
<p>他科目との関連</p> <p>一部咬合学と連動しています。</p>
<p>備考</p> <p>実習によるアクティブラーニングを実施する。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先: 口腔デジタルプロセス学分野 教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023536A			科目ID	DE-253600-L		
科目名	部分床義歯工学			科目ID	DE-253600-L		
担当教員	塩沢 真穂, 笛木 賢治, 河野 英子[SHIOZAWA Maho, FUEKI KENJI, KOHNO Eiko]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 遠隔授業(非同期型) 第3実習室							
授業の目的、概要等 部分的な歯の欠損の病態を理解し、部分床義歯による補綴治療で口腔の形態的、機能的回復をはかる意義を理解する。部分床義歯の構成要素および義歯の安定をはかるための理論を理解し、部分床義歯の製作方法を習得する。							
授業の到達目標 1. 部分的な歯の欠損とその治療の目的と意義について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化と治療への影響を説明できる。 3. 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義を説明できる。 4. 部分床義歯の構成要素を説明できる。 5. 部分床義歯に加わる力への対応を理解し、義歯の構成要素を説明できる。 6. 部分床義歯の支持・把持・維持の考え方を説明できる。 7. 支台装置の種類、構造、機能などを説明できる。 8. 部分床義歯の連結子と義歯床が果たす役割を説明できる。 9. 部分床義歯製作のための前処置を説明できる 10. 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を説明できる。 11. 部分床義歯の設計の基本原則と順序を説明できる。 12. 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を説明できる。 13. 金属フレームワークの特徴と製作方法を説明できる。 14. 人工歯排列の基本原則とろう義歯の試適時の診査項目を説明できる。 15. 部分床義歯の埋没、重合方法を説明できる。 16. 部分床義歯の装着後の変化を生体と義歯に分けて説明できる。 17. 部分床義歯の破損や不適合と、それらに対応する修理とリラインの技法を説明できる。 18. 種々の状況における部分床義歯の役割について知り、多様な治療法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/3	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	部分床義歯の構成要素 部分床義歯の製作手順	部分床義歯の構成要素 部分床 義歯の製作手順	塩沢 真穂	到達目標:4 Zoom
3-4	10/17	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	部分床義歯概念、欠損 に由来する口腔の変化 歯の欠損様式と部分床 義歯の分類	部分床義歯の特徴、歯の欠損によ る顎口腔系組織の障害 歯の欠 損様式の分類、部分床義歯の分 類	塩沢 真穂	到達目標:1-3 WebClass 小テ ストを実施
5-6	10/24	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	部分床義歯に加わる力 への対応 支持・把持・ 維持	義歯に加わる力、支台歯と顎堤の 負担能力 義歯の安定に関与す る各構成要素、支持様式による義 歯の分類	塩沢 真穂	到達目標:5,6 WebClass 小テ ストを実施
7-8	10/31	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	支台装置 連結子と義 歯床	レストの機能と種類、隣接面板、ク ラスプの種類と設計、アタッチメ ントの分類と機能 サベイングの目 的と技法 連結装置の役割と所要	塩沢 真穂	到達目標:7,8 Zoom

					条件、大連結子の種類と特徴、小連結子、義歯床の役割と要件		
9-10	11/7	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	前処置と印象採得 咬合採得	広義の前処置と狭義の前処置、印象法の種類と特徴、印象材料、印象用トレー 歯列対向関係の違いと咬合採得の術式、咬合床の種類、咬合器装着	塩沢 真穂	到達目標:9-10,12 Zoom
11-12	11/14	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	義歯の設計 フレームワーク	義歯設計の原則、支台歯選択と支台歯間線 フレームワークの構造と製作	塩沢 真穂	到達目標:11,13 WebClass 小テストを実施
13-14	11/21	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	人工歯排列 義歯の重合・研磨	人工歯の選択、人工歯排列 埋没、流ろう、重合	塩沢 真穂	到達目標:14,15 Zoom
15-16	11/28	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	義歯装着後の変化と対応	義歯装着後の口腔内の変化、義歯の修理、リライン・リベース	塩沢 真穂	到達目標:16,17 WebClass 小テストを実施
17	1/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	様々な部分床義歯の治療法とその特徴(1)	コーヌスクローネ義歯、アタッチメント義歯	河野 英子	到達目標:18 Zoom
18	1/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	様々な部分床義歯の治療法とその特徴(2)	ノンメタルクラスプデンチャー	笹木 賢治	到達目標:18 Zoom
19-20	2/9	12:50-14:40	第3実習室	部分床義歯の設計演習	義歯の設計(課題発表)	塩沢 真穂	到達目標:1-18 事前に WebClass にアップロードされている資料で学習し、発表用スライドを準備、発表後に提出すること。

授業方法

講義、小テスト、課題発表

遠隔授業(同期型)では、事前に WebClass に提示されている資料を学習すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

最終回は課題学習発表(対面演習)を行います。事前に課題を行い、発表スライドを WebClass に提出すること。

成績評価の方法

評価は課題学習発表および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・配点は課題学習発表(10点)、期末試験(90点)とする(合計100点)。
- ・期末試験の配点は90点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が6割以上のものを合格とする。
- ・配点は、期末試験90点、課題学習発表10点とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。

- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・事前に学習して準備し、課題学習発表を行うこと。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学／藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆, 藍, 稔, 1933-, 五十嵐, 順正, 1947-, : 学建書院, 2016

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures／全国歯科技工士教育協議会 編, 鈴木哲也 ほか著, 鈴木, 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023537A			科目ID	DE-253700-E		
科目名	部分床義歯工学実習 I			科目ID	DE-253700-E		
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第3実習室、重合・鑄造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
口腔の形態的、機能的回復をはかるための部分床義歯の製作方法を習得し、各構成要素が具備すべき条件および使用する材料の性質を理解し、部分床義歯を製作する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 部分歯列欠損症例の個人トレーが製作できる。 2. 部分歯列欠損症例の咬合床が製作できる。 3. 顎位を保持して作業模型を咬合器に装着できる。 4. 作業模型のサベイングを行い、支台装置の設計ができる。 5. 作業模型のブロックアウトとリリースができる。 6. 外形線に沿ってワイヤークラスプの屈曲ができる。 7. 直接法で鑄造用パターンが採得できる。 8. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。 9. コバルトクロム合金の鑄造ができる。 10. 鑄造体の形態修正を行い作業用模型に適合させることができる。 11. 鑄造体の研磨ができる。 12. 複印象を採得し、耐火模型を製作できる。 13. 耐火模型上で支台装置のワックスアップができる。 14. 耐火模型の型ごと埋没ができる。 15. 支台装置のろう付けとレーザー溶接ができる。 16. 審美性と機能性に配慮して人工歯排列ができる。 17. 機能性と生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。 18. ろう義歯の埋没ができる。 19. 加熱重合レジンの填入と重合ができる。 20. 義歯の割り出しができる。 21. 人工歯の削合・調整ができる。 22. レジン床の形態修正と研磨ができる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/4	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリース	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:1
5-6	10/6	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作	常温重合レジン圧接、トリミング	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:1
7-10	10/6	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作	常温重合レジン圧接、トリミング	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:1
11-14	10/11	12:50-16:40	第3実習室	個人トレー製作	トレートリミング、柄・フィンガーレスト付与、個人トレー完成	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:1 実習作品の提出
15-16	10/13	10:00-11:50	第3実習室	咬合床製作	外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:2
17-20	10/13	12:50-16:40	第3実習室	咬合床製作	外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:2

21-24	10/18	12:50-16:40	第3実習室	咬合床製作	基礎床トリミング、ろう堤形成	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:2 実習作品の提出
25-26	10/20	10:00-11:50	第3実習室	咬合器装着、支台装置設計	咬合器装着、サベイング、支台装置設計	塩沢 真穂	到達目標:3, 4 歯科技工部職員
27-30	10/20	12:50-16:40	第3実習室	咬合器装着、支台装置設計	咬合器装着、サベイング、支台装置設計	塩沢 真穂	到達目標:3, 4 歯科技工部職員
31-34	10/25	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	ブロックアウト、ワイヤークラスプ屈曲	塩沢 真穂	到達目標:5, 6 歯科技工部職員
35-36	10/27	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作	ワイヤークラスプ屈曲	塩沢 真穂	到達目標:6 歯科技工部職員
37-40	10/27	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	ワイヤークラスプ屈曲	塩沢 真穂	到達目標:6 歯科技工部職員
41-44	11/1	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置(鑄造レスト、鑄造クラスプ)パターン採得	塩沢 真穂	到達目標:7 歯科技工部職員
45-48	11/8	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置パターン埋没、鑄造リンガルバーパターン採得	塩沢 真穂	到達目標:7-9 歯科技工部職員
49-50	11/10	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作	リンガルバーパターン埋没、鑄造	塩沢 真穂	到達目標:8, 9 歯科技工部職員
51-54	11/10	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	リンガルバーパターン埋没、鑄造	塩沢 真穂	到達目標:8, 9 歯科技工部職員
55-58	11/15	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	リンガルバー適合確認、研磨 上顎支台装置適合確認、研磨	塩沢 真穂	到達目標:10, 11 歯科技工部職員
59-60	11/17	10:00-11:50	第3実習室 総合実習室	支台装置製作	レーザー溶接、研磨	塩沢 真穂	到達目標:15 歯科技工部職員
61-64	11/17	12:50-16:40	第3実習室 総合実習室	支台装置製作	レーザー溶接、研磨	塩沢 真穂	到達目標:15 歯科技工部職員
65-68	11/22	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	下顎複印象採得	塩沢 真穂	到達目標:12 生体補綴歯科学分野TA
69-70	11/24	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作	耐火模型製作、下顎支台装置ワックスアップ	塩沢 真穂	到達目標:12, 13 生体補綴歯科学分野TA
71-74	11/24	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	耐火模型製作、下顎支台装置ワックスアップ	塩沢 真穂	到達目標:12, 13 生体補綴歯科学分野TA
75-78	11/29	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置ワックスアップ	塩沢 真穂	到達目標:13 生体補綴歯科学分野TA
79-80	12/1	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置型ごと埋没、鑄造	塩沢 真穂	到達目標:14 歯科技工部職員
81-84	12/1	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置型ごと埋没、鑄造	塩沢 真穂	到達目標:14 歯科技工部職員
85-88	12/6	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置形態修正、適合確認	塩沢 真穂	到達目標:10, 11 歯科技工部職員
89-90	12/8	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置適合確認、研磨	塩沢 真穂	到達目標:10, 11 歯科技工部職員
91-94	12/8	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置適合確認、研磨	塩沢 真穂	到達目標:10, 11

			室				歯科技工部職員
95-98	12/13	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作	ろう付け、研磨	塩沢 真穂	到達目標:15 歯科技工部職員
99-100	12/15	10:00-11:50	第3実習室	支台装置製作 人工歯排列	研磨 前歯部人工歯排列	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:15,16
101-104	12/15	12:50-16:40	第3実習室	支台装置製作 人工歯排列	研磨 前歯部人工歯排列	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:15,16
105-108	12/20	12:50-16:40	第3実習室	人工歯排列	前歯部人工歯排列	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:16
109-110	12/22	10:00-11:50	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:16
111-114	12/22	12:50-16:40	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:16
115-118	1/10	12:50-16:40	第3実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:16, 17
119-120	1/12	10:00-11:50	第3実習室	歯肉形成	歯肉形成	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:17
121-124	1/12	12:50-16:40	第3実習室	歯肉形成	歯肉形成	塩沢 真穂 岩城 麻衣子	到達目標:17
125-128	1/17	12:50-16:40	第3実習室	埋没	一次埋没	塩沢 真穂	到達目標:18 生体補綴歯科学分野TA
129-130	1/19	10:00-11:50	第3実習室	埋没	二次埋没、三次埋没	塩沢 真穂	到達目標:18 生体補綴歯科学分野TA
131-134	1/19	12:50-16:40	第3実習室	埋没	二次埋没、三次埋没	塩沢 真穂	到達目標:18 生体補綴歯科学分野TA
135-138	1/24	12:50-16:40	第3実習室 総合実習室	填入、重合	流ろう、填入、重合	塩沢 真穂	到達目標:19 生体補綴歯科学分野TA
139-140	1/26	10:00-11:50	第3実習室	咬合器再装着	割り出し、咬合器再装着	塩沢 真穂	到達目標:20 生体補綴歯科学分野TA
141-144	1/26	12:50-16:40	第3実習室	咬合器再装着	割り出し、咬合器再装着	塩沢 真穂	到達目標:20 生体補綴歯科学分野TA
145-148	1/31	12:50-16:40	第3実習室	削合	削合	塩沢 真穂	到達目標:21 生体補綴歯科学分野TA
149-150	2/2	10:00-11:50	第3実習室	研磨	形態修正、荒研磨	塩沢 真穂	到達目標:22 生体補綴歯科学分野TA
151-154	2/2	12:50-16:40	第3実習室	研磨	形態修正、荒研磨	塩沢 真穂	到達目標:22 生体補綴歯科学分野TA
155-158	2/7	12:50-16:40	第3実習室	研磨	レーズ研磨	塩沢 真穂	到達目標:22 生体補綴歯科学分野TA

159-1 60	2/9	14:50-16:40	第3実習 室	研磨	艶出し完成	塩沢 真穂	到達目標:22 生 体補綴歯科学分 野TA 実習作品 の提出
授業方法 実習 上下顎部分歯列欠損症例の個人トレー、咬合床、部分床義歯の製作実習 事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。							
成績評価の方法 評価は実習製作物(90 点)、出席状況(10 点)によって行う。 実習製作物は、 ・個人トレー上下:外形・辺縁・柄(15 点) ・咬合床上下:基礎床・ろう堤(15 点) ・完成義歯上下:排列・咬合状態・形態・研磨状態(60 点) について評価し、合計点数を成績とする。 授業態度を加味する。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品(90 点)、出席状況(10 点)で評価を行う(100 点)。60 点以上を合格とする。 ・授業態度を総合的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらかじめ視聴してから実習に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。							
参考書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 ほか著 鈴木 哲也, 1954-, 全国歯 科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017 パーシャルデンチャーテクニック / 五十嵐順正 [ほか] 編 五十嵐 順正, 石上 友彦, 大久保 力廣, 岡崎 定司, 馬場 一美, 横山 敦郎, : 医歯 薬出版, 2012							
履修上の注意事項 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらかじめ 視聴してから実習に臨むこと。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp							

時間割番号	023539A						
科目名	歯冠修復工学	科目ID					
担当教員	池田 正臣, 野崎 浩佑, 興地 隆史[KEDA MASAOMI, NOZAKI KOSUKE, OKIJI TAKASHI]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型,非同期型)							
授業の目的、概要等 歯冠修復治療の手順と補綴装置の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。また、補綴治療に求められる機能性、審美性、生体親和性を学ぶことにより、口腔内で長期間安定するために必要な歯冠修復および架工義歯の条件を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯冠修復の適応と意義を説明できる。 2. う蝕治療の流れと歯冠修復物の特徴を説明できる。 3. 築造と仮封冠の目的を説明できる。 4. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。 5. 印象法と咬合採得の意義について説明できる。 6. 作業用模型の種類と取り扱い方を説明できる。 7. ろう型採得と埋没および鑄造の方法について説明できる。 8. 研磨の手法を説明できる。 9. 試適と咬合接触および合着の手順を説明できる。 10. 模型と生体との違いを説明できる。 11. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明できる。 12. 術前のテンポラリークラウンの調整について説明できる。 13. 窩洞形態とマージン形態を説明できる。 14. ファイバーコアとメタルコアの違いを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/3	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	歯冠修復工学総論	歯冠修復物の種類と目的	野崎 浩佑	到達目標 1,2
3-4	10/17	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	全部鑄造冠	全部鑄造冠の特徴、支台形態	野崎 浩佑	到達目標 2
5-6	10/24	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	歯内療法学概論 1	歯内療法学における基本的な治療 1	興地 隆史	到達目標 2
7-8	10/31	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	歯内療法学概論 2	歯内療法学における基本的な治療 2	興地 隆史	到達目標 2 根管充填実演
9-10	11/7	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	築造、仮封冠	築造の目的、仮封冠の目的	野崎 浩佑	到達目標 3

11-12	11/14	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	間接法、印象法	間接法の寸法精度、補償理論 印象に用いられる材料、必要精度、特徴	野崎 浩佑	到達目標 4.5
13-14	11/21	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	咬合採得、作業用模型、 ろう型採得	咬合採得に用いる材料と方法、注 意点、各種模型の特質 内面の 適合精度、外面形態:咬合面、隣 接面、頬舌面	野崎 浩佑	到達目標 5-7
15-16	11/28	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	埋没、鑄造、研磨	スブルー線の植立、埋没操作 埋没材の変化、ワックスの焼却	野崎 浩佑	到達目標 7.8
17-19	12/5	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	埋没、鑄造、研磨	鑄造用合金、鑄造体の熱処理 研 磨の目的、研磨器具の種類と特徴	野崎 浩佑	到達目標 7.8
20-22	12/12	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	試適、合着	接触点の調整、咬合調整 セメン トの種類、浮き上がり防止策	野崎 浩佑	到達目標 9
23-25	12/19	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	間接法と生体	顎骨の歪みや歯の微小変位が間 接法に与える影響	野崎 浩佑	到達目標 10
26-27	1/16	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	ブリッジ	ポンティックの形態 術前 Tek 調 整、ブリッジの調整とセット	野崎 浩佑	到達目標 11,12
28-30	1/23	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	支台歯・窩洞形態 マー ジン形態 ファイバーコ ア	各種修復物の支台歯・窩洞形態 各種修復物のマージン形態 ファ イバーコアの特徴、歯根破折	野崎 浩佑	到達目標 13、14

授業方法

講義、歯科材料に関する課題発表

遠隔授業(同期型、非同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中、時間後にチャット・メールにて回答する。

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、ディスカッションへの参加度(10点)、期末試験(80点)で総合的に評価する。
- ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
講義は遠隔授業(同期型、非同期型)で行います。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか]
[著]末瀬, 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017

参考書

保存修復学 21 / 田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集, 田上, 順次, 阿南, 壽, 奈良, 陽一郎, 山本, 一世, 斎藤, 隆史, : 永末書店, 2017
クラウンブリッジ補綴学 / 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷, 博文, 1954-, 三浦, 宏之, 細川, 隆司, : 医歯薬出版, 2014

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023541A			科目ID	DE-254100-E																																																																																		
科目名	歯冠修復工学基礎実習			科目ID	DE-254100-E																																																																																		
担当教員	池田 正臣, 土田 優美[KEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	4																																																																																		
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																						
時間数:165 時間 授業形態:実習																																																																																							
主な講義場所 2号館第3実習室 2号館重合鑄造室 2号館総合実習室 2号館硬質レジン実習室 歯学科補綴実習室																																																																																							
授業の目的、概要等 歯冠修復物の製作に必要な基本的要件を理解し、正確で迅速な歯科技工操作に求められる基礎的技術および知識を修得する。また、製作に用いる器材の取り扱い方法を学び、機能的および形態的に残存歯と調和の取れた歯冠補綴装置を製作するための基礎的な技術を習得する。																																																																																							
授業の到達目標 1. 技工器具を用いて精度の高い模型の製作方法を説明できる。 2. 精度の高いろう型の採得方法を説明できる。 3. 埋没・鑄造方法について説明できる。 4. 適合と形態修正についてを説明できる。 5. 個歯トレーと暫間被覆冠の製作方法を説明できる。 6. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触の付与方法を説明できる。 7. 鏡面研磨の方法を説明できる。 8. レジン前装冠前装部の窓開け方法を説明できる。 9. 前装用レジンを築盛方法を説明できる。 10. ファイバーコアの製作方法を説明できる。																																																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>10/5</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第3実習室</td> <td>実習の進め方 模型製作</td> <td>実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 模型トリミング</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>10/7</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>模型製作</td> <td>ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/7</td> <td>12:50-15:40</td> <td>第3実習室</td> <td>模型製作</td> <td>ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>10/19</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>模型製作咬合器装着</td> <td>模型分割咬合器装着</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>12-16</td> <td>10/19</td> <td>12:50-17:40</td> <td>第3実習室</td> <td>模型製作咬合器装着</td> <td>模型分割咬合器装着</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>17-18</td> <td>10/21</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>歯型のマージン出し</td> <td>歯型のマージン出し</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>10/21</td> <td>12:50-15:40</td> <td>第3実習室</td> <td>歯型のマージン出し</td> <td>歯型のマージン出し</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1</td> </tr> <tr> <td>22-25</td> <td>10/26</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第3実習室</td> <td>メタルコアのワックスパターンの製作</td> <td>メタルコアのワックスパターンの製作</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 2</td> </tr> <tr> <td>26-27</td> <td>10/28</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第3実習室</td> <td>メタルコアの埋没</td> <td>スブルーイング、埋没</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 2,3</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-4	10/5	12:50-16:40	第3実習室	実習の進め方 模型製作	実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 模型トリミング	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	5-6	10/7	10:00-11:50	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	7-9	10/7	12:50-15:40	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	10-11	10/19	10:00-11:50	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	12-16	10/19	12:50-17:40	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	17-18	10/21	10:00-11:50	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	19-21	10/21	12:50-15:40	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1	22-25	10/26	12:50-16:40	第3実習室	メタルコアのワックスパターンの製作	メタルコアのワックスパターンの製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2	26-27	10/28	10:00-11:50	第3実習室	メタルコアの埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣	到達目標 2,3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																
1-4	10/5	12:50-16:40	第3実習室	実習の進め方 模型製作	実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 模型トリミング	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
5-6	10/7	10:00-11:50	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
7-9	10/7	12:50-15:40	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
10-11	10/19	10:00-11:50	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
12-16	10/19	12:50-17:40	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
17-18	10/21	10:00-11:50	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
19-21	10/21	12:50-15:40	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1																																																																																
22-25	10/26	12:50-16:40	第3実習室	メタルコアのワックスパターンの製作	メタルコアのワックスパターンの製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2																																																																																
26-27	10/28	10:00-11:50	第3実習室	メタルコアの埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣	到達目標 2,3																																																																																

			室			土田 優美	
28-30	10/28	12:50-15:40	第3実習室	メタルコアの埋没	スプルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3 非常勤講師 市原謙一
31-32	11/2	10:00-11:50	第3実習室	メタルコアの鑄造	鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3
33-37	11/2	12:50-17:40	第3実習室	メタルコアの鑄造	鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3
38-39	11/4	10:00-11:50	第3実習室	メタルコアの完成	形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4
40-42	11/4	12:50-15:40	第3実習室	メタルコアの完成	形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4
43-44	11/9	10:00-11:50	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
45-49	11/9	12:50-17:40	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
50-51	11/11	10:00-11:50	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
52-54	11/11	12:50-15:40	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
55-58	11/16	12:50-16:40	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作 歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5.6 非常勤講師 市原謙一
59-60	11/18	10:00-11:50	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作 歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5.6
61-63	11/18	12:50-15:40	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作 歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5.6
64-65	11/25	10:00-11:50	第3実習室	暫間被覆冠製作	形態修正 研磨完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5-7
66-68	11/25	12:50-15:40	第3実習室	暫間被覆冠製作	形態修正 研磨完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5-7
69-72	11/30	12:50-16:40	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作	クラウンのワックスパターンの概形製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
73-74	12/2	10:00-11:50	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作	クラウンのワックスパターンの概形製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
75-76	12/7	10:00-11:50	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作、クラウンの埋没	クラウンのワックスパターンの製作、マージンのしめ直し、スプルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3
77-81	12/7	12:50-17:40	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作、クラウンの埋没	クラウンのワックスパターンの製作、マージンのしめ直し、スプルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3
82-83	12/9	10:00-11:50	第3実習室	クラウンの鑄造	鑄造 内面調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3.4
84-87	12/14	12:50-16:40	第3実習室	クラウンの製作	接触点、咬合調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4-6
88-89	12/16	10:00-11:50	第3実習室	クラウンの完成	研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4-6
90-92	12/16	12:50-15:40	第3実習室	クラウンの完成	研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4-6

93-94	12/21	10:00-11:50	第3実習室	メタルインレーのワックスパターンの製作		池田 正臣 土田 優美	
95-99	12/21	12:50-17:40	第3実習室	メタルインレーのワックスパターンの製作	メタルインレーのワックスパターンの概形製作、歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
100-101	1/6	10:00-11:50	第3実習室	卒業研究準備	卒業研究発表会	池田 正臣 土田 優美	
102-105	1/6	12:50-16:40	第3実習室	卒業研究準備	卒業研究発表会	池田 正臣 土田 優美	
106-107	1/11	10:00-11:50	第3実習室 遠隔授業(同期型)	埋没、鋳造	スプルーイング、埋没、鋳造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
108-110	1/11	12:50-15:40	第3実習室 遠隔授業(同期型)	卒業製作準備	卒業製作発表会	池田 正臣 土田 優美	
111-112	1/13	10:00-11:50	第3実習室	メタルインレーの鋳造	鋳造、適合確認、内面調整、接触点調整、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,6,7
113-115	1/13	12:50-15:40	第3実習室	メタルインレーの鋳造調整、完成	鋳造、適合確認、内面調整、接触点調整、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,6,7
116-119	1/18	12:50-16:40	第3実習室	レジ前装冠の waxup	レジ前装冠の waxup	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
120-121	1/20	10:00-11:50	第3実習室	レジ前装冠のワックスパターンの製作	窓開け、ワックスパターン完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
122-124	1/20	12:50-15:40	第3実習室	レジ前装冠のワックスパターンの製作	窓開け、ワックスパターン完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3 非常勤講師 市原謙一 到達目標 2,8
125-126	1/25	10:00-11:50	第3実習室	レジ前装冠のリテンションピース付与、レジ前装冠の埋没	スプルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
127-130	1/25	12:50-16:40	第3実習室	レジ前装冠のリテンションピース付与、レジ前装冠の埋没	スプルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
131-132	1/27	10:00-11:50	第3実習室	鋳造、調整	鋳造、適合確認、内面調整、接触点調整、	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,8
133-135	1/27	12:50-15:40	第3実習室	鋳造、調整	鋳造、適合確認、内面調整、接触点調整、	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,8
136-137	1/30	10:00-11:50	第3実習室	調整、研磨	フィニッシュライン調整、咬合調整、荒研磨	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6,8
138-140	1/30	12:50-15:40	第3実習室	調整、研磨	フィニッシュライン調整、咬合調整、荒研磨	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6,8
141-144	2/1	12:50-16:40	第3実習室	前装レジ構築	デンティン構築 エナメル構築	池田 正臣 土田 優美	到達目標 9
145-146	2/3	10:00-11:50	第3実習室	前装レジ構築	デンティン構築	池田 正臣 土田 優美	到達目標 9
147-149	2/3	12:50-15:40	第3実習室	前装レジ構築	デンティン構築 エナメル構築	池田 正臣 土田 優美	到達目標 9
150-1	2/6	10:00-11:50	第3実習室	レジ前装冠の形態修	前装レジ構築、形態修正、研	池田 正臣	到達目標 4,6,9

51			室	正、研磨	磨、完成	土田 優美	
152-1 54	2/6	12:50-15:40	第3実習 室	レジン前装冠の形態修正、研磨	前装レジン築盛、形態修正、研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,6,9
155-1 56	2/8	10:00-11:50	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,10
157-1 60	2/8	12:50-16:40	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,10
161-1 62	2/10	10:00-11:50	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,10
163-1 65	2/10	12:50-15:40	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,10

授業方法

実習

成績評価の方法

- ・製作物(コア 10 点、個歯トレー10 点、テック 10 点、インレー10 点、クラウン 20 点、前装冠 20 点、ファイバーコア 10 点)、出席状況(10点)で総合的に評価する。
- ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品で評価を行う
- ・製作物の点数が 60%以上を合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
実習は実習室で行う。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。
- ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著], 末瀬, 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017

参考書

クラウンブリッジ補綴学 / 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷, 博文, 1954-, 三浦, 宏之, 細川, 隆司, : 医歯薬出版, 2014
保存修復学 21 / 田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集, 田上, 順次, 阿南, 壽, 奈良, 陽一郎, 山本, 一世, 齋藤, 隆史, : 永末書店, 2017

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023558			科目ID	DE-495800-Z
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	2022年度4年通年	対象年次	1~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。 (各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。					

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は上記参照。履修についての質問は、科目責任者(青木)までメールで随時行うこと。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

第3学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023503			科目ID	DE-310300-L																																																																		
科目名	科学英語Ⅱ			科目ID	DE-310300-L																																																																		
担当教員	池田 正臣[KEDA MASAOMI]																																																																						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1																																																																		
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																						
必修 15 時間																																																																							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass) 口腔保健工学専攻 第1 実習室																																																																							
授業の目的、概要等 歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解することができる。																																																																							
授業の到達目標 1. 英語論文の抄録を読んで内容を理解することができる。 2. 英語論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成できる。 3. 英語の抄録を説明できる。 4. 英語の専門用語について日本語、英語で説明できる。 5. 英語論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明できる。 6. 研究をまとめて発表する方法を説明できる。																																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/8</td> <td>12:50-14:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>論文の読み方、まとめ 方1</td> <td>論文の構成(CAD/CAM 論文) 発表課題</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>4/22</td> <td>12:50-14:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>論文の読み方、まとめ 方2</td> <td>論文の構成(材料論文)</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/13</td> <td>12:50-14:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>抄読会、ディスカッション 1</td> <td>緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(CADCAM 論文)</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/27</td> <td>12:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>抄読会、ディスカッション 2</td> <td>緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(材料論文)</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>6/24</td> <td>12:50-14:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>抄読会、ディスカッション 3</td> <td>論文で用いられる単語、文法</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>12-13</td> <td>7/15</td> <td>10:00-11:50</td> <td>遠隔授業 (非同期 型)</td> <td>研究発表シミュレーショ ン</td> <td>課題発表</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>7/15</td> <td>12:50-14:40</td> <td>遠隔授業 (非同期 型)</td> <td>研究発表シミュレーショ ン</td> <td>課題発表</td> <td>池田 正臣</td> <td>到達目標 1-5</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	4/8	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ 方1	論文の構成(CAD/CAM 論文) 発表課題	池田 正臣	到達目標 1-5	3-4	4/22	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ 方2	論文の構成(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5	5-6	5/13	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 1	緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(CADCAM 論文)	池田 正臣	到達目標 1-5	7-9	5/27	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 2	緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5	10-11	6/24	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 3	論文で用いられる単語、文法	池田 正臣	到達目標 1-5	12-13	7/15	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	研究発表シミュレーショ ン	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5	14-15	7/15	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	研究発表シミュレーショ ン	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																
1-2	4/8	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ 方1	論文の構成(CAD/CAM 論文) 発表課題	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
3-4	4/22	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ 方2	論文の構成(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
5-6	5/13	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 1	緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(CADCAM 論文)	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
7-9	5/27	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 2	緒言、目的、材料と方法、結果、考 察、結論(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
10-11	6/24	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション 3	論文で用いられる単語、文法	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
12-13	7/15	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	研究発表シミュレーショ ン	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
14-15	7/15	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	研究発表シミュレーショ ン	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5																																																																
授業方法 講義、演習、課題発表 抄読会(対面演習)を行います。 事前に課題を行い、発表スライドを作成し発表する。																																																																							
成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、抄読会発表内容・ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。																																																																							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。																																																																							

- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
- ・出席状況(10点)、抄読会発表内容・ディスカッションへの参加度(10点)、期末試験(80点)で総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に WebClass で提示される英文資料を読み、課題を作成すること。授業当日は作成された英語課題について発表し、ディスカッションする。事前に十分予習してから授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・事前に提示された課題を行い、授業前の提出期限までに課題を提出し、遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。
- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・事前に提示された課題を行い、授業前の提出期限までに課題を提出し、遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、課題英文が授業時間内に読み込めないことから、昨年度より課題の英文を少なくし、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

池田正臣 メールにて日時を相談 ikeda.csoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023506						
科目名	コミュニケーション学			科目ID	DE-330600-L		
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 他者の意見を整理し、自分の意見を相手に伝達するための基本的知識、技能および態度を学び、社会人に必要なコミュニケーション能力を習得する。							
授業の到達目標 1. コミュニケーションの定義と種類について説明できる。 2. 社会人に必要なコミュニケーション能力について説明できる。 3. 物事をわかりやすく説明できる。 4. 自分の意見を的確に伝達できる。 5. コミュニケーションの構築について説明できる。 6. 文章をわかりやすく書くことができる。 7. 適切な敬語を使用できる。 8. 相手に配慮したメールでの依頼ができる。 9. 就職活動の進め方について説明できる。 10. 将来の展望について発表できる。 11. 自己分析方法と結果を解釈できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	社会人に必要なコミュニケーション能力、説明の方法、口頭表現の基礎	社会人に必要なコミュニケーション能力、わかりやすい説明、印象のよい話し方、効果的な自己PR(演習)	塩沢 真穂	到達目標:1-4 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後WebClassに課題を提出すること。
3-5	4/6	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	コミュニケーション概論、医療とコミュニケーション	コミュニケーションの進化、コミュニケーションの構成要素、コミュニケーションと認知のフレーミング、認知心理学とメンタルモデル、医療コミュニケーション、言語化・社会化と治癒、メンタルモデル(解釈モデル)の共有、コンセンサス・ゲーム	礪波 健一、 塩沢 真穂	到達目標:5 授業後、WebClassに課題を提出すること。
6-7	4/13	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	敬語、メールでの依頼	敬語の基礎、相手に配慮したメールでの依頼(演習)	塩沢 真穂	到達目標:7,8 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後WebClassに課題を提出すること。

							と。
8-9	4/20	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	就活活動の実際	在学中の就職活動の実際、就職後に学ぶ接遇とマナー、社会人に求められる能力やスキルについて	塩沢 真穂 鞆野 美咲 鈴木 友実	到達目標:9 授業後、WebClassに課題を提出すること。
10-12	5/18	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	レポート・論文の書き方の基本	論理的な文章、わかりやすい文の書き方、パラグラフ・ライティング(演習)	塩沢 真穂	到達目標:6 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後WebClassに課題を提出すること。
13-15	5/25	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	就職活動の現状 将来の展望(課題学習発表)	自己分析結果の検討 自分の将来展望について(課題学習発表)	塩沢 真穂 樋口 和秀 青木 和広	到達目標:10,11 5/30までに自己分析をwebで受験 事前に発表スライドを準備し、発表後、WebClassに提出

授業方法

講義、演習、課題発表

遠隔授業(同期型)のほかに演習、課題発表が含まれます。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出レポート、課題学習発表、期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・配点はレポート(20点)、課題学習発表(10点)、期末試験(70点)とする。
- ・期末試験の得点率が6割未満の場合は再試験を行う。
- ・出席状況と授業態度を加味する。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。
- ・配点は、期末試験70点、レポート20点、課題発表10点とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

昨年度より演習部分を増やし、内容を改善している。

事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、レポートや演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編/橋本修, 安部朋世, 福嶋健伸 編著. 橋本, 修, 安部, 朋世, 1968-. 福嶋, 健伸.: 三省堂, 2008

大学生のための日本語表現トレーニング 実践編／福嶋健伸, 橋本修, 安部朋世 編著, 福嶋, 健伸, 橋本, 修, 安部, 朋世, 1968-, :三省堂, 2009

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023508A						
科目名	グローバル口腔保健工学実習	科目ID	DE-230800-Z				
担当教員							
開講時期	2022年度通年	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
実習							
主な講義場所 第1講義室 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 海外における歯科技工の現況を知り、自身の将来設計を具体化させるとともに、海外の口腔保健工学に携わる学生と交流できるようにコミュニケーション力を育てる。国際社会における多様な考え方を理解し、広い視野を持ったグローバルな人材となるために必要な能力を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を英語で説明する。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について英語で説明する。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを英語で説明する。 4. 東京医科歯科大学について英語で説明する。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを英語で作成する。 6. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。 7. 文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方について理解し実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/14	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学	海外研修の意義 紹介すべき項目の列挙と整理	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
3-4	4/21	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 1	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
5-6	4/28	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 2	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
7-8	5/12	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 3	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and	JANELLE RENEE M	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather

					life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	OROSS, 青木 和広	Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
9-10	5/26	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 4	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
11-12	6/9	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 5	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
13-14	6/16	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 6	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
15	6/23	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 7	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
16-17	6/30	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 8	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
18	7/14	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 8	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther Waer 各グループのZoomIDとPWは WebClass FKS22009を参照
19-20	7/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 9	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on	JANELLE RENEE M OROSS, 青	SBO's: 1-6 Jon Corliss Heather Satoh Esther

					presentation script, PP slides	木 和広	Waer 各グループの ZoomID と PW は WebClass FKS22009 を参照
21-22	9/5	12:50-14:40	第1講義室	English conversation & presentation check 10	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	青木 和広, J ANELLE R ENEE MO ROSS, 大木 明子	SBO's: 1-6 各班、発表を行い録画を行う。
23-24	9/16	14:50-16:40	その他	English conversation & presentation check 10	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	青木 和広, 大木 明子	SBO's: 1-6 各班、発表を行い録画を行う。
25-28	9/26	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 日程調整中	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広, 大木 明子	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
29-32	9/27	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 日程調整中	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広, 大木 明子	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
33-36	9/28	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 日程調整中	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広, 大木 明子	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
37-40	9/29	09:00-13:50	第1講義室	国際社会でのコミュニケーション 日程調整中	英語によるプレゼンと交流報告	青木 和広, J ANELLE R ENEE MO ROSS, 大木 明子	SBO's: 1-7 英語によるプレゼンと交流報告

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題発表、演習、実習

成績評価の方法

成績評価の方法

- ・レポート(50点)および報告会プレゼンテーション(20点)、英語での発表(20点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。
- ・海外特別研修は本授業の16時間分として認定する。

成績評価の基準

- ・レポート(50点)および報告会プレゼンテーション(20点)、英語での発表(20点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。
- ・総合の点数が60%未満の場合は課題を再提出とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験の受験資格(海外特別研修)

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を海外特別研修への参加条件とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023511A			科目ID	DE-351100-L		
科目名	口腔保健工学管理学			科目ID	DE-351100-L		
担当教員	池田 正臣, 品田 佳世子[KEDA MASAOMI, SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 演習は第1 実習室							
授業の目的、概要等 作業環境の健康に及ぼす影響および作業環境の改善方法について学ぶ。							
授業の到達目標 1. 自然・社会環境と廃棄物処理について説明できる。 2. 粉じんと有害物質について説明できる。 3. 歯科技工所の設備構造と作業環境の改善方法について説明できる。 4. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。 5. 作業環境が健康に及ぼす影響を説明できる。 6. 歯科技工所の経営について説明できる。 7. 安全対策について説明できる。 8. 労働安全衛生法について説明できる。 9. 5Sについて説明でき、実施できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/8	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	環境と健康 ラボサイドでの作業環境、歯科の粉じんと有害物質について	自然・社会環境と廃棄物処理 歯科技工材料の取り扱いと保管方法、歯科の粉じんと有害物質、歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準課題	池田 正臣	到達目標 1-5
4-6	4/22	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科技工所の作業環境と改善方法について 設備構造基準 安全対策の計画課題	歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準 (グループワーク、発表) 安全対策の計画課題	池田 正臣	到達目標 1-5
7-9	5/13	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	作業環境が健康に及ぼす影響、作業環境の測定 安全対策について	作業環境が健康に及ぼす影響と作業管理と作業環境管理 5S 労働安全衛生法 次世代育成支援対策推進法 働き方改革 安全対策の計画(グループワーク、発表)	池田 正臣 品田 佳世子	到達目標 1-6 安全対策の計画(グループワーク、発表)
10-12	6/9	12:50-15:40	第1実習室	チェアサイドとラボサイドでの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営	チェアサイドとラボサイドの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営の実際	池田 正臣	到達目標 1-9
13-15	7/15	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	5S 演習	鑄造室、実習室の5S 活動演習	池田 正臣	到達目標 1-9 5S 演習
授業方法 講義と演習および課題発表 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問すること。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答する。							

授業内容 講義、グループワーク、発表
成績評価の方法 ・発表・グループワーク(20点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的に評価する。 ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・講義・課題発表は基本的に遠隔授業(同期型)、演習は実習室で行います。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う
教科書 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬一彦,：医歯薬出版, 2017
参考書 労働衛生のしおり／中央労働災害防止協会/編：中央労働災害防止協会, 2018-08
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikeda.csoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023513			科目ID	DE-351300-L																																										
科目名	口腔外科学			科目ID	DE-351300-L																																										
担当教員																																															
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1																																										
実務経験のある教員による授業	該当する																																														
<p>時間数: 15時間 授業形態: 遠隔講義 遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う</p>																																															
<p>主な講義場所 遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う</p>																																															
<p>授業の目的、概要等 口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。臨床口腔解剖学や口腔病理学、歯科麻酔学についても講義内容に含まれる。</p>																																															
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解できる。 3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解できる。 4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解できる。 5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解できる。 6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解できる。 7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解できる。 8. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を理解できる。 9. 唾液腺疾患の病因と病態について理解できる。 10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解できる。 11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解できる。 12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解できる。 14. 口腔外科手術患者、口腔がん患者の全身管理や口腔管理について理解できる。 																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/3</td> <td>09:00-09:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>総論</td> <td>口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:1 口腔外科を学ぶ重要性ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>10/3</td> <td>13:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>先天異常と発育異常</td> <td>口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:1,2</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/5</td> <td>12:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>損傷 炎症 嚢胞</td> <td>歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:3-5</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/31</td> <td>12:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>腫瘍および腫瘍類似疾患、口腔粘膜疾患</td> <td>良性腫瘍、腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:6,7</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	10/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	総論	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、	樺沢 勇司	到達目標:1 口腔外科を学ぶ重要性ディスカッション	2-3	10/3	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1,2	4-6	10/5	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:3-5	7-9	10/31	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾患、口腔粘膜疾患	良性腫瘍、腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口	樺沢 勇司	到達目標:6,7
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																								
1	10/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	総論	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、	樺沢 勇司	到達目標:1 口腔外科を学ぶ重要性ディスカッション																																								
2-3	10/3	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1,2																																								
4-6	10/5	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:3-5																																								
7-9	10/31	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾患、口腔粘膜疾患	良性腫瘍、腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口	樺沢 勇司	到達目標:6,7																																								

			型)		腔粘膜疾患の診断と治療		
10-12	11/7	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標:8-11
13-14	11/14	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	顎関節疾患、口腔外科と補綴治療、口腔外科手術・口腔がん患者の全身管理と口腔健康管理	顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療 口腔外科疾患術後患者に対する補綴治療、補綴に関連した口腔外科手術 口腔外科手術・口腔がん患者への口腔ケア	樺沢 勇司	到達目標:12-14
15	11/14	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	最終講義(まとめ)	理解度の確認(評価テスト)	樺沢 勇司	到達目標:1-14

授業方法

遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う

成績評価の方法

事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30点)および期末テスト(60点)により総合的に評価する。

成績評価の基準

- ・事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30点)および期末テスト(60点)により総合的に評価する。
- ・期末テストの正解率が6割未満の場合は、再試験とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布およびWebClass上に事前学習用のビデオなど自己学習用のアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を受験資格とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之〔ほか〕執筆；松井恭平〔ほか〕編集。全国歯科衛生士教育協議会。山根、源之、松井、恭平、：医歯薬出版、2011

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023515			科目ID	DE-351500-L		
科目名	高齢者歯科工学			科目ID	DE-351500-L		
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健工学専攻 第2講義室、リフレッシュルーム、第1実習室							
授業の目的、概要等 高齢者に特徴的な疾患と問題点について学び、摂食・嚥下障害など口腔機能障害の病態と、その機能訓練・回復治療法について理解する。高齢者施設の見学をとおして施設利用者に対する理解を深め、高齢者をとりまく環境と口腔内状況、口腔内装置の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 高齢者に特徴的な疾患とそれにより生じる問題点を説明し、介護保険などの公的支援についてを説明できる。 2. 摂食嚥下障害の病因、病態、障害を説明できる。 3. 高齢者施設について種類を列挙し、介護保険サービスと利用者の口腔内と装着装置の実際をを説明できる。 4. 演習をとおして歯科技工のニーズをを説明できる。 5. 摂食嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明できる。 6. 摂食嚥下障害に対する補綴的対応を説明できる。 7. 誤嚥性肺炎と口腔健康管理、口腔衛生管理用品について説明できる。 8. 低栄養とフレイルにより生じる問題点を説明し、栄養状態改善のための栄養管理について説明できる。 9. 摂食嚥下障害に対するチーム医療を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/30	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の特徴、現状、社会の高齢化、死因、加齢と老化、摂食嚥下のメカニズム	高齢者の特徴、超高齢社会、高齢者の背景、死因、健康寿命と平均寿命、全身の加齢と老化、摂食嚥下のメカニズムとその障害	鈴木 啓之、 金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1-2
3-4	9/30	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	高齢者に対する医療、保健・福祉制度、訪問診療	医療、保健、福祉制度、介護保険 高齢者施設、訪問診療、高齢者に多い疾患	鈴木 啓之、 金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1,3-4
5-6	9/30	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	高齢者における口腔機能低下症	高齢者における口腔機能低下症	濱 洋平、金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:7
7-8	10/3	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔ケアと誤嚥性肺炎	肺炎、誤嚥、口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、口腔健康管理	松尾 浩一郎、 金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1-2, 5-9
9-10	10/5	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	摂食嚥下障害の評価法、治療の流れ、摂食嚥下訓練	問診、観察、スクリーニングテスト、検査、摂食嚥下リハビリテーション、摂食嚥下訓練	岩佐 康行、 金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1-2, 4 事前に出された課題を行い、資料を持って参加すること
11-12	10/6	13:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	チームアプローチ、地域包括ケア、まとめ	摂食嚥下障害、言語障害、周術期チーム、栄養サポートチームや呼吸サポートチーム、地域包括ケア、まとめ	大木 明子	到達目標:1,5, 8-9
13-14	10/6	9:00-11:50	遠隔授業	栄養管理	低栄養とフレイル、食事の考え	大木 明子	到達目標:1-2, 4

			(非同期型)		方、低栄養への対応		事前に出された課題を行い、資料を持って参加すること
15-16	10/7	15:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	高齢者に多い疾患(演習)	高齢者に多い疾患(演習)	猪越 正直 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1-5
17-18	10/14	10:00-11:50	第2講義室	栄養実習	栄養管理のための食事(実習)	大木 明子	到達目標:5-9 事前に飲料やスプーン等指示されたものを持参すること レポートの提出
19-21	10/17	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	高齢者に多い疾患(演習)	高齢者に多い疾患(演習)	猪越 正直 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1-5
22-24	10/24	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	口腔腫瘍と摂食嚥下障害	口腔腫瘍と摂食嚥下リハビリテーション、上顎顎義歯、軟口蓋挙上装置、舌接触補助床	小野 高裕 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1,5,8-9
25-27	10/27	9:00-11:50	第2講義室	高齢者への対応(発表・1人10分)	高齢者への対応(発表)	金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:6 Zoom
28-30	11/14	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	脳血管疾患と摂食嚥下障害(OEOH 合同)	脳血管障害と摂食嚥下リハビリテーション、在宅・施設における摂食嚥下障害の対応	戸原 玄, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1, 5, 7-9 Zoom

授業方法

講義、演習、実習

講義は遠隔授業(非同期型)で行います。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。

演習は対面で行います。事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

演習の課題を WebClass にて行い、提出すること。

実習は講義室、実習室およびリフレッシュルームで行います。各自、実習で使用するための水(飲料)やスプーン等、指示されたものを持参すること。実習後にレポートを提出すること。

成績評価の方法

評価は授業ごとの確認テスト、レポート評価、発表評価によって行う。

成績評価の基準

・確認テスト、レポート評価、発表評価の合計点数が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が WebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。配布資料は WebClass にアップロードされます。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席とする。

・非同期型授業では、授業ごとの Web クラスでの確認テストの実施をもって出席とする。

なお、確認テストの実施期限は当該授業終了時までとする。

参考書

歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 = Dysphagia Rehabilitation for Dental Students / 向井美恵, 山田好秋, 井上誠, 弘中祥司 編著, 向井, 美恵, 1947-, 山田, 好秋, 1949-, 井上, 誠, 1963-, 医歯薬出版, 2019

歯科発アクトイブライフプロモーション 21 : 健康増進からフレイル予防まで / 花田信弘 監著, 武内博朗, 野村義明, 泉福英信 編著, 花田, 信弘, 1953-, 武内, 博朗, 1962-, 野村, 義明, 泉福, 英信, デンタルダイヤモンド社, 2017

義歯ケア事典 : らくらくお口のケア : 義歯ケアマイスター認定テキスト / 日本義歯ケア学会編, 日本義歯ケア学会, 浜田, 泰三, 水口, 俊介, :

永末書店, 2018

歯科と栄養が会うとき : 診療室からはじめる!フレイル予防のための食事指導 / 菊谷武, 尾関麻衣子 著, 菊谷, 武, 尾関, 麻衣子. : 医歯薬出版, 2020

高齢者歯科 / 植田耕一郎ほか著, 植田, 耕一郎, 全国歯科衛生士教育協議会. : 医歯薬出版, 2013

開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方超入門 : 摂食機能療法&舌接触補助床 (PAP) の基本がわかる Q&A 50 / 前田芳信, 阪井丘芳 監著, 小野高裕 編著, 野原幹司, 小谷泰子, 堀一浩, 山本雅章, 中島純子, 熊倉勇美 著. : クインテッセンス出版, 2013

臨床歯科栄養学 : 歯科に求められる栄養の基礎知識 / 花田信弘, 萩原芳幸, 北川昇 監修, 花田, 信弘, 1953-, 萩原, 芳幸, 北川, 昇. : 口腔保健協会, 2018

老年歯科医学 / 森戸光彦 [ほか] 編, 森戸, 光彦, 山根, 源之, 櫻井, 薫(歯学), 羽村, 章, 下山, 和弘, 柿木, 保明. : 医歯薬出版, 2015

老年医学系統講義テキスト : カラー版 / 日本老年医学会編集, 日本老年医学会. : 西村書店, 2013

高齢者歯科 / 植田耕一郎ほか著, 植田, 耕一郎, 全国歯科衛生士教育協議会. : 医歯薬出版, 2013

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 演習においては自学自習の上、参加すること。

備考

本講義では、講義内容によって実習、演習、課題発表、グループワーク、討論などのアクティブラーニングを実施します。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023523			科目名	臨床咬合学	科目ID	DE-352300-L	
担当教員								
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	1			
実務経験のある教員による授業	該当する							
必修 15 時間								
主な講義場所 1号館 8階 口腔保健学科 相互実習室 2号館第1実習室								
授業の目的、概要等 咬合器装着模型を用いた学生相互実習において、予備印象採得、顔弓記録、調節性咬合器の装着、顎路調整という一連の臨床操作を実施することにより、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。口腔機能低下症と口腔機能評価について理解する。								
授業の到達目標 1. 標準予防策について説明する。 2. 衛生的な手洗いを説明できる。 3. 歯科医療で用いるものの廃棄についてゴミを分別できる。 4. 予備印象採得の方法を説明できる。 5. 研究用模型を製作する。 6. 半調節性咬合器の種類を説明できる。 7. フェイスボウトランスファーの方法を理解できる。 8. チェックバイトを説明できる。 9. 顎路調整を行う。 10. 口腔機能低下症と用いられる口腔機能評価を説明できる。 11. 舌圧の測定法と役割を説明できる。 12. 咬合接触面積を説明できる。								
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1-3	5/24	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 第1実習 室	感染予防について、衛 生的な手洗い、予備印 象採得(実習)、口腔機 能評価	標準予防策、衛生的な手洗い、廃 棄物の分類、歯科用ユニットの使 用法、アルジネート印象材による 予備印象採得(実習)、口腔機能 低下症と口腔機能評価(口腔衛生 状態)	大木 明子、 塩沢 真穂	WebClassにある 資料・動画の視聴 を行い、小テスト を実施すること。 最初に白衣を着 て第1実習室に 集合してくださ い。不必要なもの は持参しないよう に。到達目標: 1-3、10-11	
4-7	5/24	13:00-16:50	第1実習 室	研究用模型の製作(実 習)	研究用模型の製作 半調節性咬 合器の種類と取り扱い	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標:3、5-6 実習作品の提出	
8-9	5/31	10:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 第1実習 室	フェイスボウトランスファ ー、口腔機能の測定(実 習)	フェイスボウトランスファー、チェッ クバイト法、咬合接触面積の測定 (実習)	大木 明子、 塩沢 真穂	最初に白衣を着 て第1実習室に 集合してくださ い。不必要なもの は持参しないよう	

							に。到達目標: 1-3-6-8、12
10-13	5/31	13:00-16:50	第1実習室	フェイスボウトランスファー(実習)	咬合器装着、チェックバイト法(実習)	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標: 6-8 実習作品の提出
14-15	6/7	10:00-11:50	第1実習室	顎路調整、口腔機能低下症、口腔機能の測定(実習)	顎路調整、口腔機能低下症と口腔機能の測定、咬合接触面積の測定	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標: 9-12 実習後にレポートを提出
授業方法							
講義、実習 対面実習を行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 課題を WebClass にて行い、提出すること。 実習で与えられた課題レポートを WebClass にて提出すること。 実習で印象採得、模型の製作、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、半調節性咬合器の調節、口腔機能検査を行う。							
成績評価の方法							
評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 ・研究模型(上下各5点、計10点)、フェイスボウトランスファー(5点)、咬合器装着(10点)、口腔機能測定実習レポート(5点)、期末試験(70点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準							
・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験70点、提出プロダクツ25点、実習レポート5点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示							
事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 WebClass の資料・動画を視聴し、小テストを実施すること。 実習にあたって事前に WebClass でビデオ教材を予習してくること。							
試験の受験資格							
定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(非同期型)で課題を実施し、WebClass に提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクツを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書							
顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集、志賀博、町博之、小泉順一、竹井利香 著、志賀博、町博之、小泉順一、全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版、2016							
参考書							
コンプリートデンチャーテクニク / 細井紀雄 [ほか] 編、細井紀雄、平井敏博、長岡英一、赤川安正、鈴木哲也(歯科学)、大川周治: 医歯薬出版、2011							
履修上の注意事項							
授業場所に注意すること(シラバスに集合場所が記載されています。)。実習にあたり、服装の注意事項があるので確認して実習に臨むこと。							
備考							
昨年度授業終了時アンケート結果より、事前に WebClass にある資料を学習することで実習時間を確保し、初回を3コマとすることで実習前にポイントを確認するための時間を確保することで内容を改善している。 担当教員のオフィスパワーおよび連絡先							

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023037A			科目ID	DE-292900-L		
科目名	プロセスデバイス工学			科目ID	DE-292900-L		
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名:プロセスデバイス工学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習 選択							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom, WebClass)							
授業の目的、概要等 コンピュータ支援設計・加工・製造および三次元計測の原理と、歯科へ応用するための基礎的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. デジタルデンティストリーを応用した臨床例について説明する。 2. コンピュータの基本的な構成とシステムについて説明する。 3. 三次元データの計測、設計、加工、製造の方法と仕組みを説明する。 4. シミュレーション解析の概要について説明する。 5. 歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向について説明する。 6. データサイエンスの概要について説明する。 7. 最新のデジタルデンティストリーの研究を調査する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/19	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーとは	デジタルを利用した臨床実地試験	金澤 学	到達目標:1 終了後に感想レポートを実施
3-4	4/19	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	コンピュータ概論	ハードウェアとソフトウェア	土田 優美	到達目標:2 終了後に小テストを実施
5	4/26	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM と三次元データ	CAD/CAM と三次元データ	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
6	4/26	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM と三次元データ	計測、スキャン	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
7	4/26	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM と三次元データ	設計、デザイン	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
8	4/26	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	三次元データの加工と造形	切削加工	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
9	5/18	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	三次元データの加工と造形	付加製造	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
10	5/18	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	シミュレーション解析	シミュレーション解析	中口 悦史	到達目標:4 終了後に小テストを実施

11-12	5/25	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向	歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向	瓜生 博伺	到達目標:5 終了後にレポートを提出
13	6/7	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	データサイエンスの基礎	データサイエンスの基礎	須藤 毅頭	到達目標:6 終了後にレポートを提出
14-15	6/7	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	最新論文調査	最新論文調査	土田 優美	到達目標:7

授業方法

講義、演習

遠隔授業(同期型・非同期型)および見学実習を行う。

1～10、13 回は遠隔授業(非同期型)で行う。WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格(7 割以上)をもって出席とする。小テストの期限は原則授業実施予定日から一週間とし、期間中は何度でも実施可能とする。この試験結果は成績に加味する。

11,12,14,15 回は遠隔授業(同期型)を行う。感想レポートが課されるため、期限までに WebClass に提出すること。課題内容については随時連絡する。

遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。

遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。

成績評価の方法

評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

提出課題はレポート 2 題(各 5 点)である。

期末試験の配点は 90 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

出席状況、授業態度、小テストの結果を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

配点は、期末試験 90 点、レポート課題 合計 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。

出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型・非同期型)に出席すること。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業・見学実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎、隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

中口 悦史 メールにて日時を相談

nakaguti.las@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土田 優美メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023538			科目ID	DE-253800-E		
科目名	部分床義歯工学実習Ⅱ			科目ID	DE-253800-E		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第1実習室、重合・鑄造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 金属床義歯の設計線の記入ができる。 2. ワックスを使用してブロックアウト・リリースができる。 3. 複印象の採得と耐火模型の製作ができる。 4. 金属床のワックスアップができる。 5. ワックスパターンにスプルーイングができる。 6. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。 7. コバルトクロム合金の鑄造ができる。 8. ワイヤークラスプの屈曲ができる。 9. メタルフレームの形態修正・研磨ができる。 10. 審美性・機能性に配慮して人工歯排列ができる。 11. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。 12. 即時重合レジンの流し込みと重合ができる。 13. レジン床の形態修正と研磨ができる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-5	4/11	12:50-17:40	第1実習室	義歯の設計、サベイング、ブロックアウト・リリース	支台装置の概略と構成要素、金属床外形線の記入、ブロックアウトおよびリリース、鑄造床製作術式の講義	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:1, 2
6-10	4/18	12:50-17:40	第1実習室	耐火模型の製作、ワックスアップ	複印象採得、耐火模型材注入、耐火模型の表面処理、力学的構造設計、ワックスアップ	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:3, 4
11-15	4/25	12:50-17:40	第1実習室	ワックスアップ	力学的構造設計、ワックスアップ	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:4
16-20	5/9	12:50-17:40	第1実習室	埋没	スプルーイング、埋没	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:5, 6
21-25	5/16	12:50-17:40	第1実習室	鑄造、形態修正、研磨	鑄造、スプルーカット、形態修正、内面研磨	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:7, 8
26-30	5/23	12:50-17:40	第1実習室	研磨、適合	クラスプの維持力調整、仕上げ研磨、作業用模型への適合	沖本 祐真 岩城 麻衣子 宮安 杏奈	到達目標:9
31-35	5/30	12:50-17:40	第1実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	沖本 祐真 岩城 麻衣子	到達目標:10, 11

						宮安 杏奈	
36-40	6/6	12:50-17:40	第1実習室	レジン重合、形態修正	コア採得、流し込みレジン重合、咬合調整、形態修正	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:12,13
41-43	6/13	12:50-17:40	第1実習室	研磨	レジン研磨、完成	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:13 実習作品の提出

授業方法

実習

上顎金属床義歯の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作する作品と出席状況によって行う。

- ・完成製作物(90点):形態(40点)、適合状態(20点)、研磨状態(30点)
- ・出席状況(10点)

で総合的に評価する。授業態度を加味する。

成績評価の基準

- ・実習で製作した完成製作物(90点)、出席状況(10点)で評価を行う。60点以上を合格とする。
- ・授業態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

試験の受験資格

- ・4分の3以上の出席を基本とする。
- ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。

参考書

新1週間でマスターするキャストパーシャル／川島哲 著、川島 哲、1948-、:医歯薬出版、2012

T.K.M.キャストデンチャーのすべて : bio-mimetic cast denture／川島哲 著、川島 哲、1948-、:医歯薬出版、2005

「デジタルサベヤーによるキャストクラスプの設計と製作」野首孝祠・小野高裕・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.66 SHOFU Inc. 京都 1984

「コバルトクロム合金を用いたキャストクラスプの合理的な製法」野首孝祠・小野高裕・守光隆・奥野善彦著 デンタルエコー Vol.71 SHOFU Inc. 京都 1986

「パーシャルデンチャーの設計・製作によりよい環境を求めて」野首孝祠・安井栄・喜多誠一・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.89 SHOFU Inc. 京都 1992

「合理的で確実なパーシャルデンチャーの製作方法」池邊一典・野首孝祠 著 デンタルエコーVol.109 SHOFU Inc. 京都 1997

「金属床と構造設計進化論-軽くて薄くて壊れない金属床義歯の設計と製作」古賀壮一 歯科技工 Vol.33 No.4 pp.409-433 医歯薬出版 東京 2005

「義歯に血の通うまで~アルプス歯科の総義歯製作技法」中込敏夫・向井道夫 著 サンパレー書房 2011

「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」歯科技工別冊 医歯薬出版 2009

「パーシャルデンチャー製作のための設計/構造」歯科技工別冊 医歯薬出版 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

口腔デジタルプロセス学分野

准教授 岩城麻衣子 mi.wakigerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023530			科目ID	DE-353000-L		
科目名	顎補綴工学			科目ID	DE-353000-L		
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等 顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、治療用装置の構造と製作法を理解する。外科治療や放射線治療、言語治療などに用いられる補助装置の構造と製作法、治療法を理解する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を説明できる。 2. 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 3. 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を説明できる。 4. 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 5. 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 6. 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について説明できる。 7. 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について説明できる。 8. インプラントを用いた顎顔面欠損に対する対応を説明できる。 9. 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について説明できる。 10. 言語治療補助装置と治療法を説明できる。 11. 外科治療補助装置について説明できる。 12. 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/4	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	顎顔面補綴学とは、上顎欠損と上顎顎義歯	定義、分類、歴史 上顎欠損の特徴、製作法、分類反転授業、上顎欠損の症例、上顎顎義歯の設計演習	大木 明子	到達目標:1-3 Zoom 小テストを実施
5-6	10/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	設計演習 下顎欠損と舌欠損	演習解説、下顎欠損、舌欠損の特徴、症例	大木 明子	到達目標:4-5 Zoom 設計演習課題を WebClass に提出後に授業に出席すること
7-9	11/4	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	外傷後の補綴、小口症、開口障害の補綴、放射線治療と補綴	顎顔面部外傷後特徴、小口症・開口障害の特徴、印象採得・技工の工夫について、口腔咽頭腫瘍に対する放射線治療、放射線治療補助装置、放射線治療後の補綴	大木 明子	到達目標:6-7 Zoom
10	11/18	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	インプラントを用いた顎顔面補綴	インプラントを用いた顎顔面補綴の症例	尾澤 昌悟	到達目標:8
11-12	11/18	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	唇顎口蓋裂と補綴、言語治療用補助装置、各種補助装置	唇顎口蓋裂の特徴、チームアプローチと補綴、構音障害と言語治療用補助装置、外科治療用補助装置	大木 明子	到達目標:9-11 Zoom
13-14	1/13	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顔面・体幹補綴	顔面補綴治療、体幹補綴、エpiteーゼ材料、エpiteーゼの製作法	大木 明子	到達目標:12 Zoom

15	1/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顔面補綴の症例	顔面補綴の症例	大木 明子, 吉岡 文	到達目標:12 Zoom
授業方法 講義、小テスト(WebClass)、演習 遠隔授業(同期型)で行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。							
成績評価の方法 評価は小テスト、提出課題および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 ・小テスト(5点)、設計演習(5点)、筆記試験(90点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験90点、小テスト5点、設計演習課題5点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に WebClass に資料がアップロードされた場合は予習してから講義にのぞむこと。 1回目の上顎欠損分類について、事前に WebClass にアップロードされている課題を行った上で講義にのぞむこと(反転授業)。講義中に小テストを行います。 設計演習の宿題を期日までに提出すること。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・事前学習の後実施される小テストを行うこと。 ・課題を実施し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史，谷口尚 編：医学情報社，2006 口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著：医歯薬出版，1997 口唇口蓋裂のチーム医療／高戸毅 監修，須佐美隆史，米原啓之 編：金原出版，2005 構音障害の臨床：基礎知識と実践マニュアル／阿部雅子 著：金原出版，2008 顎口腔外傷のチーム医療／高戸毅 監修，米原啓之，須佐美隆史 編：金原出版，2005 口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害，摂食・嚥下障害／溝尻源太郎，熊倉勇美 編著：医歯薬出版，2000							
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 課題の提出を提示された期日までに行うこと。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、学習の理解が高まるよう事前に演習課題を実施すること、顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習の時期に合わせて時間割を作成することで内容を改善した。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp							

時間割番号	023531			科目ID	DE-353100-E		
科目名	顎補綴工学実習			科目ID	DE-353100-E		
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 70 時間							
主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等 上顎骨欠損患者に適用される上顎顎義歯の構造と栓塞子の製作法を理解し、上顎顎義歯を製作する。							
授業の到達目標 1. 上顎顎義歯の構造について説明できる。 2. 無歯顎上顎欠損の印象範囲を理解し、個人トレーを製作する。 3. 上顎欠損の部分床義歯について設計原則を理解し、設計を行う。 4. 上顎顎義歯製作のための咬合採得の手順を理解し、ワイヤークラスプを付与した咬合床を製作する。 5. 上顎顎義歯製作のために模型を適切に咬合器に装着する。 6. 上顎顎義歯の支台装置を適切な形態でワックスパターンを製作し、鑄造、製作する。 7. 適切な人工歯排列を行う。 8. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。 9. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。 10. 栓塞部の製作法を理解して石膏コアを製作する。 11. 上顎顎義歯の咬合調整、形態修正、研磨を行える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/11	12:50-16:40	第1実習室	顎補綴工学実習概説 個人トレー	顎補綴工学実習内容説明、模型調整、概形線記入、ブロックアウト、リリース 常温重合レジン圧接、トリミング、柄	大木 明子	到達目標:1,2 実習作品の提出
5-8	10/13	12:50-16:40	第1実習室	咬合床	作業用模型調整、設計、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接、トリミング	大木 明子	到達目標:1,3-4
9-12	10/18	12:50-16:40	第1実習室	咬合床	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定	大木 明子	到達目標:1,3-4
13-16	10/20	12:50-16:40	第1実習室	咬合床、咬合器装着	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定、ワックスリム追加、咬合採得、模型修正、咬合器装着	大木 明子	到達目標:1,3-5 実習作品の提出
17-20	11/1	12:50-16:40	第1実習室	設計、支台装置	設計、ワイヤークラスプ屈曲、ブロックアウト、リリース	大木 明子	到達目標:1,3,6
21-24	11/8	12:50-16:40	第1実習室	支台装置	複印象、耐火模型製作、支台装置ワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,3,6
25-28	11/10	12:50-16:40	第1実習室	支台装置	支台装置ワックスパターンの製作、埋没	大木 明子	到達目標:1,3,6
29-31	11/15	12:50-15:40	第1実習室	人工歯排列 支台装置	人工歯排列、鑄造	大木 明子、池田 正臣	到達目標:1,3,6-7
32-35	11/17	12:50-16:40	第1実習室	支台装置	支台装置形態修正、咬合調整	大木 明子、池田 正臣	到達目標:1,3,6
36-39	12/6	12:50-16:40	第1実習室	支台装置、人工歯排列	レーザー溶接・ろう着、支台装置	大木 明子、	到達目標:1,3,6-7

			室		完成・付与、人工歯排列	池田 正臣	
40-43	12/8	12:50-16:40	第1実習室	歯肉形成、ろう義歯完成	歯肉形成、ろう義歯完成	大木 明子	到達目標:1,7-8 実習作品の提出
44-47	12/13	12:50-16:40	第1実習室	埋没	埋没前準備、一次埋没、シリコーンコア採得、二次埋没、三次埋没	大木 明子	到達目標:1,9
48-51	12/15	12:50-16:40	第1実習室	流ろう、欠損部修正、石膏コア製作	流ろう、欠損部修正、石膏コア製作	大木 明子	到達目標:1,9-10
52-54	12/20	12:50-15:40	第1実習室	填入、重合	レジン填入、重合	大木 明子	到達目標:1,9-10
55-58	12/22	12:50-16:40	第1実習室	割り出し、咬合器再装着、咬合調整	割り出し、咬合器再装着、人工歯咬合調整	大木 明子	到達目標:1,11
59-62	1/5	12:50-16:40	第1実習室	咬合調整、割り出し、形態修正	人工歯咬合調整、割り出し、形態修正	大木 明子	到達目標:1,11
63-66	1/10	12:50-16:40	第1実習室	形態修正、研磨	形態修正、研磨	大木 明子	到達目標:1,11
67-70	1/12	12:50-16:40	第1実習室	研磨、完成	研磨	大木 明子	到達目標:1,11 実習作品の提出

授業方法

実習、反転授業

上顎骨欠損患者に用いられる個人トレー、上顎顎義歯の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

- ・上顎個人トレー(柄、辺縁、栓塞部、全体:計 20 点)
- ・上顎顎義歯の咬合床(基礎床、ろう堤、栓塞部:計 15 点)
- ・ろう義歯(支台装置、人工歯排列、全体:計 15 点)
- ・完成顎義歯(支台装置、人工歯部、栓塞部、研磨状態、全体:計 50 点)

について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。
- ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

参考書

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編 大山、喬史、1939-、谷口、尚、1952-、医学情報社、2006
Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011

他科目との関連

顎補綴工学

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。

備考

実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。

ステップごとにチェックを行います。

昨年度授業終了時アンケート結果より、新カリキュラムに移行し、10 時間増加の 70 時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビ

デオ教材を更新しています。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023562						
科目名	顔面補綴工学実習	科目ID					
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等 顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解し、眼窩部欠損患者に適応される義眼および眼窩部エピテーゼを製作する。							
授業の到達目標 1. エピテーゼに用いられる材料について説明できる。 2. エピテーゼのための個人トレーの製作法を説明できる。 3. 義眼の構成を列挙し、義眼の製作法を説明できる。 4. 眼窩部エピテーゼの製作法を説明できる。 5. 内部彩色と外部彩色の違いを説明し、エピテーゼ用シリコン材料に彩色する方法を説明できる。 6. まつ毛を植毛する方法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/17	13:50-16:40	第1実習室	個人トレーの製作	個人トレーの製作	大木 明子	到達目標:1,2 実習作品の提出
4-7	1/18	12:50-16:40	第1実習室	義眼の製作	義眼の製作	大木 明子	到達目標:1-3 筆とアクリル絵の具が必要、実習作品の提出
8-11	1/19	12:50-16:40	第1実習室	義眼の製作、ワックスパターンの製作	義眼の製作、エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1-4
12-14	1/24	13:50-16:40	第1実習室	ワックスパターンの製作	エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,4
15-18	1/26	12:50-16:40	第1実習室	ワックスパターンの製作、埋没	エピテーゼワックスパターンの製作、埋没準備	大木 明子	到達目標:1,4 針など先が細いものが必要
19-21	1/31	13:50-16:40	第1実習室	ワックスパターンの埋没	エピテーゼワックスパターンの埋没	大木 明子	到達目標:1,4
22-24	2/2	13:50-16:40	第1実習室	流ろう、内部彩色、シリコン重合	流ろう、内部彩色、シリコン填入、重合(練習)	大木 明子	到達目標:1,4-5
25-27	2/7	13:50-16:40	第1実習室	内部彩色、シリコン重合、割り出し	内部彩色、シリコン填入、重合、割り出し、形態修正	大木 明子	到達目標:1,4-5 スパチュラと筆が必要
28-30	2/9	13:50-16:40	第1実習室	外部彩色、まつ毛付与、エピテーゼ完成	外部彩色、まつ毛付与、義眼研磨	大木 明子	到達目標:1,4-6 まつ毛を準備して持参、実習作品の提出
授業方法 実習、反転授業 顔面欠損患者に用いられる個人トレー、義眼、顔面補綴装置(エピテーゼ)の製作実習 事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。							

<p>事前に用意しておくものが提示されるので購入して持参すること。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は実習で製作するプロダクトによって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピテーゼ用個人トレー(柄、トレー形態、辺縁部、全体:計20点) ・義眼(虹彩、強膜、形態、研磨状態:計20点) ・ワックスパターン(形態、表面:計10点) ・完成エピテーゼ(表面、裏面、内部彩色、植毛、全体:計50点)について段階的に評価し、合計点数を成績とする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で製作した作品で評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>参考書</p> <p>顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編 大山、喬史、1939-、谷口、尚、1952-、医学情報社、2006 Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011 Fundamentals of Facial Prosthetics／R. E. McKinstry: ABI Professional Publications, 1995</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。</p> <p>ステップごとにチェックを行います。</p> <p>義眼の製作において、筆を購入、準備しておくのが望ましい。</p> <p>まつ毛に関して、つけまつ毛等を各自購入、準備しておくこと。</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、時間が足りないということから、昨年度より新カリキュラムに移行し、新実習科目として独立、30時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を更新しています。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023563						
科目名	臨床義歯管理工学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 2号館第2講義室 2号館第1実習室、CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等 歯科医療チームの一員として臨床や訪問歯科診療同行に必要な基本的な医療管理(標準予防策、義歯管理、データ管理)、特に義歯の日常的管理や修理、複製の学理と技法を修得する。							
授業の到達目標 1. 生体のモニタリング(血圧、脈拍、血中酸素飽和度など)、バイタルサインについて理解し、医療面接について説明する。 2. 標準予防策について説明する。 3. 口腔の加齢と老化の違いを説明し、加齢による口腔内環境の変化に対して行う、義歯の複製、修理、リライン、ティッシュコンディショニング、義歯安定剤について説明する。 4. デンチャープラークについて説明し、汚れた義歯の弊害を知る。 5. 夜間の義歯装着の影響とナイトガードについて説明し、義歯の管理ができる。 6. 義歯の清掃法(機械的洗浄、化学的洗浄)を説明し、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、洗口液、薬液の注意点を列挙、義歯を清掃できる。 7. 義歯の着脱法について説明する。 8. 複製義歯の役割を説明し、複製義歯を製作する。 9. 義歯の修理法を説明し、義歯を修理する。 10. 災害時の歯科医療について理解し、義歯の刻印の意義を説明し、義歯に名前を入れる。 11. 訪問診療時で用いる器材を列挙し、実際に使用して義歯を調整する体験を行う。 12. 歯科におけるデジタルデータについて列挙し、デジタル情報の管理、暗号化について説明する。 13. 顔や口腔内写真、義歯の写真の撮影法を説明し、顔、口腔内、義歯の写真を撮影する体験を行う。 14. 模型のスキャン、義歯のスキャン、データの編集管理ができる。 15. 人工歯選択や義歯床色選択について説明し、シェードテイキングを行い、写真撮影する。 16. 口腔内スキャナーを用いた口腔内情報の取得を、マネキンを用いて体験する。 17. 歯科医療情報データベースの構築について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/7	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	医療従事者として高齢者と接するために 口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化	生体のモニタリング、血圧、脈拍、顔貌の観察、医療面接、問診票、標準予防策 口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化	大木 明子	到達目標:1-3、8 Zoom 事前にプレテストを実施すること。
3-4	10/19	10:00-11:50	第1実習室	生体のモニタリング、義歯の着脱(実習)	バイタルチェック、モニタリング(血圧、脈拍、顔貌の観察等)、義歯着脱時の注意点 (義歯の着脱)	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標:1-2、7 実習レポートの提出
5-6	10/28	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	義歯の管理、デンチャープラークコントロール、ナイトガード	デンチャープラークの弊害、夜間用義歯、ナイトガード、義歯の清掃法、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、義歯安定剤	大木 明子、 鈴木 哲也	到達目標:3-6 Zoom
7-8	11/2	10:00-11:50	第1実習室	義歯の管理(義歯安定)	義歯の管理、義歯の清掃法、口腔	大木 明子、	到達目標:1-2、

			室	剤、口腔保湿剤、義歯洗浄剤、義歯の清掃、口腔健康管理(実習)	健康管理	塩沢 真穂	4、6 ペンライトまたは懐中電灯、手鏡を持参すること。実習レポートの提出
9-10	11/11	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	災害時歯科医療、訪問診療の環境・機材 義歯の複製	災害時歯科医療、訪問歯科診療の機材 複製義歯の役割	大木 明子	到達目標:3、8、10-11 Zoom
11-13	12/7	13:50-16:40	第1実習室	複製義歯の製作(実習)	義歯の複製	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:8、11 実習作品の提出
14-15	12/9	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	義歯修理、リライン、義歯の情報、刻印	義歯の修理、ティッシュコンディショナー、リライン、義歯の情報、刻印	大木 明子	到達目標:9-11 Zoom
16-19	12/14	12:50-16:40	第1実習室	義歯修理(実習) 義歯の名入れ実習	義歯の修理(訪問歯科診療機器を使用)、義歯の刻印	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標: 9-11 実習作品の提出
20-21	1/20	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	デジタル情報の管理、顔面、口腔内情報の管理	デジタル情報の管理、顔面、口腔内情報	大木 明子	到達目標:12-17 Zoom
22-23	1/25	10:00-11:50	第1実習室	顔面、口腔内情報の採取(実習)	口腔内写真、シェードテイキング、人工歯選択、義歯床の色選択、義歯の写真	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標: 12,16-17 手鏡を持参すること(データ保存のためのPC等持参)。データの保存
24-25	1/27	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	暗号化、義歯のデジタルデータ保存、その他の歯科医療情報	暗号化、義歯のデジタルデータ保存、その他の歯科医療情報、X線画像、CT画像、電子カルテ	大木 明子	到達目標:12-13 Zoom
26-28	2/1	13:50-16:40	CAD/CAM演習室 第1実習室	デジタルデータ保存(スキャン実習)	義歯のスキャン実習、口腔内スキャン(スキャン、編集、保存)	大木 明子、青木 秀馬	到達目標:13-15 スキャンデータの保存。USBメモリーを準備 最初に第1実習室に集合すること
29-30	2/10	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	歯科医療情報データベースの構築(演習)	各自の画像情報をファイルにまとめて発表、討論	大木 明子	到達目標:12-17 Zoom データのまとめ提出、発表資料の提出、ポストテスト

授業方法

講義、実習、演習

講義は遠隔授業(同期型)で、実習は対面実習で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

授業内容

成績評価の方法

評価は提出作品、課題プロダクトおよび期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

<ul style="list-style-type: none"> ・実習製作物(複製義歯、義歯修理・刻印、各 10 点)、デジタルデータベースの作成(10 点)、筆記試験(70 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 80 点と実習製作作品 2 種の評価:各種 10 点ずつ合計 20 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。デモビデオを必ず視聴してから実習にのぞむこと。データの保存に際して USB メモリーを準備すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書</p> <p>義歯ケア事典：らくらくお口のケア：義歯ケアマイスター認定テキスト／日本義歯ケア学会編 日本義歯ケア学会、浜田、泰三、水口、俊介、永末書店、2018</p>
<p>参考書</p> <p>複製義歯：慣れた義歯こそ高齢者の求める義歯／濱田泰三、市川哲雄著、浜田、泰三、市川、哲雄、永末書店、2017</p> <p>複製義歯を応用した咬座印象法による総義歯の臨床／矢崎秀昭 著、矢崎、秀昭、1942-、医歯薬出版、2004</p> <p>すぐに知りたい!口腔内規格写真クイック Q&A／片山章子 執筆、片山達治 監修、片山、章子、片山、達治、デンタルダイヤモンド社、2017</p> <p>デンタルハイジーン別冊 どうして? どうする? 診療室からはじまる高齢者歯科／戸原玄、医歯薬出版、2020</p> <p>災害歯科医学／槻木恵一、中久木康一編、槻木、恵一、中久木、康一、足立、了平、飯田、良平、大平、寛、医歯薬出版、2018</p> <p>義歯安定剤／浜田泰三[ほか]著、浜田、泰三、村田、比呂司、夕田、貞之、玉本、光弘、貞森、紳丞、デンタルダイヤモンド社、2003</p>
<p>他科目との関連</p> <p>高齢者歯科工学、臨床実習 I と一部連動しています。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>実習:各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。</p> <p>ステップごとにチェックを行います。</p> <p>昨年度のアンケート結果より、理解しやすいよう、講義のあとにできるだけすぐ実習となるように日程変更を行いました。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p> <p>塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023544A			科目ID	DE-354400-E																																																																																										
科目名	歯冠修復工学応用実習			科目ID	DE-354400-E																																																																																										
担当教員	池田 正臣, 土田 優美[KEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi]																																																																																														
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1																																																																																										
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																														
時間数: 30 時間 授業形態: 実習																																																																																															
主な講義場所 2号館第1実習室 2号館総合実習室 2号館重合鑄造室 2号館硬質レジン実習室 2号館 CAD/CAM 演習室																																																																																															
授業の目的、概要等 架工義歯に関する知識及び技術について修得する。																																																																																															
授業の到達目標 1. 適合精度の高いワックスパターンを説明できる。 2. 歯列に合わせた歯冠外形回復を説明できる。 3. ポンティックの基底面形態回復説明できる。 4. ポンティックの窓開を説明できる。 5. ブリッジを埋没・鑄造を説明できる。 6. 鑄造体と支台歯との適合を説明できる。 7. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を説明できる。 8. 鏡面研磨を説明できる。																																																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/7</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのワックスアップ1</td> <td>支台歯のワックスアップ</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1-3</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>4/7</td> <td>12:50-15:40</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのワックスアップ1</td> <td>支台歯のワックスアップ</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1-3</td> </tr> <tr> <td>6-9</td> <td>4/14</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのワックスアップ2</td> <td>支台歯のワックスアップ</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1-3</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>4/15</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのワックスアップ3</td> <td>支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1-3</td> </tr> <tr> <td>12-15</td> <td>4/21</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのワックスアップ4</td> <td>ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 1-4</td> </tr> <tr> <td>16-17</td> <td>4/27</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造</td> <td>スプルーイング、埋没、鑄造</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 5</td> </tr> <tr> <td>18-21</td> <td>4/27</td> <td>12:50-16:40</td> <td>第1実習室</td> <td>ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造</td> <td>スプルーイング、埋没、鑄造</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 5</td> </tr> <tr> <td>22-26</td> <td>4/28</td> <td>12:50-17:40</td> <td>第1実習室</td> <td>メタルブリッジの調整 1</td> <td>適合確認、内面調整</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 6</td> </tr> <tr> <td>27-28</td> <td>5/6</td> <td>10:00-11:50</td> <td>第1実習室</td> <td>メタルブリッジの調整 2</td> <td>隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整 最終研磨、完成</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 7,8</td> </tr> <tr> <td>29-30</td> <td>5/6</td> <td>12:50-14:40</td> <td>第1実習室</td> <td>メタルブリッジの調整 2</td> <td>隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整</td> <td>池田 正臣 土田 優美</td> <td>到達目標 7,8</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	4/7	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3	3-5	4/7	12:50-15:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3	6-9	4/14	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ2	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3	10-11	4/15	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ3	支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3	12-15	4/21	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ4	ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-4	16-17	4/27	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造	スプルーイング、埋没、鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5	18-21	4/27	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造	スプルーイング、埋没、鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5	22-26	4/28	12:50-17:40	第1実習室	メタルブリッジの調整 1	適合確認、内面調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6	27-28	5/6	10:00-11:50	第1実習室	メタルブリッジの調整 2	隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整 最終研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 7,8	29-30	5/6	12:50-14:40	第1実習室	メタルブリッジの調整 2	隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 7,8
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																								
1-2	4/7	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3																																																																																								
3-5	4/7	12:50-15:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3																																																																																								
6-9	4/14	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ2	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3																																																																																								
10-11	4/15	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ3	支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3																																																																																								
12-15	4/21	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのワックスアップ4	ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-4																																																																																								
16-17	4/27	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造	スプルーイング、埋没、鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5																																																																																								
18-21	4/27	12:50-16:40	第1実習室	ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造	スプルーイング、埋没、鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5																																																																																								
22-26	4/28	12:50-17:40	第1実習室	メタルブリッジの調整 1	適合確認、内面調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6																																																																																								
27-28	5/6	10:00-11:50	第1実習室	メタルブリッジの調整 2	隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整 最終研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 7,8																																																																																								
29-30	5/6	12:50-14:40	第1実習室	メタルブリッジの調整 2	隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 7,8																																																																																								

授業方法 実習
成績評価の方法 ・製作物(ブリッジ 90 点)、出席状況(10 点)を総合的に評価する。 ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。
成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う ・60%以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017
参考書 クラウンブリッジ補綴学 / 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷 博文, 1954-, 三浦 宏之, 細川 隆司, 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21 / 田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集, 田上 順次, 阿南 壽, 奈良 陽一郎, 山本 一世, 斎藤 隆史, 永末書店, 2017
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023545			科目ID	DE-354500-L		
科目名	審美修復工学			科目ID	DE-354500-L		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業、2号館3階CAD/CAM演習室、4階第1実習室							
授業の目的、概要等 歯科用陶材を応用した審美修復物、特に陶材焼付金属冠およびオールセラミックスクラウンの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。							
授業の到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. クラウン・ブリッジの具備すべき要件を説明できる。 2. 陶材焼付金属冠の特徴を説明できる。 3. 陶材と金属の結合について説明できる。 4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。 5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明できる。 6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明できる。 7. 歯科用CAD/CAMを用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明できる。 8. 歯科用陶材の種類および特徴について説明できる。 9. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明できる。 10. ジルコニアの理工学的特徴を説明できる。 11. プレスセラミックについて説明できる。 12. 天然歯の光学的特徴について説明できる。 13. シェードテイキングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明できる。 14. 歯科に应用されているCAD/CAMシステムの特徴を説明できる。 15. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。 16. 模型と生体との違いを説明できる。 17. ブリッジの特徴を説明できる。 18. 支台歯と支台築造、マージン形態について説明できる。 19. 各種審美歯冠修復とその特徴について説明できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と間接法	歯の変位と間接法、支台築造	駒田 亘	到達目標:15,16 Web 講義 終了後に小テストを実施すること
3-4	4/20	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	支台歯とマージン形態	歯冠修復における支台歯形態とマージン形態	駒田 亘	到達目標:18 Web 講義 終了後に小テストを実施すること
5-6	4/22	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	ブリッジ	ブリッジの構造、支台歯形成と印象	駒田 亘	到達目標:17 Web 講義 終了後に小テストを実施すること
7-8	5/13	10:00-11:50	遠隔授業	審美歯冠修復	レジン前装と陶材前装による補	駒田 亘	到達目標:19

			(非同期型)		綴、CAD/CAM 冠とオールセラミック冠		Web 講義 終了後に小テストを実施すること
9-10	5/27	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯科用陶材 1	歯科用陶材の種類、組成と性質 陶材焼付金属冠の特徴、製作法 築盛用陶材の種類と製作法	上條 真吾	到達目標:1-6,8,9 Web 講義 終了後に小テストを実施すること
11-12	6/10	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室	CAD/CAM 演習	CAD データ、NC データ作成	上條 真吾	到達目標:7,14
13	6/17	10:00-10:50	第1実習室	シェードテイキング演習	口腔内撮影、シェードテイキング法	上條 真吾	到達目標:13
14-15	6/24	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯科用陶材 2 天然歯の色とシェードの基礎	オールセラミッククラウンの特徴 天然歯の光学的要素と色 シェードテイク	上條 真吾	到達目標:6-14 Web 講義 終了後に小テストを実施すること

授業方法

講義および演習

遠隔授業(非同期型)のほかにシェードテイキング演習、CAD 演習があります。

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。実習前に動画資料を視聴して予習しておくこと。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・期末試験(100点)で総合的評価を行う。
- ・期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会:医歯薬出版,2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦,宮崎隆 編,末瀬一彦,1951-宮崎,隆,1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会:医歯薬出版,2017

スタンダード歯科理工学:生体材料と歯科材料/中島裕 [[ほか]] 編集(幹事)・執筆;石川邦夫 [[ほか]] 編集・執筆;赤坂司 [[ほか]] 執筆,中島,裕,宮崎,隆,米山,隆之,石川,邦夫,赤坂,司.:学建書院,2019

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー/日本歯科 CAD CAM 学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦,宮崎隆 編:医歯薬出版,2012
メタルセラミックス築盛の基礎:カラーアトラス/山本真 著:クインテッセンス出版,1989

ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版, 1982
・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008
・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、学習の理解が高まるよう審美歯科工学実習の時期に合わせて時間割を作成することで内容を改善している。

遠隔授業のほかに演習があります。

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先

上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

駒田 亘 講師 メールにて日時を相談 w.komada.fpro@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上條 真吾メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023546A			科目ID	DE-354600-E		
科目名	審美修復工学実習			科目ID	DE-354600-E		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 120 時間							
主な講義場所 2号館4階第1実習室、ポーセレン室、総合実習室、2号館3階CAD/CAM演習室							
授業の目的、概要等 審美歯冠修復に用いられるセラミックスクラウンのフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、陶材築盛作業および形態修正の基礎技術を習得する。							
授業の到達目標 1. 審美歯冠修復に関する概要を説明できる。 2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型を製作できる。 3. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復できる。 4. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けできる。 5. 変形がない精密なワックスパターンを採得できる。 6. 歯科用CAD/CAMを使用し、咬合に配慮した理想的な歯冠形態を設計し切削加工できる。 7. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用CAMの特性を説明できる。 8. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合できる。 9. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成できる。 10. シェードガイドの仕組みを理解して、口腔内で正確なシェードマッチングできる。 11. 光学式測色器の特徴を理解して、口腔内測色できる。 12. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を理解し実践できる。 13. 複数の陶材を混ぜることなく積層できる。 14. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現できる。 15. ステインによる色調表現法を理解し、実践できる。 16. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現できる。 17. 支台歯への適合を確認し、隣接および咬合接触点を調整して研磨できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	5/2	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	審美修復実習の概要 作業用模型製作 1	実習内容説明、トリミング、ダウエルピン植立、2次石膏、3次石膏	上條 真吾	到達目標:1,2
5-6	5/11	10:00-11:50	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 2	スプリットキャスト付与、歯型分割	上條 真吾	到達目標:2
7-10	5/11	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 2	スプリットキャスト付与、歯型分割	上條 真吾	到達目標:2
11-12	5/19	10:00-11:50	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 3	咬合器装着、マージントリミング、 ガム模型製作	上條 真吾	到達目標:2
13	5/19	12:50-13:40	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 3	咬合器装着、マージントリミング、 ガム模型製作	上條 真吾	到達目標:2
14-15	5/20	10:00-11:50	第1実習室	ワックスアップ 1	上顎中切歯（歯冠回復）下顎大	上條 真吾	到達目標:3

			室 総合 実習室		臼歯（歯冠回復）		
16-19	5/20	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 1	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大 臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3
20-21	6/1	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 2	上顎中切歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3
22-25	6/1	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 2	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大 臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3
26-27	6/2	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 3	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大 臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3
28	6/2	12:50-13:40	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 3	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大 臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3
29-30	6/3	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 4	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3-5
31-34	6/3	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 4	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3-5
35-36	6/8	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 5	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3-5
37-40	6/8	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 5	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3-5
41-44	6/10	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第1実習 室 総合 実習室	歯科用 CAD/CAM 1	上顎中切歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリ ング	上條 真吾	到達目標:6.7
45-46	6/15	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習 室 総合 実習室	歯科用 CAD/CAM 2	下顎大臼歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリ ング	上條 真吾	到達目標:6.7
47-50	6/15	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第1実習 室 総合 実習室	歯科用 CAD/CAM 2	下顎大臼歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリ ング	上條 真吾	到達目標:6.7
51	6/17	11:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	調整 1	上顎中切歯 適合調整 下顎大臼 歯 適合調整	上條 真吾	到達目標:8.9
52-55	6/17	12:50-16:40	第1実習 室 総合	調整 1	上顎中切歯 適合調整 下顎大臼 歯 適合調整	上條 真吾	到達目標:8.9

			実習室				
56-59	6/20	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	調整 2	上顎中切歯 適合、フレーム調整 下顎大臼歯 適合、フレーム調整	上條 真吾	到達目標:8,9
60-61	6/22	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	シェードマッチング 口腔内撮影	シェードガイドの使用法、クリスタルアイ、口腔内カメラ撮影方法	上條 真吾	到達目標:10,11
62-65	6/22	12:50-16:40	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	シェードマッチング 口腔内撮影	シェードガイドの使用法、クリスタルアイ、口腔内カメラ撮影方法	上條 真吾	到達目標:10,11
66-69	6/27	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	調整 3	上顎中切歯 フレーム調整 下顎大臼歯 フレーム調整	上條 真吾	到達目標:8,9
70-71	6/29	10:00-11:50	第1実習室 総合実習室	築盛練習 1	築盛練習 色調表現練習	上條 真吾	到達目標:12-15
72-75	6/29	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	築盛練習 1	築盛練習 色調表現練習	上條 真吾	到達目標:12-15
76-77	7/1	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	築盛練習 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 歯冠回復、カットバック練習	上條 真吾	到達目標:12-15
78-81	7/1	12:50-16:40	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	築盛練習 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 歯冠回復、カットバック練習	上條 真吾	到達目標:12-15
82-85	7/4	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	築盛練習 3	上顎中切歯、下顎大臼歯 歯冠回復、カットバック練習	上條 真吾	到達目標:12-15
86-87	7/6	10:00-11:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 シェードベース築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
88-91	7/6	12:50-16:40	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 シェードベース築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
92-93	7/7	10:00-11:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 内部ステイン築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
94	7/7	12:50-13:40	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 内部ステイン築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
95-96	7/8	10:00-11:50	第1実習室	陶材築盛・焼成 3	上顎中切歯、下顎大臼歯	上條 真吾	到達目標:12-15

			室 総合 実習室				
97-10 0	7/8	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛・焼成 3	上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
101-1 04	7/11	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛・焼成 4	上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15
105-1 06	7/13	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	形態修正 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 咬合 調整、形態修正	上條 真吾	
107-1 10	7/13	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	形態修正 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 咬合 調整、形態修正	上條 真吾	到達目標:12-15
111-1 12	7/20	10:00-11:50		形態修正 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 形態修 正、ステイン		到達目標:12-15
113-1 16	7/20	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	形態修正 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 形態修 正、ステイン	上條 真吾	到達目標:12-15
117-1 20	7/25	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	形態修正 3 艶出し、 完成	上顎中切歯、下顎大臼歯 形態修 正、ステイン、グレーズ、機械研磨	上條 真吾	到達目標:12-15 実習作品の提出

授業方法

実習

上顎中切歯、下顎大臼歯の審美修復補綴装置の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

上顎中切歯(適合、形態、研磨状態、色調:計40点)

下顎大臼歯(適合、形態(咬合)、研磨状態、色調:計40点)

WaxUp20点

について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

・実習で製作した作品で評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。

・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4分の3以上の出席を基本とする。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版, 2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版, 2017

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー/日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編: 医歯薬出版, 2012
メタルセラミックス築盛の基礎: カラーアトラス/山本真 著:クインテッセンス出版, 1989

<p>ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版, 1982</p> <p>・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎 隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008</p> <p>・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023547A						
科目名	CAD/CAM システム工学実習			科目ID			
担当教員	土田 優美, 上條 真吾, 池田 正臣[TSUCHIDA Yuumi, KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: CAD/CAM システム工学実習 時間数: 45 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室、遠隔授業(非同同期型)							
授業の目的、概要等 CAD/CAM 機器を用いた歯科補綴装置製作に関する知識及び技術を修得する。							
授業の到達目標 1. 歯科技工用スキャナで歯列模型をスキャンできる。 2. 口腔内スキャナで歯列をスキャンできる。 3. CAD ソフトウェアを用いてクラウン、ブリッジ、前装冠フレーム、術前暫間被覆冠の設計ができる。 4. CAD ソフトウェアを用いてデンチャーやパーシャルフレームを設計できる。 5. 加工データの作成とミリングマシンの操作ができる。 6. 造形データの作成と 3D プリンタの操作ができる。 7. ハンディタイプ 3D スキャナを用いて顔面をスキャンできる。 8. ハプティックデバイスを用いて 3D モデリングができる。 9. 各種 CAD/CAM 機器の相違を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	松風 D2000	基本的なクラウン・ブリッジの設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:3
3-4	4/18	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	松風 D2000	基本的なデンチャーフレームの設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:4
5-6	4/25	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	歯科技工用スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1 合同実習
7-8	5/2	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	口腔内スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:2 合同実習
9-10	5/9	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計1	クラウン設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:3 合同実習
11-12	5/16	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計2	前装冠、術前 TEK 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:3 合同実習
13-14	5/23	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計3	ブリッジ、インレー 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:3 合同実習
15-16	5/30	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	切削加工	CAM ソフトウェアの操作、CAD/CAM 冠の切削加工	土田 優美 上條 真吾	到達目標:5 合同実習

						池田 正臣	
17-18	6/6	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	デンチャーフレーム設 計1	上顎デンチャーフレーム設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:4 合同 実習
19-20	6/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形1	液槽光造形装置を用いたキャスト パターンの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:6 合同 実習
21-22	6/20	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナによるフェ イススキャン	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:7 合同 実習
23-24	6/21	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	CAD/CAM 技工技術	CAD/CAM 器材の相違と将来性	樋口 鎮央	到達目標:9
25-26	6/27	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 1	ハプティックデバイスによるフェイ ススキャンデータの成形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:8
27-28	6/28	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	CAD/CAM 技工技術	CAD/CAM 器材の相違と将来性 (レポート作成)	土田 優美	到達目標:9 終了 後に課題レポート を提出
29-30	7/4	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 2	オキュラーディスク設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:8 合同 実習
31-32	7/5	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	全部床義歯排列	DENTCA アカデミーでの全部床義 歯排列	土田 優美 上條 真吾	到達目標:4
33-34	7/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形1	インクジェット方式三次元積層造 形機を用いたオキュラーボタンの 造形、石膏粉末積層造形機を用い たフェイスモデルの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:6 合同 実習
35-36	7/12	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	全部床義歯排列	DENTCA アカデミーでの全部床義 歯排列	土田 優美 上條 真吾	到達目標:4
37-38	7/19	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	企業見学準備	見学前調査・レポート作成	土田 優美 上條 真吾	到達目標:6 終了 後にレポートを提 出
39-40	7/25	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	提出課題仕上げ	提出課題仕上げ	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-8
41-45	7/26	12:50-17:40	CAD/CA M 演習室	企業見学	積層造形と三次元形状測定機器 のショールーム見学	土田 優美 上條 真吾	到達目標:3 終了 後にレポートを提 出

授業方法

実習・講義

CAD/CAM システムを用いたクラウン・ブリッジ、パーシャルデンチャーフレーム、フェイスモデル、オキュラーボタン等の作品の製作あるいは設計データ作成実習。

27～28 回は非同期型の授業を行う。講義後にレポート課題が課されるため、期限までに提出すること。

41～45 回は企業見学を行う。事前・事後課題が課されるため、期限までに提出すること。

遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。

<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出作品およびレポート課題によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウン・ブリッジ系 計 50 点、パーシャルデンチャーフレーム 20 点、フェイスモデル 5 点、オキュラーボタン 5 点、全部床義歯排列 5 点 合計 85 点 ・レポート 3 課題 合計 15 点 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 85 点、レポート 3 課題 合計 15 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>教科書</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017</p>
<p>備考</p> <p>工学専攻 4 年生との合同実習</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp 池田 正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp 上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>土田 優美:メールにて面談の日程を調整すること 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023548A			科目ID	DE-354800-E		
科目名	インプラント工学実習			科目ID	DE-354800-E		
担当教員	池田 正臣[KEDA MASAOMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 60 時間							
主な講義場所 遠隔授業、2号館4階第1実習室、第4実習室、ポーセレン室、総合実習室、2号館3階CAD/CAM演習室							
授業の目的、概要等 口腔インプラント治療について理解し、インプラント補綴装置製作の基本的な技術力を養う。歯科用CAD/CAMシステムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行う。							
授業の到達目標 1. 口腔インプラント治療の流れを説明できる。 2. 口腔インプラントの上部構造の製作法を説明できる。 3. インプラント用個人トレーの製作法を説明できる。 4. インプラント修復物製作に必要な作業模型の精度を説明できる。 5. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明できる。 6. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を説明できる。 7. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントの設計を説明できる。 8. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計およびカットバック法を説明できる。 9. 歯科用CADシステムを用いてダブルスキャンによるコーピングの設計を説明できる。 10. 歯科用CADシステムを用いてアバットメントの設計を説明できる。 11. ジルコニアコーピングとカスタムアバットメントに必要な適合精度を説明できる。 12. 修復物の最終歯冠形態をイメージして陶材の築盛方法を説明できる。 13. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/6	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント1	口腔インプラント概論 診察・検査と診断、治療計画の立案	立川 敬子、 池田 正臣、 下岸 将博	到達目標:1,2
3-4	4/13	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント2	インプラント外科 インプラント補綴	池田 正臣、 今 一裕、立 川 敬子	到達目標:1,2
5-6	4/20	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント3	デジタルワークフロー メインテナンス	池田 正臣、 下岸 将博、 今 一裕	到達目標:1,2
7-9	5/6	14:50-17:40	第1実習室 総合実習室	CADアバットメントデザイン	CAD/CAMシステムを活用したアバットメント、上部構造の設計	池田 正臣、 上條 真吾	到達目標:7
10-14	5/12	12:50-17:40	第1実習室 総合実習室	インプラント用個人トレーの製作	オープントレーの製作、シリコーン印象への石膏注入	池田 正臣、 林 政利	到達目標:3 実習作品の提出
15-18	5/19	13:50-17:40	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏操作	池田 正臣、 林 政利	到達目標:4
19-23	5/26	12:50-17:40	第1実習室	作業用模型製作、咬合	三次石膏操作、咬合器装着、歯型	池田 正臣	到達目標:4-8

			室 総合 実習室	器装着、歯冠回復	分割、歯冠回復	林 政利	
24-27	6/2	13:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	カスタムアバットメント形 成	カスタムアバットメントのワックス アップ	池田 正臣 林 政利	到達目標:5-8
28-32	6/16	12:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	上部構造体フレーム形 成	ジルコニアアバットメント上での歯 冠回復、窓開け	池田 正臣 林 政利	到達目標:5,6,8
33-37	6/23	12:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	CAD/CAM 操作、ミリン グ、シタリング	CAD/CAM システムによるスキヤ ニング、ディスク削り出し、シタ リング	池田 正臣 上條 真吾	到達目標:9
38-41	6/30	13:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	ジルコニアフレーム調 整	ジルコニアアバットメントへの適合 確認・調整、フレーム形状の調整・ 研磨	池田 正臣 上條 真吾	到達目標:10
42-45	7/7	13:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛 1 GC コー ポレートセンター陶材築 盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル 築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾	到達目標:11-13
46-50	7/14	12:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛 2 GC コー ポレートセンター陶材築 盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル 築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾	到達目標:11-13
51-54	7/21	13:50-17:40	第1実習 室 総合 実習室	形態修正、艶出し・研磨 GC コーポレートセンタ ー陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル 築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾	到達目標:11-13 実習作品の提出
55-56	7/22	10:00-11:50	第1実習 室 総合 実習室	GC R&D Center 見学	GC R&D Center 見学	池田 正臣 上條 真吾	
57-60	7/22	12:50-16:40	第1実習 室 総合 実習室	GC R&D Center 見学	GC R&D Center 見学	池田 正臣 上條 真吾	

授業方法

遠隔授業(同期型)、実習、見学実習

インプラント個人トレー、アバットメント CAD 実習、上部構造製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験)によって行う。

・インプラント用トレー(5点)、アバットメントCAD(5点)、上部構造40点、期末試験(50点)について段階的に評価し、合計点数を作品の成績とする。

・期末試験の配点は50点とするが、期末試験が60%未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験50点、提出プロダクト50点とし、合計100点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>教科書</p> <p>最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編：医歯薬出版，2017</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会，全国歯科技工士教育協議会 監修，末瀬一彦，宮崎隆 編，末瀬一彦，1951-，宮崎，隆，1953-，日本デジタル歯科学会，全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版，2017</p>
<p>参考書</p> <p>インプラント歯学の実際／Ashok Sethi・Thomas Kaus 著 瀬戸 皖一・佐藤 淳一訳：クインテッセンス出版，2006</p> <p>CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会，全国歯科技工士教育協議会 監修，末瀬一彦，宮崎隆 編：医歯薬出版，2012</p> <p>メタルセラミックス築盛の基礎：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1989</p> <p>ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1982</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工別冊「インプラントの技工」市川哲雄・渡邊文彦 編 医歯薬出版 2004 ・歯科技工別冊「メタルフリーレストレーションとCAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 医歯薬出版 2007
<p>履修上の注意事項</p> <p>WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。新カリキュラムより、15時間増加の60時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を導入しています。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>池田正臣 メールにて日程調整</p> <p>ikedacsoe@tmd.ac.jp</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>池田 正臣 ikedacsoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>池田 正臣メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023549A			科目ID	DE-354900-L		
科目名	小児歯科学			科目ID	DE-354900-L		
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:17時間 授業形態:講義 WebClassによる非同期型の講義とZoomによる同期型の講義							
主な講義場所							
講義はすべて遠隔授業(オンデマンドの非同期型授業と最終授業は同期型授業)							
授業の目的、概要等							
小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 障害者の口腔状況と補綴の実際を理解する。							
授業の到達目標							
1. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を説明できる。 2. 歯列咬合と顎・顔面頭蓋の成長過程を説明できる。 3. 小児歯科疾患と治療の概要を説明できる。 4. 小児歯科治療に用いる咬合誘導を概説できる。 5. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を説明できる。 6. 小児の情緒と社会性の発達を説明できる。 7. 摂食機能と言語機能の発達過程を理解できる。 8. 小児期歯科におけるチーム医療を説明できる。 9. 歯科治療時の小児の行動への対応法を説明できる。 10. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 11. 障害者理解を深めるとともに口腔の特徴について理解できる。 12. 障害者の歯科治療時における行動調整、口腔状況と補綴装置を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/3	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科学とは	小児歯科の特徴、意義	岩本 勉	到達目標:3,5,10
2	10/3	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の成長・発達1	全身の発育、器官の発育	岩本 勉	到達目標:5,6,10
3	10/3	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の成長・発達2	摂食嚥下、無歯期の特徴、顎間空隙、言語、情動、社会性	岩本 勉	到達目標:5,6,7,10
4	10/4	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	障害者歯科学概論	障害者・有病者の口腔内の特徴と歯科治療	楠本 康香	到達目標1~10
5	10/4	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者歯科学概論	障害者・有病者の口腔内の特徴と歯科治療	楠本 康香	到達目標1~10
6	10/17	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面の発育	骨の成長様式、顎の発育	岩本 勉	到達目標:2
7	10/17	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯の発育と異常	歯の発生、歯の発育、乳歯の形態、歯の発育異常	岩本 勉	到達目標1

8	10/17	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯列の発育と咬合の異常	歯列の形態、ヘルマンの咬合発育段階、生理的歯間空隙、ターミナルプレーンの定義と意義、切歯の交換	岩本 勉	到達目標:1,2
9	10/24	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	小児う蝕の特徴	齲蝕発症の要因、乳歯う蝕の特徴	岩本 勉	到達目標:1,3
10	10/24	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯冠修復、歯内療法	小児の歯冠修復、歯内療法	岩本 勉	到達目標:1,3
11	10/24	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯周疾患、軟組織疾患	小児の歯周疾患、軟組織疾患	岩本 勉	到達目標:1,3
12	10/31	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	咬合誘導概論	咬合誘導の目的、意義	岩本 勉	到達目標:3,4
13	10/31	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	保隙+動的咬合誘導	保隙装置の種類、克蘭ループ、バンドループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、可撤式保隙装置、スペースリテーナー、維持装置	岩本 勉	到達目標:3,4
14	10/31	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	口腔習癖と筋機能	口腔習癖、口腔習癖除去装置	岩本 勉	到達目標:3,4,6
15	11/7	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	歯の外傷	乳歯の外傷、永久歯の外傷、外傷の特徴と治療法	岩本 勉	到達目標3,4
16	11/7	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	小児への歯科的対応法	小児への対応法	岩本 勉	到達目標8,9,10
17	11/7	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	小児歯科学演習	ケース演習	岩本 勉	到達目標1~10

授業方法

WebClass による非同期型および一部同期型の講義

成績評価の方法

確認テスト(30点に換算)および期末試験(70点) 授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し可否を判定する。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。
- ・小テストの結果や授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
- ・期末テストが6割未満の場合は再試験とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の講義受講および聴講した講義の確認テスト参加をもってを試験の受験資格とする。
- ・遠隔授業(非同期型)を受講すること。
- ・確認テストを必ず行い、理解を各自確かめること。
- ・質問がある場合は、WebClass の掲示板を使って質問すること。

質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばし待つこと。

質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の参照すること。

参考書

小児歯科技工学 = Dental Technology for Pedodontic Appliances // 全国歯科技工士教育協議会 編集, 内川喜盛, 白瀬敏臣, 尾崎順男
著: 医歯薬出版, 2017

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスパワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023550A						
科目名	小児歯科工学実習	科目ID					
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:小児歯科工学 時間数:30時間 授業形態:実習							
主な講義場所 第1実習室							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 スペシャルニーズのある患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明できる。 2. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作できる。 3. スペシャルニーズのある患者について理解を深めるとともに、口腔状況と口腔内装置の実際を理解できる。 4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/14	12:50-16:40	第1実習室	クラウンループ	実習用模型咬合器装着 クラウンループ製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2
5-8	10/19	12:50-16:40	第1実習室	クラウンループ	クラウンループ製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2
9-10	10/25	10:00-11:50	外部病院等	学外施設見学	学外施設(ゆきわりそう)		到達目標:3
11-14	10/25	12:50-16:40	外部病院等	学外施設見学	学外施設(ゆきわりそう)		到達目標:3
15-18	10/26	12:50-16:40	第1実習室	可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2
19-22	11/2	12:50-16:40		可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2
23-26	11/9	12:50-16:40	第1実習室	小児矯正装置	小児矯正装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2
27-30	11/16	12:50-16:40	第1実習室	小児矯正装置	小児矯正装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 羽田 多麻木	到達標:1, 2 実習作品の提出
授業方法 実習 クラウンループ、可撤式保隙装置、小児矯正装置(スペースリグナー)の製作実習 事前に WebClass で提示されている資料を学習して予習しておくこと。 レポート課題が課されるため、期限までに提出すること。							

<p>授業内容</p> <p>評価は提出作品およびレポート課題によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンループ、可撤式保険装置、小児矯正装置(スペースリゲーター) 各 25 点、計 75 点 ・遠隔授業による講義および演習、レポート提出 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的に評価に加味する。
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出作品およびレポート課題によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンループ、可撤式保険装置、小児矯正装置(スペースリゲーター) 各 25 点、計 75 点 ・遠隔授業による講義および演習、レポート提出 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的に評価に加味する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 75 点、レポート課題 25 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>参考書</p> <p>小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会編；内川喜盛、白瀬敏臣、尾崎順男著、全国歯科技工士教育協議会、内川、喜盛、白瀬、敏臣、尾崎、順男、: 医歯薬出版、2017</p> <p>小児歯科／大嶋隆ほか著、大嶋、隆、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版、2009</p> <p>障害者歯科／向井美恵ほか著、向井、美恵、: 医歯薬出版、2013</p> <p>スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科／日本障害者歯科学会 編集、日本障害者歯科学会、: 医歯薬出版、2017</p>
<p>備考</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>口腔デジタルプロセス学分野</p> <p>准教授 岩城麻衣子 mi.wakigerd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023551A			科目ID	DE-355100-L		
科目名	矯正歯科工学			科目ID	DE-355100-L		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:矯正歯科工学 時間数:30時間 授業形態:講義、実習							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型) 7号館講義棟 5階ノイシュタットジャパンルーム 第1実習室							
授業の目的、概要等 顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解できる。 2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解できる。 3. 矯正歯科の診断・治療法を概説できる。 4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 5. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。 7. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 8. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 9. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/5	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	矯正歯科工学序論、成長発育、正常咬合と不正咬合	歯科矯正学の歩み、不正咬合による障害と矯正歯科治療の意義、矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義、顎顔面頭蓋の成長発育、歯列・咬合の成長発育、正常咬合・不正咬合とその分類	石田 雄之	到達目標:1-6 終了後小テストを実施
4-6	4/12	13:50-16:40	5F 示説室 ノイシュタットジャパンルーム	矯正技工基本的手技 1-3 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング		到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の時限(13:50~16:40)・担当教員で実施
7-8	4/15	13:50-15:40	5F 示説室 ノイシュタットジャパンルーム	矯正技工基本的手技 4-5 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング、自在鑄着		到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の時限(13:50~15:40)・担当教員で実施
9-11	5/10	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	不正咬合の原因・予防と生物学的背景、矯正歯	不正咬合の原因と予防、矯正力に伴う生体反応、矯正歯科治療の流	石田 雄之	到達目標:2,3 終了後小テストを実

			型)	科治療の進め方	れと歯科技工の関わり、矯正用口腔模型、各種検査と症例分析(形態分析・機能分析)		施
12-14	5/17	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	矯正装置の必要条件と分類、矯正技工用器具と材料、各種固定式矯正装置の使用法、構成、製作法	矯正装置の必要条件、矯正装置の分類、矯正技工用器具と材料、線屈曲、自在ろう着、舌側弧線装置、顎間固定装置、リップハンパー、ナンスのホールディングアーチ、緩徐拡大装置、急速拡大装置	石田 雄之	到達目標:4-6 終了後小テストを実施
15-17	6/14	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	各種床矯正装置、保定装置の使用法、製作法、各種機能的装置の使用法、構成、製作法	咬合拳上板、咬合斜面板、床矯正装置、ホーレーの保定装置、トゥースポジションナー、ラップアラウンドリテーナー、犬歯間リテーナー、FSW リテーナー、アクチバートル、バイオネーター、ビムラーのアダプター、フレンケルの装置、アライナー矯正装置、CAD/CAMの応用	石田 雄之	到達目標:5 終了後小テストを実施
18-20	6/21	12:50-15:40	第1実習室	矯正用口腔模型・作業模型作製舌側弧線装置製作1-2	印象採得、石膏注入(矯正用口腔模型、セットアップ・舌側弧線装置・保定装置・アライナー用作業模型作製) 舌側弧線装置:作業模型調整、外形線記入、ST ロック維持管鑑着、ST ロック脚部屈曲	石田 雄之	到達目標:5 実習 一部の実習は6/11の臨床咬合実習の際に事前実施予定
21-24	6/28	12:50-16:40	第1実習室	舌側弧線装置製作3 可撤式床保定装置製作1-2	舌側弧線装置:ST ロック脚部屈曲、主線屈曲、鑑着、仕上げ 可撤式床保定装置:外形線記入、外周線屈曲、即重レジン重合	石田 雄之	到達目標:5 実習
25-27	7/5	12:50-15:40	第1実習室	可撤式床保定装置製作3-4 アライナー矯正装置製作1	外周線屈曲、即重レジン重合、仕上げ・研磨 アライナー矯正装置:3次元的歯の移動計画立案、セットアップ排列	石田 雄之	到達目標:5 実習
28-30	7/12	12:50-15:40	第1実習室	アライナー矯正装置製作2-4 機能的矯正装置見学	アライナー矯正装置:セットアップ排列、加熱吸引圧接、切り出し、仕上げ、装着、レポート 構成咬合器等見学、まとめ	石田 雄之	到達目標:5 実習 実習作品の提出 レポート提出

授業方法

遠隔授業(非同期型)、実習

遠隔授業(非同期型)と矯正装置製作実習からなります。一部歯学科と合同実習を行います。

遠隔授業の課題をWebClassにて行い、提出すること。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

・提出作品は、実習の製作物(40点):内訳はワイヤーベンディング・自在鑑着・弾線屈曲(10点)、舌側弧線装置(リングルアーチ)(10点)、可撤式保定装置(リテーナー)(10点)、矯正用口腔模型・セットアップ・矯正歯科用アライナー(10点)の評価を行う。

・期末試験の配点は60点とするが、期末試験が6割未満の場合は、再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験60点、実習の製作作品を40点とし、合計100点満点で換算する。

<p>・授業態度など平常点を加味して総合的な評価を行い、この科目の評価とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会編；後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良著, 全国歯科技工士教育協議会, 後藤, 尚昭, 宇都宮, 宏充, 横山, 和良.; 医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編集後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良 著.; 医歯薬出版, 2017 歯科技工士のための実践矯正装置製作法／尾崎順男, 宇都宮宏充, 茂原宏美, 後藤尚昭 著.; クインテッセンス出版, 2007 チェアサイド・ラボサイドの新矯正装置ビジュアルガイド：患者さんに渡せる装置の説明リーフレット付／後藤滋巳 編者代表.; 医歯薬出版, 2015 矯正歯科技工・小児歯科技工：歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編.; 医歯薬出版, 2011 最新歯科矯正アトラス／井上直彦・鈴木祥井著.; 医歯薬出版, 1984 最新歯科矯正アトラス臨床編 I / 井上直彦著.; 医歯薬出版, 1982 歯科矯正学／飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 榎宏太郎, 山城隆 編集, 飯田, 順一郎, 葛西, 一貴, 1955-後藤, 滋巳, 1952-.; 医歯薬出版, 2019 Contemporary Orthodontics／6th Ed., W. R. Proffit 他著.; ELSEVIER MOSBY, 2019 歯科技工士国家試験問題集／全国歯科技工士教育協議会 編.; 医歯薬出版, 2019 新・要点チェック歯科技工士国家試験対策 6 矯正歯科技工学・小児歯科技工学／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編.; 医歯薬出版, 2020</p>
<p>備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 石田 雄之 yjis.orts@tmd.ac.jp 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023552						
科目名	再建工学包括臨床実習 I	科目ID	DE-375200-E				
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	3	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 180 時間							
主な講義場所							
2号館4階第1実習室、総合実習室、重合鋳造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM実習室、2号館3階CAD/CAM演習室、歯学部附属病院外来、遠隔授業(Zoom)							
授業の目的、概要等							
歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての倫理観を身につけられる。 2. 多職種との連携に必要な事項を列挙できる。 3. 臨床モデルによる歯科技工操作の留意点を説明できる。 4. 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術を習得できる。 5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解できる。 6. 歯科補綴装置の製作に必要な情報を取得し、整理できる。 7. 症例に応じた補綴デザインを選択できる。 8. 歯学附属病院の感染対策について説明できる。 9. 個人用防護具(PPE)を正しく着脱できる。 10. 医療安全について理解し、説明できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/11	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-3
3-4	10/13	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-3
5-6	10/18	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
7-8	10/20	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
9-10	11/1	10:00-11:50	CAD/CA M演習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子,	到達目標:3,4,6,7

			第1実習室 総合実習室			塩沢 真穂 宮安 杏奈	
11-12	11/8	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
13-14	11/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
15-16	11/10	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
17-18	11/15	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
19-20	11/16	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
21-22	11/17	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
23-25	11/21	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
26-28	11/21	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
29-31	11/22	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
32-34	11/22	12:50-15:40	CAD/CA	再建工学包括臨床実習	臨床実習に必要な基本的歯科	上條 真吾,	到達目標:3,4,6,7

			M演習室 第1実習室 総合 実習室	Phase I	技工技術の確認	岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	
35-37	11/24	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	感染対策、個人用防護具(PPE)実 習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:8,9,10
38-40	11/24	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	感染対策、個人用防護具(PPE)実 習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:8,9,10 事前に臨床咬合 学で実習したビデ オを確認しておく こと
41-43	11/25	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
44-46	11/25	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
47-49	11/28	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
50-52	11/28	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
53-55	11/29	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン
56-58	11/29	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン
59-61	11/30	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン

62-64	11/30	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
65-67	12/1	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
68-70	12/1	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
71-73	12/2	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
74-76	12/2	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
77-78	12/5	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
79-82	12/5	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
83-84	12/6	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション
85-86	12/7	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーション

87	12/7	12:50-13:40	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン
88-89	12/8	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン
90-91	12/12	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン 終了後、期限 までにレポート課 題等を提出するこ と
92-93	12/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
94-95	12/14	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
96-97	12/15	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
98-99	12/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
100-1 03	12/19	12:50-16:40	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
104-1 05	12/20	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
106-1 07	12/21	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7

			室 総合 実習室			宮安 杏奈	
108-1 11	12/21	12:50-16:40	第1実習 室 第3 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
112-1 13	12/22	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	OH 合同 模型製作実習	研究用模型製作実習	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4
114-1 15	1/10	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
116-1 17	1/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
118-1 20	1/11	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
121-1 22	1/12	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
123-1 24	1/16	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
125-1 28	1/16	12:50-16:40	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
129-1 30	1/17	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4,6.7
131	1/17	12:50-13:40	CAD/CA M 演習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子,	到達目標:3.4,6.7

			第1実習室 総合実習室			塩沢 真穂 宮安 杏奈	
132-1 33	1/18	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
134-1 35	1/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
136-1 37	1/23	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
138	1/23	12:50-13:40	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
139-1 40	1/24	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
141	1/24	12:50-13:40	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
142-1 45	1/25	12:50-16:40	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
146-1 47	1/26	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
148-1 49	1/30	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6.7
150	1/30	12:50-13:40	CAD/CA	再建工学包括臨床実習	臨床模型を使った歯科技工技術	上條 真吾	到達目標:3.4.6.7

			M演習室 第1実習室 総合 実習室	PhaseⅢ	の習得	岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	
151-1 52	1/31	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
153	1/31	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
154-1 55	2/1	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
156	2/1	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
157-1 58	2/2	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
159	2/2	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
160-1 61	2/3	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
162-1 65	2/3	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7
166-1 67	2/6	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂 宮安 杏奈	到達目標:3.4.6,7

168	2/6	12:50-13:40	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
169-1 70	2/7	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
171	2/7	12:50-13:40	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
172-1 73	2/8	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
174-1 77	2/8	12:50-16:40	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	到達目標:3,4,6,7
178-1 79	2/9	10:00-11:50	第1実習室			上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	
180	2/9	12:50-13:40	第1実習室			上條 真吾, 岩城 麻衣子, 塩沢 真穂, 宮安 杏奈	

授業方法

実習、演習

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。

・歯冠修復(40点)、有床義歯(40点)、各科ローテーションレポート(20点)で総括的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

・実習で製作した作品およびレポートで評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。

・小テスト、出席状況、実習態度を総括的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

・各科ローテーションでは歯学部附属病院の補綴系外来と歯科技工部で実習を行う。服装等に注意すること。不適切な服装・身だしなみの場合は実習を停止する。予定表やレポート書式に関しては WebClass にアップロードされるので確認すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4分の3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編, 末瀬一彦, 1951-宮崎, 隆, 1953-, 日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会.: 医歯薬出版, 2017

履修上の注意事項

・登院式の詳細は別に定める。 ・再建工学包括臨床実習 I Phase II の具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。 ・OHと合同模型製作実習があります。

備考

科目責任者のオフィスパワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

准教授 岩城麻衣子 mi.wakigerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023554A						
科目名	医療倫理	科目ID					
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:医療倫理 時間数:15時間 授業形態:講義・討論 必修 Zoomによる同期型の講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、講義、討論							
授業の目的、概要等 ・倫理学の視点から生命倫理の基礎を確認し、その上で、生命倫理が取り組んできた課題および現在直面している問題について理解する。 ・医療倫理、研究倫理、技術倫理や個人情報保護について理解する。							
授業の到達目標 1. 生命倫理について説明する。 2. 優生思想の基礎的な理解とその歴史を説明する。 3. 現代の生命倫理が抱える課題を理論的および歴史的視点から論じる。 4. 倫理審査について説明する。 5. 個人情報保護の必要性を説明する 6. 医療倫理を説明する。 7. 技術者倫理および情報倫理について理解し、実践的な対応力を身につける。 8. 社会の現状および企業の仕組みを理解し、社会及び企業との関係において、技術者としてのあり方を身につける。 9. 医療現場で働く他職種メンバーを尊重する姿勢を有する 10. 議論において必要な情報を共有し、協調し、また場合に応じてリーダーシップを発揮し、建設的な議論を促進する 11. 全人的視点を身につける							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理とは何か	生命倫理の理論的基礎づけ	藤井 達夫 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
2	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	優生思想とその歴史	優生思想と、医療と優生思想との 根深い関係	藤井 達夫 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
3	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	現代の生命倫理の諸課題	医療技術の急速な発展と新しい優 生思想による現代の生命倫理	藤井 達夫 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
4	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理、倫理審査等 に関する講義	倫理審査、研究倫理審査の必要性	藤井 達夫 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
5-6	5/10	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	個人情報保護、医療倫 理等に関する講義	個人情報保護、医療倫理等	吉田 雅幸 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
7-8	5/17	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	技術倫理の実践 技術 倫理の実践	匠を考える 技術者倫理と行動 技術者倫理活動の実例 職業倫 理の実際を考える	甲畑 宏子 岩城 麻衣子	到達目標:1-11
9-11	6/14	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	チーム医療の導入	医、歯、看護、衛生との合同授業	岩城 麻衣子	到達目標:1-11 共通 Zoom ID は 係から連絡があ り次第お知らせし

時間割番号	023555			科目ID	DE-365500-Z		
科目名	卒業研究 I			科目ID	DE-365500-Z		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
<p>時間数:60 時間 授業形態:講義・演習 遠隔授業(同期型) 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室</p>							
<p>主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室</p>							
<p>授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法と研究のまとめ方を理解する。</p>							
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の進め方を説明できる。 2. EBM・EBHC の概念と研究者としての倫理観を説明できる。 3. 論文の構成を説明できる。 4. 理工学研究および生物学研究との融合研究の概念を説明できる。 5. 本学の基本理念に沿って、論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。 6. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを設定する。 7. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護および動物の扱いを説明できる。 8. 結論を導くために必要な統計処理について説明できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/7	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究オリエンテーション	卒業研究の概要、Evidence-based Medicine (EBM)と研究者としての倫理観 生物学研究と理工学研究との融合研究	青木 和広	到達目標:1-4
4-6	10/21	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	研究とキャリアパス 文献検索 1	工学出身の研究者のお話を伺う 文献検索の実施と論文読解 1 基本理念に沿って、研究テーマを策定し、関連論文を収集する技術を学ぶ	青木 和広、 澁川 穂積 木下 淳博	到達目標:1-5,10 口腔保健工学専攻教員
7-9	10/28	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	研究成果報告会 (遠隔同期型)	4 年生研究成果報告会に参加	青木 和広	到達目標:1-9 口腔保健工学専攻教員
10-12	11/4	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	文献検索 2 研究成果報告会参加	文献検索の実施と論文読解 2 基本理念に沿って、論文を作成するために必要な参考文献の引用方法について学ぶ 研究成果報告会参加	青木 和広、 澁川 穂積	到達目標:1-5, 10
13-16	11/11	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	文献検索 3 教員からの研究テーマの提案	文献検索の実施がサポートなしでできるまで訓練する。 AL	青木 和広、 澁川 穂積	到達目標:1-5, 10

					基本理念に沿った研究テーマの検討		
17-20	11/18	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	統計その1	卒業研究に用いる統計手法の概要	池田 正臣	到達目標:1-6, 10 8
21-24	12/9	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	研究実施の流れ 研究テーマの検討(Zoom IDいつもと異なります)	研究計画の立て方、倫理的配慮・個人情報の管理等の留意点等について研究テーマの検討	青木 和広	到達目標:1.2, 6-8
25-27	12/16	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	OH 卒業研究発表会参加	研究テーマの検討と絞り込み、関連文献の検索 OH4 年生卒業研究発表会に参加	青木 和広	到達目標:1-8 ID、PW 衛生から 届き次第配布
28-30	12/16	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	OH 卒業研究発表会参加 日程調整中	研究テーマの検討と絞り込み、関連文献の検索 OH4 年生卒業研究発表会に参加	青木 和広	到達目標:1-8 ID、PW 衛生から 届き次第配布
31-32	1/6	10:00-11:50		卒業研究発表会参加	4 年生卒業研究発表会に参加		到達目標:1-10
33-36	1/6	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究発表会参加	4 年生卒業研究発表会に参加	青木 和広, 大木 明子, 上條 真吾, 金澤 学, 土 田 優美, 池 田 正臣, 塩 沢 真穂, 岩 城 麻衣子, 岩城 麻衣子	到達目標:1-10
37-40	1/13	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	研究計画書作成	研究テーマの決定と具体的な研究項目の検討 ノートの重要性 研究テーマの決定と具体的な研究項目の検討	青木 和広	到達目標:1-10
41-44	1/20	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	統計その2	4 年生の研究に具体的に使われた統計手法の概説	池田 正臣	到達目標:8
45-47	1/23	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	研究計画書の作成 (自習)	各指導者の下に実験の準備、倫理審査書類、動物実験計画書などの申請 参考論文検索	金澤 学, 青 木 和広, 大 木 明子, 池 田 正臣, 上 條 真吾, 土 田 優美, 高 橋 英和, 岩 城 麻衣子, 岩城 麻衣子	到達目標:1-10
48-51	1/27	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	統計その3	エクセル実習シミュレーション	池田 正臣	到達目標:8
52-54	1/30	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	研究計画書の作成 (自習)	各指導者の下に実験の準備、倫理審査書類、動物実験計画書などの申請 参考論文検索	金澤 学, 青 木 和広, 大 木 明子, 池 田 正臣, 上 條 真吾, 土 田 優美, 岩 城 麻衣子	到達目標:1-10
55-56	2/6	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	研究計画書の作成 (自習)	各指導者の下に実験の準備、倫理審査書類、動物実験計画書など	大木 明子, 青木 和広,	到達目標:1-10

			型)		の申請 参考論文検索	上條 真吾, 金澤 学, 土 田 優美, 池 田 正臣, 岩 城 麻衣子	
57-60	2/10	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	RefWorks を使った研究 計画書の作成 統計そ の 4	研究計画書作成仕上げ提出 エ クセル実習シミュレーション	青木 和広, 澁川 穂積, 池田 正臣	到達目標:1-10 RefWorks で作業 するためのワー ドファイルと文献 関連ファイルを準 備をしてくること。 PC 持参

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題学習・発表

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。

成績評価の基準

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。
研究計画書の点数が60%以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

試験の受験資格

4分の3の出席が単位取得の最低条件。(各指導者の下で研究を始めた場合、卒業研究Ⅰの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。臨床実習の時間に卒業研究を当てる場合も考えられるが、カードだけでなく、はじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。また、就職活動により欠席する場合は、以下の2つの条件が満たされることにより、就職活動による欠席を出席扱いとすることは周知事項に記載してあるとおりである: 1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せること。)

参考書

研究の育て方: ゴールとプロセスの「見える化」/近藤克則著,近藤, 克則.:医学書院, 2018

備考

この科目は、論文作成に必要な知識を演習を通して獲得し、指導教員との討論を交えて次年度からの研究のための研究計画書の作成を目標とする。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023558			科目ID	DE-495800-Z
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	2022年度4年通年	対象年次	1~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。 (各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。					

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は上記参照。 履修についての質問は、科目責任者(青木)までメールで随時行うこと。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

第4学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023509A						
科目名	歯科技工士と法律	科目ID					
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 必修							
主な講義場所 遠隔授業(Zoom)							
授業の目的、概要等 医療上の事故等(インシデント、医療過誤等を含む)は日常的に起こり得ることを認識し、安全で信頼される歯科医療を実践するために、医療における安全性への配慮と危機管理に関する基本的な知識、考え方を学ぶ。保健・衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士の医療と社会における役割を学ぶ。患者本位の歯科医療を実践するために、インフォームドコンセントに関する基礎的な知識を修得する。個人情報の保護を実践するため、守秘義務と個人情報保護法を理解する。							
授業の到達目標 1. ヒューマンエラーとリスク、医療安全について用語を説明できる。 2. インシデントとアクシデント、医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 3. 医療安全推進のためのリスク管理、防止対策、インシデントレポートを説明できる。 4. 医療安全に関連した法律・規則の基本的事項を説明できる。 5. 個人情報の保護と守秘義務について説明できる。 6. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。 7. ヘルシンキ宣言を説明できる。 8. 歯科医事紛争の防止対策について理解できる。 9. 歯科技工士の役割と倫理について説明できる。 10. 衛生行政の概要、意義、組織と活動を説明できる。 11. 歯科技工士法の目的と法的定義を説明できる。 12. 歯科技工士免許に関する法律を説明できる。 13. 歯科技工士国家試験の意義と目的を説明できる。 14. 歯科技工業務の内容を説明できる。 15. 歯科技工指示書と歯科技工録について理解できる。 16. 歯科技工所に関する法律を説明できる。 17. 歯科技工に関する違反行為と罰則を説明できる。 18. 医療法の目的、病院と診療所の法的定義を説明できる。 19. 歯科医師法の目的と歯科医師の任務を説明できる。 20. 歯科衛生士法の目的と歯科衛生士の法的定義を説明できる。 21. 保健、社会保障、労働関連法規の概要を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/6	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	医療安全	エラー、リスク、医療安全、インシデント、リスク管理、インシデントレポート、演習	大木 明子	病院スタッフマニュアルを手元に準備すること。到達目標 1-4
4-5	4/20	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	個人情報の保護 インフォームドコンセント、医事紛争	個人情報保護法、守秘義務、インフォームドコンセント、医事紛争、演習	大木 明子	到達目標 5-9
6-7	5/11	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	衛生行政の概要 歯科技工士法 1	衛生行政の概要 歯科技工士法 の概念、免許、試験、演習	大木 明子	教科書を手元に準備すること 到達目標 10-13

8-9	5/25	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科技工士法 2	歯科技工業務 歯科技工指示書、 歯科技工士法における問題点、ト レーサビリティ(演習)	大木 明子	教科書を手元に 準備すること 到 達目標 14-15
10-11	6/8	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科技工士法 3	歯科技工所について、歯科技工士 法の雑則、罰則、附則 労働関係 法規	大木 明子	教科書を手元に 準備すること 到 達目標 16-17
12-13	7/6	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科医療・医療関係法規	医療法、歯科医師法、歯科衛生士 法、一般医療関係者法、演習	大木 明子	教科書を手元に 準備すること 到 達目標 18-20
14-15	7/20	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	その他の関係法規	保健衛生法規、医薬品医療機器等 法、演習	大木 明子	教科書を手元に 準備すること 到 達目標 21

授業方法

講義、小テスト、演習

遠隔授業(同期型)で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

演習課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は小テスト、提出課題および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

・小テスト(10点)、演習(10点)、筆記試験(80点)で総合的に評価する。

・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験80点、小テスト10点、演習課題10点とし、合計100点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に WebClass に資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3分の2以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型)に出席すること。

・各項目で実施される小テストを行うこと。

・演習課題を実施し、提示された期限までにレポートを提出すること。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬一彦；医歯薬出版、2017

参考書

歯科六法コンメンタール 第2版 歯科関連法律の逐条解説／社会歯科学会、シヤクシカガツカイ、ヒョーロン・パブリッシャーズ、2021

事例・判例から学ぶ歯科の法律／小室歳信 著、小室 歳信、1952-、医歯薬出版、2004

歯科医療管理：安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会編、日本歯科医療管理学会、医歯薬出版、2018

医療安全：患者の安全を守る看護の基礎力・臨床力／小林美亜編集、小林、美亜、学研メディカル秀潤社、2018

看護の現場ですぐに役立つ医療安全のキホン：インシデントから患者さんを守る方法を学ぶ！／大坪陽子、荒神裕之、雑賀智也著、大坪、陽子、荒神、裕之、雑賀、智也、秀和システム、2018

具体例からはじめる患者と医療従事者のためのインフォームド・コンセント取扱説明書／谷田憲俊著、谷田、憲俊、診断と治療社、2013

「知らなかった」はもう許されない個人情報保護法〇と×：法改正で居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションも規制対象に！／外岡

<p>潤 監修,外岡, 潤, 1980-.: メディカ出版, 2017</p> <p>医療・介護における個人情報保護 Q&A : 改正法の正しい理解と適切な判断のために / 飯田修平編著 ; 宮澤潤, 長谷川友紀, 森山洋著, 飯田, 修平, 宮澤, 潤, 長谷川, 友紀, 森山, 洋, :じほう, 2020</p>
<p>他科目との関連</p> <p>再建工学包括臨床実習Ⅱ</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 演習課題の提出を提示された期日までに行うこと。</p>
<p>備考</p> <p>一昨年度授業終了時アンケート結果より、内容を精査検討し、法律の内容をもう少し増やし、医療安全も加え、大幅な内容変更を行った。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023519			科目ID	DE-451900-L																																																		
科目名	画像解析学			科目ID	DE-451900-L																																																		
担当教員	土田 優美, 渡邊 裕[TSUCHIDA Yuumi, WATANABE HIROSHI]																																																						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1																																																		
実務経験のある教員による授業	該当する																																																						
科目名:画像解析学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習 選択																																																							
主な講義場所 遠隔授業(WebClass)、CAD/CAM 演習室、CAD/CAM 実習室																																																							
授業の目的、概要等 放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。																																																							
授業の到達目標 1. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 2. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。 3. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。 4. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。 5. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。 6. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 7. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 8. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 9. 歯科用コーンビーム CT、CT、MRI、超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。 10. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。 11. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。 12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。 13. 放射線の人体に対する影響を説明できる。 14. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。 15. 断層撮影画像データの三次元構築ができる。																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/19</td> <td>12:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>エックス線写真の原理</td> <td>放射線の種類と性質、エックス線画像形成の原理、エックス線写真処理の原理、デジタルラジオグラフィーの原理</td> <td>渡邊 裕</td> <td>到達目標:1-5 終了後に小テストを実施</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/26</td> <td>12:50-15:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>歯科用エックス線撮影の種類と原理</td> <td>口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントと CT</td> <td>渡邊 裕</td> <td>到達目標:6-10 終了後に小テストを実施</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>4/28</td> <td>10:00-11:50</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>顎顔面口腔領域の正常像と異常像</td> <td>画像診断、正常像と異常所見</td> <td>渡邊 裕</td> <td>到達目標:11-12 終了後に小テストを実施</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>5/10</td> <td>10:00-11:50</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>放射線の人体への影響</td> <td>放射線の人体に対する影響</td> <td>渡邊 裕</td> <td>到達目標:13 終了後に小テストを実施</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>5/17</td> <td>10:00-11:50</td> <td>遠隔授業</td> <td>放射線治療</td> <td>がんの放射線治療とその補助装</td> <td>渡邊 裕</td> <td>到達目標:14 終</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-3	4/19	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	エックス線写真の原理	放射線の種類と性質、エックス線画像形成の原理、エックス線写真処理の原理、デジタルラジオグラフィーの原理	渡邊 裕	到達目標:1-5 終了後に小テストを実施	4-6	4/26	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントと CT	渡邊 裕	到達目標:6-10 終了後に小テストを実施	7-8	4/28	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面口腔領域の正常像と異常像	画像診断、正常像と異常所見	渡邊 裕	到達目標:11-12 終了後に小テストを実施	9-10	5/10	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	放射線の人体への影響	放射線の人体に対する影響	渡邊 裕	到達目標:13 終了後に小テストを実施	11-12	5/17	10:00-11:50	遠隔授業	放射線治療	がんの放射線治療とその補助装	渡邊 裕	到達目標:14 終
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																
1-3	4/19	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	エックス線写真の原理	放射線の種類と性質、エックス線画像形成の原理、エックス線写真処理の原理、デジタルラジオグラフィーの原理	渡邊 裕	到達目標:1-5 終了後に小テストを実施																																																
4-6	4/26	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントと CT	渡邊 裕	到達目標:6-10 終了後に小テストを実施																																																
7-8	4/28	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面口腔領域の正常像と異常像	画像診断、正常像と異常所見	渡邊 裕	到達目標:11-12 終了後に小テストを実施																																																
9-10	5/10	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	放射線の人体への影響	放射線の人体に対する影響	渡邊 裕	到達目標:13 終了後に小テストを実施																																																
11-12	5/17	10:00-11:50	遠隔授業	放射線治療	がんの放射線治療とその補助装	渡邊 裕	到達目標:14 終																																																

			(非同期型)		置		了後に小テストを実施
13-15	5/24	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	断層撮影画像データの 三次元構築(演習)	Zed View を使用した CT データの 3D モデリング	土田 優美	到達目標:15 終了後にレポート課題を提出
授業方法 講義、演習 1～12 回は遠隔授業(非同期型)で行う。WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格(7 割以上)をもって出席とする。小テストの期限はすべて 5/23 までとする。この試験結果は成績に加味する。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 13～15 回は対面での演習を行う。授業後、提示された期限までにレポート課題を提出すること。							
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 提出課題はレポート(10 点)である。 期末試験の配点は 90 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。 出席状況、授業態度の結果を総合的に評価に加味する。							
成績評価の基準 期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 配点は、期末試験 90 点、レポート課題 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。 出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(非同期型)および対面演習に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 歯科放射線学／岡野友宏、小林馨、有地榮一郎編；浅海淳一 [ほか] 執筆、岡野、友宏、小林、馨、有地、榮一郎、浅海、淳一、:医歯薬出版、2018 歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編、日本歯科放射線学会、:医歯薬出版、2020							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、内容を改善している。							
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp 渡邊 裕 hiro.orad@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること 渡邊 裕 毎週金曜日 P.M.0:00-16:00							

時間割番号	023532			科目ID	DE-493200-L		
科目名	スポーツ歯科工学			科目ID	DE-493200-L		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健工学専攻 第2実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等 スポーツとスポーツ外傷について理解し、外傷予防に用いる歯科領域の装置、特にマウスガードの構造と製法を理解し、製作する。スポーツと歯科保健医療を理解する。							
授業の到達目標 1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を説明できる。 2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について説明できる。 3. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について説明できる。 4. スポーツ選手における顎口腔系の状態とその健康管理について説明できる。 5. フェイスガードの構造と製法について説明できる。 6. マウスガードの目的、種類、特徴について説明できる。 7. マウスガードの材料について説明できる。 8. マウスガードの構造と製法について説明でき、マウスガードを製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/14	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	スポーツ歯科工学概論	スポーツ外傷の特徴と予防、顎口腔系機能と身体運動機能の関連、スポーツ選手の健康管理	中禮 宏	到達目標:1-4 Zoom、講義中の質問があった場合に回答すること
4-6	4/21	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	マウスガードの製法	マウスガードの目的、種類、材料、製法	中禮 宏	到達目標:6-8 Zoom、講義中の質問があった場合に回答すること
7-8	4/28	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	遠隔支援、フェイスガードの製法	遠隔支援、フェイスガードの目的、構造、製法	中禮 宏	到達目標:4-5 Zoom、講義中の質問があった場合に回答すること
9	5/19	14:50-15:40	第2実習室	マウスガードの製作1 (実習)	模型調整・咬合器装着	大木 明子, 中禮 宏 吉 岡 大貴	到達目標:6-8 事前に指定された模型を準備しておくこと
10-12	5/26	12:50-15:40	第2実習室	マウスガードの製作2 (実習)	EVAシート製マウスガードの製作	大木 明子, 中禮 宏 吉 岡 大貴	到達目標:6-8
13-15	6/2	12:50-15:40	第2実習室	マウスガードの製作3 (実習)	ポリオレフィンシート製マウスガードの製作、マウスガードの完成	大木 明子, 中禮 宏 吉 岡 大貴	到達目標:6-8 実習作品の提出

<p>授業方法</p> <p>講義、実習</p> <p>遠隔授業(同期型)のほかにもスポーツマウスガード製作実習が含まれます。</p> <p>事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p>
<p>授業内容</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験(80点)、マウスガード2種の評価(唇頬側・口蓋側の辺縁形態、咬合面の形態:各種10点ずつ合計20点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験80点、マウスガード2種の評価:各種10点ずつ合計20点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。</p> <p>実習日はマウスガード製作実習を行うので、WebClass の資料を予習し、器材を準備して出席すること。</p> <p>実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、授業中に行われる質問や小テストなどを実施すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書</p> <p>要説スポーツ歯科医学／上野俊明〔ほか〕編、上野、俊明、:医学情報社、2020</p> <p>実践スポーツマウスガード：製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修、上野俊明 編集、:医学情報社、2014</p>
<p>参考書</p> <p>スポーツ歯科入門ハンドブック：健康スポーツ歯科をめざして／安井利一、杉山義祥 編著、姫野かつよ〔ほか〕著、:医学情報社、2009</p>
<p>他科目との関連</p> <p>マウスガードの製作実習では、3年の臨床咬合学で製作した各自の上下模型を使用する。臨床実習Ⅱにおいて実習の事前準備を行う。教員の指示に従い、上顎2個、下顎1個を準備しておくこと。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習の日はインストゥルメント器材を準備しておくこと。バーナーは貸与されるが、欲しい者は各自でバーナーを購入しておくこと。詳細は WebClass にて案内している。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、マウスガード製作実習の事前準備を臨床実習Ⅱで時間をとって行うように改善した。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 中禮 宏 講師 メールにて日時を相談 chu.spmd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023533			科目ID	DE-493300-L		
科目名	オーラルアプライアンス工学			科目ID	DE-493300-L		
担当教員							
開講時期	2022年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 20 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom および WebClass の OE4 オーラルアプライアンス工学) 2号館4階 第2実習室							
授業の目的、概要等 顎関節症、睡眠時無呼吸症候群の症状と治療法を理解し、治療に用いるスプリントの意義と製作法を修得する。							
授業の到達目標 1. 閉塞性睡眠時無呼吸症 (Obstructive Sleep Apnea: OSA) の症状について説明できる。 2. OSA の治療法について説明できる。 3. OSA に用いるスリープスプリント (Oral Appliance: OA) の製作法について説明でき、装置を製作する。 4. 顎関節症の症状について説明できる。 5. 顎関節症の治療法について説明できる。 6. 顎関節症に用いるスプリントの製作法について説明でき、装置を製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/14	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節症の症状	顎関節症の臨床症状 顎関節症の原因	西山 暁	到達目標: 4
3-4	4/19	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	閉塞性睡眠時無呼吸症 (OSA) とは	OSA の医学的背景 医科との連携と歯科での対応	秀島 雅之	到達目標: 1 WebClass 非同期型、終了後に小テストを実施
5-6	4/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節症の治療法	顎関節症の治療法 スタビライゼーションスプリント その他のスプリント	西山 暁	到達目標: 5
7-8	4/26	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	OSA の治療法	OSA の治療法 OSA 用スプリント (OA) の種類と材料、設計	秀島 雅之	到達目標: 2 WebClass 非同期型、終了後に小テストを実施
9-11	5/10	12:50-15:40	第2実習室	OSA 用 OA の製作実習	OA 製作に用いる模型の製作 OA の咬合採得 咬合器装着	大木 明子、 秀島 雅之、 上條 真吾、 鈴木 達	到達目標: 3
12-15	5/12	12:50-16:40	第2実習室	顎関節症に用いるスプリントの製作実習	スタビライゼーションスプリントの製作、ワックスアップ	大木 明子、 西山 暁、 鈴木 達	到達目標: 6
16-18	5/17	12:50-15:40	第2実習室	OSA 用 OA の製作実習	OA の設計と製作	大木 明子、 秀島 雅之、 上條 真吾、 鈴木 達	到達目標: 3 実習作品の提出
19-20	5/19	12:50-14:40	第2実習室	顎関節症に用いるスプリントの製作実習	スタビライゼーションスプリントの調整	大木 明子、 西山 暁、 鈴木 達	到達目標: 6 実習作品の提出

<p>授業方法</p> <p>講義、実習</p> <p>遠隔授業(同期型および非同期型)のほかにオーラルアプライアンス製作実習が含まれます。</p> <p>事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。</p> <p>遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p> <p>遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出課題、提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験(80点)、製作物(OSA用OA:10点、顎関節症用スプリント:10点)で総合的に評価する。 ・期末試験(OSA50点満点、顎関節症50点満点)が100点満点中60点未満の場合は再試験とする(OSAと顎関節症それぞれ60%以上必要)。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が OSA と顎関節症それぞれ 60%以上得点したものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 80 点、製作物(OSA 用 OA:10 点、顎関節症用スプリント:10 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、小テストの点数を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p> <p>小テストなどの課題を実施すること。</p> <p>実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・西山先生ご担当の遠隔授業(同期型)に出席し、途中の質問投票に回答すること。 ・秀島先生ご担当の遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>参考書</p> <p>写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方／鱒見進一、皆木省吾 編著 鱒見 進一、1956-、皆木 省吾、:ヒョーロン・パブリッシャーズ、2011</p> <p>歯科技工実習／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著 全国歯科技工士教育協議会 末瀬 一彦、:医歯薬出版、2017</p> <p>いびき!眠気!睡眠時無呼吸症を疑ったら：周辺疾患も含めた、検査、診断から治療法までの診療の実践／宮崎泰成、秀島雅之 編 宮崎、泰成、秀島、雅之、:羊土社、2018</p> <p>参考書2は第2版がでています。(2019年3月)睡眠時無呼吸症のための口腔内装置、160-165</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。実習の日はインスツルメント器材を準備しておくこと。事前に模型と咬合器の準備を指示されるので準備してから実習にのぞむこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、遠隔授業の資料を動画および配布資料の両方を WebClass にアップロードするように改善した。新カリキュラムでは模型の準備の時間を確保し、授業時間を増やした。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>秀島雅之 講師 メールにて日時を相談 m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp</p> <p>西山 暁 講師 メールにて日時を相談 anishitn@tmd.ac.jp</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023564			科目ID																																																	
科目名	CAD/CAM システム工学演習			科目ID																																																	
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1																																																
実務経験のある教員による授業	該当する																																																				
科目名: CAD/CAM システム工学演習 時間数: 15 時間 授業形態: 演習																																																					
主な講義場所 CAD/CAM 演習室、CAD/CAM 実習室																																																					
授業の目的、概要等 歯科用 CAD/CAM システムを活用した歯科補綴装置製作に関し、歯学科 6 年生に説明することにより自らの知識と技能の向上を図る。																																																					
授業の到達目標 1. 歯科技工用スキャナ、口腔内スキャナについて説明できる 2. 歯科用 CAD ソフトウェアによる設計について説明できる 3. 歯科用切削加工機や付加製造機について説明できる 4. その他の三次元光学スキャナや CAD ソフトウェアについて説明できる																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>6/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>CAD/CA M 演習室</td> <td>D6 合同実習</td> <td>歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明</td> <td>土田 優美 上條 真吾 池田 正臣</td> <td>到達目標:1-4</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>6/20</td> <td>12:50-15:40</td> <td>CAD/CA M 演習室</td> <td>D6 合同実習</td> <td>歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明</td> <td>土田 優美 上條 真吾 池田 正臣</td> <td>到達目標:1-4</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>6/27</td> <td>12:50-15:40</td> <td>CAD/CA M 演習室</td> <td>D6 合同実習</td> <td>歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明</td> <td>土田 優美 上條 真吾 池田 正臣</td> <td>到達目標:1-4</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>7/4</td> <td>12:50-15:40</td> <td>CAD/CA M 演習室</td> <td>D6 合同実習</td> <td>歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明</td> <td>土田 優美 上條 真吾 池田 正臣</td> <td>到達目標:1-4</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>7/11</td> <td>12:50-15:40</td> <td>CAD/CA M 演習室</td> <td>D6 合同実習</td> <td>歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明</td> <td>土田 優美 上條 真吾 池田 正臣</td> <td>到達目標:1-4</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-3	6/13	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4	4-6	6/20	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4	7-9	6/27	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4	10-12	7/4	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4	13-15	7/11	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																														
1-3	6/13	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4																																														
4-6	6/20	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4																																														
7-9	6/27	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4																																														
10-12	7/4	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4																																														
13-15	7/11	12:50-15:40	CAD/CA M 演習室	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣	到達目標:1-4																																														
授業方法 実習 歯学科 6 年生に対し歯科用・汎用 CAD/CAM システムに関する解説、操作説明を行う。 数名のグループに分かれ、グループごとに提出課題として説明用の資料を作成する。 また、最終レポートを課す。																																																					
成績評価の方法 提出課題(グループ課題) 70 点、最終レポート 10 点、出席・参加態度点 20 点によって行う。																																																					
成績評価の基準 提出課題(グループ課題) 70 点、最終レポート 10 点、出席・参加態度点 20 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。																																																					
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。																																																					
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修 末瀬一彦、宮崎隆 編 末瀬一彦、																																																					

1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
備考 歯学科 6 年生との合同実習 新カリキュラムにあたり今年度 4 年生に新設された。
連絡先(メールアドレス) 土田 優美yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023553A						
科目名	再建工学包括臨床実習Ⅱ			科目ID	DE-475300-E		
担当教員	上條 真吾, 池田 正臣, 金澤 学, 土田 優美[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, KANAZAWA MANABU, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	7		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 300 時間							
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる各種歯科補綴装置の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての倫理観を身につける。 2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。 3. 臨床実習に必要な基本的な歯科技工技術を確実に身につける。 4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。 5. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案できる。 6. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業ができる。 7. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作できる。 8. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習オリエンテーション、ケ ース配当、臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
3-6	4/5	12:50-16:40	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習オリエンテーション、ケ ース配当、臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
7-8	4/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
9-12	4/7	12:50-16:40	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
13-14	4/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美	SBOs:1-8

			実習室				
15-18	4/11	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
19-20	4/12	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
21-24	4/12	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
25-26	4/18	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
27-30	4/18	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
31-32	4/25	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
33-36	4/25	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
37-38	5/2	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
39-42	5/2	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
43-44	5/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

			室 総合 実習室				
45-48	5/9	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
49-50	5/12	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
51-52	5/16	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
53-56	5/16	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
57-58	5/19	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
59-60	5/23	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
61-64	5/23	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
65-66	5/24	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
67-68	5/26	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
69-70	5/30	10:00-11:50	CAD/CA M演習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

			第2実習室 総合実習室				
71-74	5/30	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
75-76	5/31	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
77-80	5/31	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
81-82	6/2	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
83-84	6/6	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
85-88	6/6	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
89-90	6/7	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
91-94	6/7	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
95-96	6/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
97-10	6/9	12:50-16:40	CAD/CA	再建工学包括臨床実習	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

0			M演習室 第2実習室 総合実習室	PhaseIV			
101-1 02	6/13	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
103-1 04	6/14	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
105-1 08	6/14	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
109-1 10	6/16	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
111-1 14	6/16	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
115-1 16	6/20	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
117	6/20	15:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
118-1 19	6/21	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
120-1 23	6/21	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

124-1 25	6/22	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育準備	金澤 学	SBOs:8 事前に チーム医療入門 のWebClassの資 料を確認し準備 すること
126-1 27	6/23	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
128-1 31	6/23	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
132-1 34	6/24	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育準備	金澤 学	SBOs:8 事前に チーム医療入門 のWebClassの資 料を確認し準備 すること
135-1 36	6/27	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
137	6/27	15:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
138-1 40	6/28	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	金澤 学	SBOs:8
141-1 44	6/28	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	金澤 学	SBOs:8 準備し た資料を手元に 置き、演習に参加 すること。 Zoom 情報は後日
145-1 47	6/29	09:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	金澤 学	SBOs:8 準備し た資料を手元に 置き、演習に参加 すること。 Zoom 情報は後日

148-1 51	6/29	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	金澤 学	SBOs:8 準備し た資料を手元に 置き、演習に参加 すること。 Zoom 情報は後日
152-1 53	6/30	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
154-1 57	6/30	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
158-1 59	7/4	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
160	7/4	15:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
161-1 62	7/5	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
163-1 66	7/5	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
167-1 68	7/6	14:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
169-1 70	7/7	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

171-1 74	7/7	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
175-1 76	7/11	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
177	7/11	15:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
178-1 79	7/12	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
180-1 83	7/12	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
184-1 85	7/14	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
186-1 89	7/14	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
190-1 91	7/19	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
192-1 95	7/19	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

196-1 97	7/21	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
198-2 01	7/21	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
202-2 03	7/25	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
204-2 07	7/25	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
208-2 11	7/26	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
212-2 13	9/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
214-2 15	9/12	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
216-2 18	9/12	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
219-2 20	9/13	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

221-2 22	9/14	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
223-2 24	9/20	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
225-2 26	9/21	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
227-2 28	9/26	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
229-2 31	9/26	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
232-2 33	9/27	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
234-2 35	9/27	12:50-14:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
236-2 37	9/28	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
238-2 39	9/28	12:50-14:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

240-2 41	9/29	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
242-2 44	9/29	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
245-2 46	9/30	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
247-2 49	9/30	12:50-15:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
250-2 51	10/4	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
252-2 53	10/5	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
254-2 55	10/11	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
256-2 58	10/17	13:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
259-2 60	10/18	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

261-2 62	10/19	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
263-2 64	10/25	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
265-2 66	10/26	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
267-2 69	10/31	13:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
270-2 71	11/1	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
272-2 73	11/2	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
274-2 75	11/8	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
276-2 77	11/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
278-2 80	11/14	13:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

281-2 82	11/16	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
283-2 85	11/28	13:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
286-2 87	11/30	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	歯科技工士国家試験の模擬試験	上條 真吾	SBOs:1-8
288-2 91	11/30	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	歯科技工士国家試験の模擬試験	上條 真吾	SBOs:1-8
292-2 93	12/7	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
294-2 96	12/12	13:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
297-2 98	12/14	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
299-3 00	12/21	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

授業方法

実習、演習、講義

臨床実習、チーム医療

一部、遠隔授業(同期型)で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

<p>成績評価の方法</p> <p>評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習プロダクト(60点)、患者別ケースレポート(30点)、チーム医療評価(10点)で総合的に評価する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で製作した作品およびレポートで評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。 ・出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。チーム医療入門は事前準備を行い必ず出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>教科書</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎、隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>チーム医療入門の詳細と、歯科技工士国家試験の模擬試験の詳細は別に定める。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p> <p>池田 正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp</p> <p>土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>土田 優美:メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023565						
科目名	再建工学包括臨床実習Ⅲ				科目ID		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2022年度後期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択必修 45 時間							
主な講義場所							
2号館4階 第2実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM実習室、2号館3階 CAD/CAM演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
多様な臨床ケースを通じて歯科技工士としての自覚を高め、各種補綴装置の製作ならびに修理に関するより複雑で高度な知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。 2. 歯学部附属病院各診療科の担当医の診療スタンスを理解し、説明できる。 3. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作できる。 4. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/3	13:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
4-7	10/5	12:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
8-10	10/24	13:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
11-14	10/26	12:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
15-17	11/7	13:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
18-21	11/9	12:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
22-24	11/21	13:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
25-27	12/5	13:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
28-31	12/7	12:50-16:40	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
32-35	12/14	12:50-16:40	第2実習室	再建工学包括臨床実習	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4

			室 総合 実習室	Ⅲ			
36-38	12/19	13:50-16:40	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
39-42	12/21	12:50-16:40	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-4
43-45	1/5	12:50-15:40	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Ⅲ	ケースプレゼンテーション	上條 真吾	SBOs:1-4

授業方法

臨床実習

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトおよび臨床ケース発表によって行う。

・臨床実習プロダクト(60点)、臨床症例発表(40点)で総合的に評価する。

成績評価の基準

・実習で製作した作品および臨床ケース発表で評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。

・出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4分の3以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型)に出席すること。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会.:医歯薬出版, 2017

備考

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先

上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023566			科目ID	DE-457001-E		
科目名	統合基礎実習			科目ID	DE-457001-E		
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 統合基礎実習 時間数: 70 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 第2 実習室							
授業の目的、概要等 全部床義歯の人工歯排列およびクラウンのワックスパターン製作を通して、歯科技工士として必要な基礎知識および歯科技工技術を身につけ、決められた時間内に製作できる技術を養う。							
授業の到達目標 1. 全部床義歯において適切な咬合を付与した人工歯排列を行うことができる。 2. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。 3. 一定時間内に人工歯排列、歯肉形成ができる。 4. 一定時間内に歯列に調和したクラウンのワックスパターンを製作できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/6	13:50-15:40	第2実習室	実習用模型とろう提の製作	実習用模型とろう提の製作	土田 優美 上條 真吾	
3-5	4/13	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	上顎前歯部排列	土田 優美	到達目標:1
6-8	4/27	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	下顎前歯部排列	土田 優美	到達目標:1
9-11	5/11	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	下顎旧歯部排列	土田 優美	到達目標:1
12-14	5/18	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	上顎旧歯部排列	土田 優美	到達目標:1
15-17	5/25	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	歯肉形成	土田 優美	到達目標:2
18-20	6/8	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	前歯部排列	土田 優美	到達目標:1
21-23	6/15	12:50-15:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	臼歯部排列	土田 優美	到達目標:1
24-25	6/22	12:50-14:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	歯肉形成	土田 優美	到達目標:2
26-27	7/6	12:50-14:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	前歯～旧歯部排列	土田 優美	到達目標:1
28-30	7/20	12:50-15:40	第2実習室	中間評価試験(1)	人工歯排列の中間評価試験	土田 優美	到達目標:1-3
31-34	9/13	12:50-16:40	第2実習室	実習用模型の製作、クラウンのワックスアップ	実習用模型の製作、クラウンのワックスアップ	土田 優美	到達目標:4
35-38	9/20	12:50-16:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	全部床義歯人工歯排列	土田 優美	到達目標:1-3
39-42	10/4	12:50-16:40	第2実習室	クラウンのワックスアップ	クラウンワックスアップ	土田 優美	到達目標:4

			室	ブ			
43-46	10/11	12:50-16:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	全部床義歯人工歯排列	土田 優美	到達目標:1-3
47-50	10/18	12:50-16:40	第2実習室	クラウンのワックスアップ	クラウンワックスアップ	土田 優美	到達目標:4
51-54	10/25	12:50-16:40	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	全部床義歯人工歯排列	土田 優美	到達目標:1-3
55-58	11/1	12:50-16:40	第2実習室	クラウンのワックスアップ	クラウンワックスアップ	土田 優美	到達目標:4
59-62	11/8	12:50-16:40	第2実習室	中間評価試験(2)	人工歯排列の中間評価試験	土田 優美	到達目標:1-3
63-65	11/15	13:50-16:40	第2実習室	中間評価試験(2)	クラウンのワックスアップの中間評価試験	土田 優美	到達目標:4
66-67	11/22	10:00-11:50	第2実習室	歯科技工臨床能力判定試験	歯科技工臨床能力判定試験	土田 優美	到達目標:1-4
68-70	11/22	12:50-15:40	第2実習室	歯科技工臨床能力判定試験	歯科技工臨床能力判定試験	土田 優美	到達目標:1-4

授業方法

実習

全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ実習。毎回の作品課題提出をもって出席とする。

全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験を実施する。

成績評価の方法

中間評価試験(1)(2)および全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験によって行う。

- ・中間試験(1):人工歯排列 20点
- ・中間試験(2):人工歯排列 20点、クラウンパターン 10点
- ・実技認定試験:人工歯排列 30点、クラウンパターン 20点
- ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

評価試験の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也、1954-、全国歯科技工士教育協議会、医歯薬出版、2017

歯冠修復技工学 / 全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、医歯薬出版、2017

歯科技工実習 / 全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、医歯薬出版、2017

備考

新カリキュラムにあたり今年度4年生に新設された。

全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験については別途日時を指定する。

連絡先(メールアドレス)

土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土田 優美メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023567			科目ID	DO-E45800-		
科目名	統合応用実習			科目ID	DO-E45800-		
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	4	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:統合応用実習 時間数:60 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 第 2 実習室、遠隔授業(WebClass)							
授業の目的、概要等 各実習で習得した基礎知識および歯科技工技術を活用し、歯のデッサン、歯型彫刻、ワイヤーの屈曲を通じて更なる技術の研鑽を行う。							
授業の到達目標 1. 各歯の特徴を捉えた解剖学的歯冠形態を描画できる。 2. 各歯の特徴を捉え、解剖学的歯冠形態を彫刻できる。 3. 曲線、ループ等、設計線に合ったワイヤー屈曲ができる。 4. 決められた時間内に彫刻、描画およびワイヤー屈曲ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/3	10:00-11:50	第2実習室	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の説明、石膏棒製作の説明	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の説明、石膏棒製作の説明	土田 優美	
3	10/3	12:50-13:40	第2実習室	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の説明、石膏棒製作の説明	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の説明、石膏棒製作の説明	土田 優美	
4-5	10/17	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第一大臼歯)、歯型彫刻(上顎第一大臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
6	10/17	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第一大臼歯)、歯型彫刻(上顎第一大臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
7-8	10/24	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(下顎第一大臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
9	10/24	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(下顎第一大臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
10-11	10/31	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第一小臼歯)、歯型彫刻(上顎第一小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
12	10/31	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第一小臼歯)、歯型彫刻(上顎第一小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
13-14	11/7	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(下顎第一小臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
15	11/7	12:50-13:40	遠隔授業	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(下顎第一小臼歯)、ワイ	土田 優美	到達目標:1.3

			(非同期型)		ヤー屈曲		
16-17	11/14	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第二小臼歯)、歯型彫刻(下顎第二小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
18	11/14	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第二小臼歯)、歯型彫刻(下顎第二小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
19-20	11/21	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(上顎第中切歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
21	11/21	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(上顎第中切歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
22-23	11/28	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第犬歯)、歯型彫刻(上顎犬歯)	土田 優美	到達目標:1.2
24	11/28	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第犬歯)、歯型彫刻(上顎犬歯)	土田 優美	到達目標:1.2
25-27	11/29	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(上顎第一大臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
28-29	12/5	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第一大臼歯)、歯型彫刻(下顎第一大臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
30	12/5	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第一大臼歯)、歯型彫刻(下顎第一大臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
31-33	12/6	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(上顎第一小臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
34-35	12/12	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第一小臼歯)、歯型彫刻(下顎第一小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
36	12/12	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(下顎第一小臼歯)、歯型彫刻(下顎第一小臼歯)	土田 優美	到達目標:1.2
37-39	12/13	13:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、ワイヤー屈曲	デッサン(下顎第二小臼歯)、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1.3
40-41	12/19	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第中切歯)、歯型彫刻(上顎第中切歯)	土田 優美	到達目標:1-4
42	12/19	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	デッサン、歯型彫刻	デッサン(上顎第中切歯)、歯型彫刻(上顎第中切歯)	土田 優美	到達目標:1-4
43-45	12/20	13:50-16:40	第2実習室	中間評価試験	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の中間評価試験	土田 優美	到達目標:1-4

46-48	1/10	12:50-15:40	第2実習室	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-4
49-51	1/12	12:50-15:40	第2実習室	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-4
52-53	1/13	10:00-11:50	第2実習室	国家試験模擬試験	国家試験模擬試験	土田 優美	到達目標:1-4
54	1/13	12:50-13:40	第2実習室	国家試験模擬試験	国家試験模擬試験	土田 優美	到達目標:1-4
55-57	1/17	12:50-15:40	第2実習室	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-4
58-60	1/19	12:50-15:40	第2実習室	最終評価試験	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の最終評価試験	土田 優美	到達目標:1-4

授業方法

実習

歯のデッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲実習。毎回の作品課題提出をもって出席とする。

成績評価の方法

中間評価試験および最終評価試験によって行う。

- ・中間試験: 石膏彫刻 10 点、展開図デッサン 10 点、ワイヤー屈曲 10 点
- ・最終試験: 石膏彫刻 25 点、展開図デッサン 20 点、ワイヤー屈曲 25 点

出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

評価試験の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木、哲也、1954、全国歯科技工士教育協議会、医歯薬出版、2017

歯冠修復技工学 / 全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬、一彦、: 医歯薬出版、2017

歯科技工実習 / 全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬、一彦、: 医歯薬出版、2017

備考

新カリキュラムにあたり今年度 4 年生に新設された。

歯科技工士免許を取得済みの者は選択できない。

国家試験模擬試験については別途日時を指定する。

連絡先(メールアドレス)

yumi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023556A			科目ID	DE-465600-Z		
科目名	卒業研究Ⅱ			科目ID	DE-465600-Z		
担当教員							
開講時期	2022年度通年	対象年次	4	単位数	6		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:90時間 授業形態:実習							
主な講義場所 口腔保健工学専攻研究室、2号館4階 第2実習室ほか、各指導者の指示する研究室で研究を実施。							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBMの概念と研究者としての倫理観を理解できる。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
3-6	4/8	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
7-8	4/13	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	プログ्रेसミーティング	実験の進捗状況の報告 2人	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

						上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	
9-10	4/15	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データ の収集・整理・分析	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
11-14	4/15	12:50-16:40	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データ の収集・整理・分析	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-5
15-18	4/20	12:50-16:40	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データ の収集・整理・分析	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-5
19-20	4/22	10:00-11:50	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データ の収集・整理・分析	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
21-24	4/22	12:50-16:40	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データ の収集・整理・分析	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-5
25-26	4/27	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	プログレスミーティング	実験の進捗状況の報告 2人	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

						上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	
27-28	5/6	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
29-32	5/6	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
33-34	5/13	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
35-38	5/13	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
39-40	5/18	09:00-10:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
41-42	5/20	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

43-46	5/20	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
47-48	5/27	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
49-52	5/27	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
53-54	6/1	09:00-10:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
55-58	6/1	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
59-60	6/3	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

61-64	6/3	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
65-66	6/10	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
67-68	6/15	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	プログレスミーティング	実験の進捗状況の報告 2人	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
69-70	6/17	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
71-74	6/17	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
75-76	6/24	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

						上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	
77-78	7/1	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
79-82	7/1	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
83-84	7/8	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
85-88	7/8	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
89-90	7/13	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	統計解析手法の復習	統計解析手法の復習	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
91-94	7/13	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5

						上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	
95-96	7/15	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-5
97-100	7/15	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
101-102	7/22	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-5
103-106	7/22	12:50-16:40	第2実習室	中間報告会	中間報告会	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	
107-109	9/14	12:50-15:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

110-1 12	9/16	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
113-1 15	9/21	12:50-15:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
116-1 19	9/28	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
120-1 22	9/30	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
123-1 25	10/7	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

126-1 29	10/19	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
130-1 32	10/21	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
133-1 35	10/28	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
136-1 39	11/2	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
140-1 42	11/4	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

143-1 45	11/11	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
146-1 49	11/16	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
150-1 52	11/18	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
153-1 55	11/25	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
156-1 58	12/2	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

159-1 61	12/9	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
162-1 64	12/16	09:00-11:50	第2実習室	OH 卒研発表会	OH 卒研発表会	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-10 Oh 卒研発表会に参加し、質疑応答でのコメントを行う。
165-1 67	12/16	12:50-15:40	第2実習室	OH 卒研発表会	OH 卒研発表会	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-10 Oh 卒研発表会に参加し、質疑応答でのコメントを行う。
168-1 69	12/23	10:00-11:50	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
170	1/5	15:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
171-1 72	1/6	10:00-11:50	第2実習室	卒業研究発表会	卒業研究発表会	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-10 事前に卒業論文、抄録を提出、卒業研究発表スライドの提出

						上條 真吾, 塩沢 真穂 土田 優美 土田 優美 羽田 多麻木	(2, 3 年生の ZoomID)
173-1 76	1/6	12:50-16:40	第2実習 室	卒業研究発表会	卒業研究発表会	金澤 学, 青 木 和広, 岩 城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣	到達目標:1-10 事前に卒業論 文、抄録を提出、 卒業研究発表ス ライドの提出 (2, 3 年生の ZoomID)

授業方法

研究

抄読会

プロGRESSミーティング

中間報告会発表、成果報告会発表、卒業研究発表を行う。

成績評価の方法

評価は、抄読会、プロGRESSミーティング、中間報告会発表、成果報告会発表、卒業論文、卒業研究発表によって行う。

- ・各課題の WebClass 等への提出状況を評価に加味する。
- ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・研究成果報告会での発表内容により段階的な評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・卒業研究論文(50 点)
- ・卒業研究発表会の発表内容に対する教員評価(50 点)
- ・指導教員からの評価も加味して総合評価とする。

成績評価の基準

- ・卒業研究論文と卒業研究発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。
- ・配点は、卒業研究発表会のプレゼンテーションに対する教員評価(50 点)と卒業研究論文の評価(50 点)とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・抄読会、プロGRESSミーティング、中間報告会、研究成果報告会、指導教員からの評価、各課題の WebClass 等への提出状況を加味してこの科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。

試験の受験資格

単位認定資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・抄読会やプロGRESSミーティングをそれぞれ 1 度ずつ担当すること。
- ・中間発表会で発表を行うこと。
- ・研究成果報告会で発表を行うこと。
- ・提示された期限までに卒業論文および抄録を提出すること。
- ・卒業研究発表会で発表を行うこと。
- ・卒業研究の出席に関して、学生証のカードタッチだけでなく、研究のはじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。卒業研究 II の時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。

備考

研究実習によるアクティブラーニングを実施している。

卒業研究Ⅲを選択した学生は、研究の継続が可能である。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023568			科目ID	DO-E46000-		
科目名	卒業研究Ⅲ			科目ID	DO-E46000-		
担当教員							
開講時期	2022年度後期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:90時間 授業形態:実習							
主な講義場所 口腔保健工学専攻研究室、2号館4階 第2実習室ほか、各指導者の指示する研究室で研究を実施。							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBMの概念と研究者としての倫理観を理解できる。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/3	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学、青木 和広、岩城 麻衣子、大木 明子、池田 正臣、上條 真吾、塩沢 真穂、土田 優美、土田 優美、羽田 多麻木	到達目標:1-7
4-7	10/5	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学、青木 和広、岩城 麻衣子、大木 明子、池田 正臣、上條 真吾、塩沢 真穂、土田 優美、土田 優美、羽田 多麻木	到達目標:1-7

8-10	10/24	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
11-14	10/26	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
15-17	11/7	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
18-21	11/9	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
22-24	11/21	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

25-27	12/5	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
28-31	12/7	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
32-35	12/14	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
36-38	12/19	13:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7
39-42	12/21	12:50-16:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学, 青木 和広, 岩城 麻衣子, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 土田 優美, 土田 優美, 羽田 多麻木	到達目標:1-7

43-45	1/5	12:50-15:40	第2実習室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	金澤 学、青木 和広、岩城 麻衣子、大木 明子、池田 正臣、上條 真吾、塩沢 真穂、土田 優美、土田 優美、羽田 多麻木	到達目標:1-7
-------	-----	-------------	-------	------	------------------------	--	----------

授業方法

研究

抄読会

プログレスミーティング

中間報告会発表、成果報告会発表、卒業研究発表を行う。

成績評価の方法

評価は、抄読会、プログレスミーティング、中間報告会発表、成果報告会発表、卒業論文、卒業研究発表によって行う。

- ・各課題の WebClass 等への提出状況を評価に加味する。
- ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・研究成果報告会での発表内容により段階的な評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・卒業研究論文(60 点)
- ・卒業研究発表会の発表内容に対する教員評価(40 点)
- ・指導教員からの評価も加味して総合評価とする。

成績評価の基準

- ・卒業研究論文と卒業研究発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。
- ・配点は、卒業研究発表会のプレゼンテーションに対する教員評価(40 点)と卒業研究論文の評価(60 点)とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・抄読会、プログレスミーティング、中間報告会、研究成果報告会、指導教員からの評価、各課題の WebClass 等への提出状況を加味してこの科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。
卒業研究Ⅱで実施した研究の継続が可能である。

試験の受験資格

単位認定資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・抄読会やプログレスミーティングをそれぞれ 1 度ずつ担当すること。
- ・中間発表会で発表を行うこと。
- ・研究成果報告会で発表を行うこと。
- ・提示された期限までに卒業論文および抄録を提出すること。
- ・卒業研究発表会で発表を行うこと。
- ・卒業研究の出席に関して、学生証のカードタッチだけでなく、研究のはじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。卒業研究Ⅱの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

臨床実習Ⅲとの選択制である。卒業研究Ⅱで実施した研究の継続が可能である。

担当教員のオフィスパワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

准教授 岩城麻衣子 mi.waki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023557A			科目ID	DE-465700-Z		
科目名	卒業製作			科目ID	DE-465700-Z		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2022年度通年	対象年次	4	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 135 時間							
主な講義場所							
2号館4階 第2実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM実習室、2号館3階 CAD/CAM演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
各学生が歯科補綴装置に関するテーマを設定し、習得した知識および技術を応用して作品の製作およびプレゼンテーションを行う。							
授業の到達目標							
1.製作上に必要な情報を収集し、整理できる。							
2.症例に応じた設計および補綴デザインを選択できる。							
3.歯科技工に関する基本的知識および製法を説明できる。							
4.歯科技工の基礎技術を応用し製作する。							
5.対象者に合わせたプレゼンテーションを作成し、発表できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/8	10:00-11:50	CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作の概要	実習内容説明	上條 真吾	到達目標:1
3-6	9/8	12:50-16:40	CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作の概要	実習内容説明	上條 真吾	到達目標:1
7-8	9/15	10:00-11:50	CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	到達目標:1.2
9-12	9/15	12:50-16:40	CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	到達目標:1.2
13-14	9/16	10:00-11:50	CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	到達目標:1.2
15	9/16	12:50-13:40	CAD/CAM演習室 第2実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	到達目標:1.2

			室 総合 実習室				
16-17	9/22	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	到達目標:1-4
18-21	9/22	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	到達目標:1-4
22-23	10/6	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
24-27	10/6	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
28-29	10/7	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
30	10/7	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
31-32	10/13	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
33-36	10/13	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
37-38	10/14	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
39	10/14	12:50-13:40	CAD/CA M演習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4

			第2実習室 総合実習室				
40-41	10/20	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
42-45	10/20	12:50-16:40	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
46-47	10/21	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
48	10/21	12:50-13:40	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
49-50	10/27	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
51-54	10/27	12:50-16:40	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
55-56	10/28	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
57	10/28	12:50-13:40	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
58-59	11/4	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
60	11/4	12:50-13:40	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4

			M演習室 第2実習室 総合実習室				
61-62	11/10	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
63-66	11/10	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
67-68	11/11	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
69	11/11	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
70-71	11/15	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
72	11/15	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
73-74	11/17	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
75-78	11/17	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
79-80	11/18	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4

81	11/18	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
82-83	11/24	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
84-87	11/24	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
88-89	11/25	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
90	11/25	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
91-92	11/29	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
93	11/29	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
94-95	12/1	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
96-99	12/1	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5

100-1 01	12/2	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
102	12/2	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
103-1 04	12/6	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
105	12/6	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
106-1 07	12/8	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
108-1 11	12/8	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
112-1 13	12/9	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
114	12/9	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
115-1 16	12/13	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5

117	12/13	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
118-1 19	12/15	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
120-1 23	12/15	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
124-1 25	12/20	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-5
126	12/20	12:50-13:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習 作品の提出	上條 真吾	到達目標:1-5
127-1 28	12/22	10:00-11:50	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	発表用スライド作成	発表用スライドの作成	上條 真吾	到達目標:1-5
129-1 32	12/22	12:50-16:40	CAD/CA M演習室 第2実習 室 総合 実習室	発表用スライド作成 作 品提出	発表用スライドの作成 作品の提 出	上條 真吾	到達目標:1-5
133-1 35	1/11	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	卒業製作発表会	卒業製作のパワーポイント発表	上條 真吾	到達目標:5

授業方法

実習、作品発表

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトと発表によって行う。

- ・製作作品 70 点
 - ・卒業製作発表会の発表内容に対する教員評価 30 点
- で総合的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品および製作発表で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

<ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。 ・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表をすること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>教科書</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会.:医歯薬出版, 2017</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023558			科目ID	DE-495800-Z
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	2022年度4年通年	対象年次	1~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励制度による研修プログラム (1)語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2)海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3)研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4)研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5)本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1)語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2)研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3)海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4)研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5)研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6)本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C以上) (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。 (各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。					

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が15以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は上記参照。 履修についての質問は、科目責任者(青木)までメールで随時行うこと。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023569			科目ID	DE-495801-Z
科目名	口腔保健工学企業研修				
担当教員	青木 和広[AOKI KAZUHIRO]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業の目的、概要等					
学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。 2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。 3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。 					
授業方法					
各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。					
受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用する。					
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受け入れ先組織・企業等候補の担当者との面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。					
授業内容					
学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合					
成績評価の方法					
以下の点について成績評価を行う。					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 受け入れ先組織・企業等での活動状況: 受け入れ先担当者からのフィードバック 2) 活動報告書の提出状況・内容: 学習目標の到達状況 					
成績評価の基準					
<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ先組織・企業等での活動状況に関する受け入れ先担当者からのフィードバック(30%) ・活動報告書の提出状況・内容にもとづく、学習目標の到達状況(70%) 					
準備学習等についての具体的な指示					
<ul style="list-style-type: none"> ・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。 ・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受け入れ先等に関する情報収集を適切に行う。 ・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。 ・学外組織において学習を行うことから、本学学生として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に付けておくこと。 ・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に付けておくこと。 					
試験の受験資格					
試験は実施しない。					
教科書					
なし					
参考書					
なし					
履修上の注意事項					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受け入れ先も受講者ごとに異なる。 2) 受け入れ先組織・企業等から重要な情報(個人情報を含む)の持ち出しをしないこと。 3) 学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4) 受け入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5) 受け入れ先 					

担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容(順序等)は変更することがある。